

Tohoku University Fact Book 2020

東北大学概要 2020



CONTENTS

〈はじめに〉

歴史的背景・東北大学学章・ロゴマーク・スクールカラー	01
東北大学の使命・基本的な目標・学生歌・校友歌	02
総長挨拶	03
歴代総長	04
沿革図	05
ノーベル賞・文化勲章等受賞者	07
学内表彰	11

〈組織〉

運営組織	13
機構図	14
役員・主な役職者	15
総長選考会議	19
役員会	19
経営協議会	19
教育研究評議会	20
役員・職員数	21
学部	22
大学院	23
附置研究所・研究施設・組織・機構等	25
附属図書館	27
病院	28

〈学生〉

学生数	29
入学状況	30
学部卒業生数・学位授与者数	32
卒業後の状況	33
産業別就職者数	35
校友会	36

〈財務〉

2020年度収入・支出予算	37
研究費等受入状況	37
土地・建物	39

〈特色ある研究・教育・社会貢献活動〉

革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)	41
研究大学強化促進事業	41
スーパーグローバル大学創成支援	42
教育	43
寄附講座・寄附研究部門	44
共同研究講座・共同研究部門	44
産学連携	45
組織的連携	46
社会との連携協力	47

〈国際交流〉

学術交流協定締結等	49
研究者等交流状況	56
外国人留学生数	59
国際的な大学連合への加盟	63
海外拠点	64

〈キャンパス〉

施設所在地一覧	65
建物配置図	67

歴史的背景

東北大学は、1907年(明治40年)に東北帝国大学として創立し、当初から、専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、1913年(大正2年)には、当時の政府からの圧力にも屈せず、日本の大学として初めて、3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が本学の不動の理念であることを世に示した。

また、創立に当たって、世界の学界でトレーニングを積んだ若き俊秀が教授として集まったこともあって、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。さらに、いち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図ったり、日常生活に最も密着した法律である家族法の研究の日本の中心になるなど、世界最先端の研究成果を社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、全学を挙げて本学の教育・研究機能の回復と被災地の復旧に努め、その経験と知見を生かして、東北の復興、日本の新生に向けて取り組んでいる。

東北大学学章・ロゴマーク・スクールカラー

東北大学では、公式ロゴマークを平成17年3月に制定した。「Creativity」「Global」「Tradition」をキーコンセプトに、仙台を象徴する植物、「萩」をモチーフとし、世界に大きく広がっていく動きがデザインされている。また、公式カラーは、「紫」と「黒」の二色を採用しており、「紫」は知性と創造力を、「黒」は勤勉と実践力を表現している。

平成19年6月には東北大学ロゴマークを学章とするとともに、「紫」をスクールカラーとした。



東北大学の使命

東北大学は、建学以来の伝統である「研究第一」と「門戸開放」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造する。また、研究の成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献する。

大学の基本的な目標

東北大学は、開学以来の「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念及び「実学尊重」の精神を基に、数々の教育研究の成果を挙げてきた実績を踏まえ、これらの伝統、理念等を積極的に踏襲し、独創的な研究を基盤として高等教育を推進する総合大学として、以下の目標を掲げる。

1 教育目標・教育理念 — 「指導的人材の養成」

- ・学部教育では、豊かな教養と人間性を持ち、人間・社会や自然の事象に対して「科学する心」を持って知的探究を行うような行動力のある人材、国際的視野に立ち多様な分野で専門性を発揮して指導的・中核的役割を果たす人材を養成する。
- ・大学院教育では、世界水準の研究を理解し、これに創造的知見を加えて新たな展開を遂行できる創造力豊かな研究者及び高度な専門的知識を持つ高度専門職業人を養成する。

2 使命 — 「研究中心大学」

- ・東北大学の伝統である「研究第一主義」に基づき、真理の探究等を目指す基礎科学を推進するとともに、研究中心大学として人類と社会の発展に貢献するため、研究科と研究所等が一体となって、人間・社会、自然に関する広範な分野の研究を行う。それとともに、「実学尊重」の精神を活かした新たな知識・技術・価値の創造に努め、常に世界最高水準の研究成果を創出し、広く国内外に発信する。
- ・知の創造・継承及び普及の拠点として、人間への深い理解と社会への広い視野・倫理観を持ち、高度な専門性を兼ね備えた行動力ある指導的人材を養成する。

3 基本方針 — 「世界と地域に開かれた世界リーディング・ユニバーシティ」

- ・人類社会の様々な課題に挑戦し、人類社会の発展に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」であることを目指す。
- ・世界と地域に開かれた大学として、自由と人権を尊重し、社会と文化の繁栄に貢献するため、「門戸開放」の理念に基づいて、国内外から、国籍、人種、性別、宗教等を問わず、豊かな資質を持つ学生と教育研究上の優れた能力や実績を持つ教員を迎え入れる。それとともに、産業界はもとより、広く社会と地域との連携研究、研究成果の社会への還元や有益な提言等の社会貢献を積極的に行う。
- ・市民への開放講座、インターネットによる教育を積極的に推進するとともに、市民が学術文化に触れつつ憩える環境に配慮したキャンパスづくりを行う。

学生歌・校友歌

半世紀以上に渡って親しまれてきた「青葉もゆるこのみちのく」を、2009年(平成19年)の創立百周年を機に正式に学生歌として制定した。また、2015年(平成25年)には「緑の丘」を同窓生、在校生、教職員、そして東北大学を支えるすべての関係者のための歌である校友歌とし、今後、この2曲を大切に歌い継いでいくこととした。

はじめに

東北大学は1907年の建学以来、113年にわたり「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念、そして「実学尊重」の精神のもと、多くの指導的人材を輩出し、さらに世界的に卓越した研究成果によって人類の知の地平を拡大して、未来社会へ向けた変革・イノベーションを先導してきました。また、2017年6月には、世界の有力大学と伍していくことを使命とする「指定国立大学法人」の最初の三校に指定されました。

現在、およそ17,800名の学生と6,300名の教職員を擁し、「杜の都」と呼ばれるこの仙台の地に、四季の気配を色濃く映す四つのキャンパスに10の学部と15の大学院研究科、3の専門職大学院、6の附置研究所に加え、教育研究に携わる機構・センターと図書館・病院などを有しています。



大変革時代の社会を先導する人材の育成

「教育」では、学生の挑戦心に応え、創造力を伸ばす教育として、未来社会に立ち向かうための基盤となる学士課程教育と、創造的で活力のある研究者・高度専門人材を育成する大学院教育を両輪に据えています。令和2年度からは、文理を問わずすべての新入生を対象に、時代が要請するAI・数理データ教育を行っています。また、全学教育プログラム「東北大学挑戦カレッジ」では、さらに① グローバルマインドセット、② AI・データスキル、③ アントレプレナーシップを身に付けるための実践教育を提供しています。変革期を生きる学生諸君が、現代的なリベラルアーツを身につけ、その上で自らの「挑戦する心」を大きく伸ばす取組みを推進しています。

卓越した学術研究を通じた知の創造

「研究」については、「世界三十傑大学」にふさわしい総合研究大学として、自由な発想に基づく基礎研究の推進、新興・分野融合研究の開拓、そして世界トップレベル研究の推進に取り組んでいます。世界トップレベル研究拠点として指定した4つの分野の中で、東日本大震災を踏まえ、本学が世界を先導している研究分野である「災害科学」とともに「未来型医療」を推進しています。これは、東北メディカル・メガバンク機構によって進めてきた世界初の大規模3世代コホート調査を未来型医療（個別化医療、個別化予防）に展開するものです。本学が世界的に卓越した強みを有する「材料科学」と「スピントロニクス」分野を合わせ、世界トップレベルの研究力を発揮し、時代を画する新たな学問領域の開拓とイノベーションの創出を強力に進めています。

多様なセクターとのパートナーシップによる新たな社会価値の創造

東北大学は建学の当初から民間および自治体等から大きな期待と支援を受け、社会とともに発展してきました。また、2011年の東日本大震災からの復興では、多様な領域の学知を基盤に貢献してきました。「社会との共創」では、このような活動と共に、戦略的産学共創の展開や校友ネットワークを核とした活力ある東北大学コミュニティの形成など、「社会とともにある大学」として、取り組んでいます。産学共創では2018年12月に設置したオープンイノベーション戦略機構が中心となり、スピントロニクス分野で先行して実績を挙げている「B-U-B (Business-University-Business) 型連携」(大学を核として異分野の多企業が参画する産学連携モデル)をライフサイエンス分野、マテリアルサイエンス分野へと展開しつつあります。「実学尊重」の理念に基づいた知を基盤とする社会価値創造を通して、持続可能で豊かな未来社会へ向けた変革・イノベーションを先導していきます。

ポストコロナを見据えた持続可能な社会への貢献

2020年は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大で幕を開けました。東北大学は、東日本大震災に対峙したときがそうであったように、知の力によって、コロナ危機に続くニューノーマル時代、その後のポストコロナ時代を通して社会変革を先導する存在でありたいと考えます。感染症の脅威のみならず、気候変動、エネルギー問題、災害の多発、格差の拡大など、世界が多くの課題を抱える今こそ、私たちの多様な知識と人材の力をもって、新たな社会像を提示することが求められています。持続可能な開発目標(SDGs)が問いかける未来の実現に向けて、アカデミアの果たす役割は重大です。東北大学は、総合研究大学として大学が擁する多様な専門家の知を総合し、今後の社会のあり方を先導し新たな地平をひらいていきます。

ニューノーマルを先導する東北大学へ

東北大学は、「最先端の創造、大変革への挑戦」をうたい2018年11月に公表した「東北大学ビジョン2030」をこのたびアップデートし、大学の変革を加速することにしました。教育、研究、社会との共創など、本学の諸活動のオンライン化を強力に進めるとともに、サイバー空間とリアル空間の融合的活用を通して、ボーダレスで多様性に富み、真にインクルーシブな大学と社会の未来を創っていきます。これまで以上に全学を挙げて変革に取り組み、本学の活動を飛躍的に発展させ、社会にそして世界に貢献していく所存です。

最後に

東北大学が今後一層社会に貢献するためには、広く市民の皆さま、産業界・経済界、自治体や国などの公的機関、同窓生を含む広い意味での本学関係者など、多様なセクターからのご支援、ご協力が欠かせません。本概要には本学の教育・研究活動や社会貢献、特色ある研究など、本学の最新の情報が記載されています。また、東北大学ホームページ(<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/>)では、大学の最新情報をお届けしています。各位におかれましては、本学のさらなる挑戦への決意にご理解をいただき、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年(2020年)7月
東北大学総長 大野 英 男

歴代総長

歴代総長

代数	氏名	在任期間
初代	澤柳 政太郎	明治44(1911)年3月24日～ 大正2(1913)年5月8日
第2代	北條 時敬	大正2(1913)年5月9日～ 大正6(1917)年8月24日
(事務取扱)	小川 正孝	大正6(1917)年8月25日～ 大正6(1917)年10月14日
第3代	福原 鏡二郎	大正6(1917)年10月15日～ 大正8(1919)年6月20日
第4代	小川 正孝	大正8(1919)年6月21日～ 昭和3(1928)年6月14日
第5代	井上 仁吉	昭和3(1928)年6月15日～ 昭和6(1931)年6月14日
第6代	本多 光太郎	昭和6(1931)年6月15日～ 昭和15(1940)年5月30日
第7代	熊谷 岱蔵	昭和15(1940)年5月31日～ 昭和21(1946)年2月11日
第8代	佐武 安太郎	昭和21(1946)年2月12日～ 昭和24(1949)年3月31日
第9代	高橋 里美	昭和24(1949)年4月1日～ 昭和32(1957)年6月30日
第10代	黒川 利雄	昭和32(1957)年7月1日～ 昭和38(1963)年6月30日
第11代	石津 照璽	昭和38(1963)年7月1日～ 昭和40(1965)年10月4日
(事務取扱)	元村 勲	昭和40(1965)年10月5日～ 昭和40(1965)年11月19日

代数	氏名	在任期間
第12代	本川 弘一	昭和40(1965)年11月20日～ 昭和46(1971)年2月2日
(事務取扱)	水野 弥彦	昭和46(1971)年2月3日～ 昭和46(1971)年4月30日
第13代	加藤 陸奥雄	昭和46(1971)年5月1日～ 昭和52(1977)年4月30日
第14代	前田 四郎	昭和52(1977)年5月1日～ 昭和58(1983)年4月30日
第15代	石田 名香雄	昭和58(1983)年5月1日～ 平成元(1989)年4月30日
第16代	大谷 茂盛	平成元(1989)年5月1日～ 平成2(1990)年9月30日
(事務取扱)	吉永 馨	平成2(1990)年10月1日～ 平成2(1990)年11月5日
第17代	西澤 潤一	平成2(1990)年11月6日～ 平成8(1996)年11月5日
第18代	阿部 博之	平成8(1996)年11月6日～ 平成14(2002)年11月5日
第19代	吉本 高志	平成14(2002)年11月6日～ 平成18(2006)年11月5日
第20代	井上 明久	平成18(2006)年11月6日～ 平成24(2012)年3月31日
第21代	里見 進	平成24(2012)年4月1日～ 平成30(2018)年3月31日
第22代	大野 英男	平成30(2018)年4月1日～



初代 澤柳政太郎



第2代 北條時敬



第3代 福原鏡二郎



第4代 小川正孝



第5代 井上仁吉



第6代 本多光太郎



第7代 熊谷岱蔵



第8代 佐武安太郎



第9代 高橋里美



第10代 黒川利雄



第11代 石津照璽



第12代 本川弘一



第13代 加藤陸奥雄



第14代 前田四郎



第15代 石田名香雄



第16代 大谷茂盛



第17代 西澤潤一



第18代 阿部博之



第19代 吉本高志



第20代 井上明久



第21代 里見進

沿革図

明治9(1876)年8月
札幌農学校

明治40(1907)年 創立
農科大学
明治40(1907)年9月
東北帝国大学
明治40(1907)年6月

大正7(1918)年4月
分離独立・北海道帝国大学
大正8(1919)年4月
大学令

昭和22(1947)年10月
東北大学
昭和24(1949)年5月
新制大学

明治44(1911)年1月
理科大学

大正8(1919)年4月
理学部

明治20(1887)年8月
第二高等中学校医学部

明治34(1901)年4月
仙台医学専門学校

明治45(1912)年4月
医学専門部

大正4(1915)年7月
医科大学
大正7(1918)年4月
廃止

大正8(1919)年4月
医学部

昭和14(1939)年5月
臨時附属医学専門部

昭和19(1944)年3月
附属医学専門部

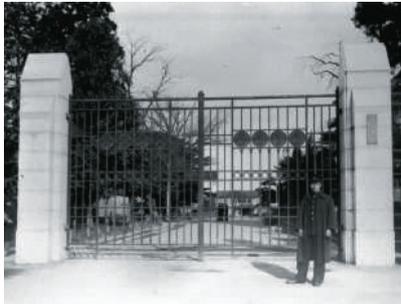
明治39(1906)年4月
仙台高等工業学校

明治45(1912)年4月
工学専門部

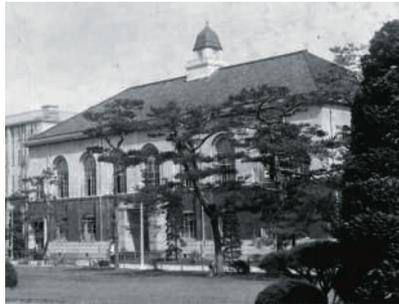
大正8(1919)年5月
工学部

大正10(1921)年4月
分離独立・仙台高等工業学校

昭和19(1944)年4月
仙台工業専門学校



正門(昭和初期)



史料館(旧図書館・昭和初期)

昭和22(1947)年4月
農学部

大正11(1922)年8月
法文学部
昭和24(1949)年4月
3学部に分立

明治20(1887)年4月
第二高等中学校

明治27(1894)年6月
第二高等学校大学予科

大正8(1919)年4月
第二高等学校

昭和24(1949)年5月
教育学部
昭和24(1949)年5月
包括
昭和25(1950)年3月
廃止
昭和24(1949)年6月
分校第一教養部
昭和24(1949)年6月
分校第二教養部
昭和24(1949)年6月
分校第三教養部

明治19(1886)年4月
宮城県尋常師範学校

明治31(1898)年4月
宮城県師範学校

大正2(1913)年4月
宮城県女子師範学校

大正15(1926)年4月
宮城県女子専門学校
昭和18(1943)年4月
宮城師範学校

昭和24(1949)年5月
併合
昭和24(1949)年5月
包括

昭和24(1949)年6月
分校教育教養部
昭和32(1957)年4月
北分校に改称

昭和20(1945)年4月
宮城青年師範学校
昭和24(1949)年6月
包括

大正8(1919)年5月
附属鉄鋼研究所

大正11(1922)年8月
金属材料研究所

昭和16(1941)年12月
抗酸菌病研究所

昭和18(1943)年10月
高速力学研究所

昭和10(1935)年9月
附属電気通信研究所

昭和19(1944)年1月
電気通信研究所

昭和14(1939)年8月
農学研究所

昭和16(1941)年3月
選鉱製錬研究所

昭和18(1943)年1月
科学計測研究所

昭和18(1943)年10月
航空医学研究所
昭和21(1946)年1月
廃止

昭和19(1944)年1月
非水溶液化学研究所

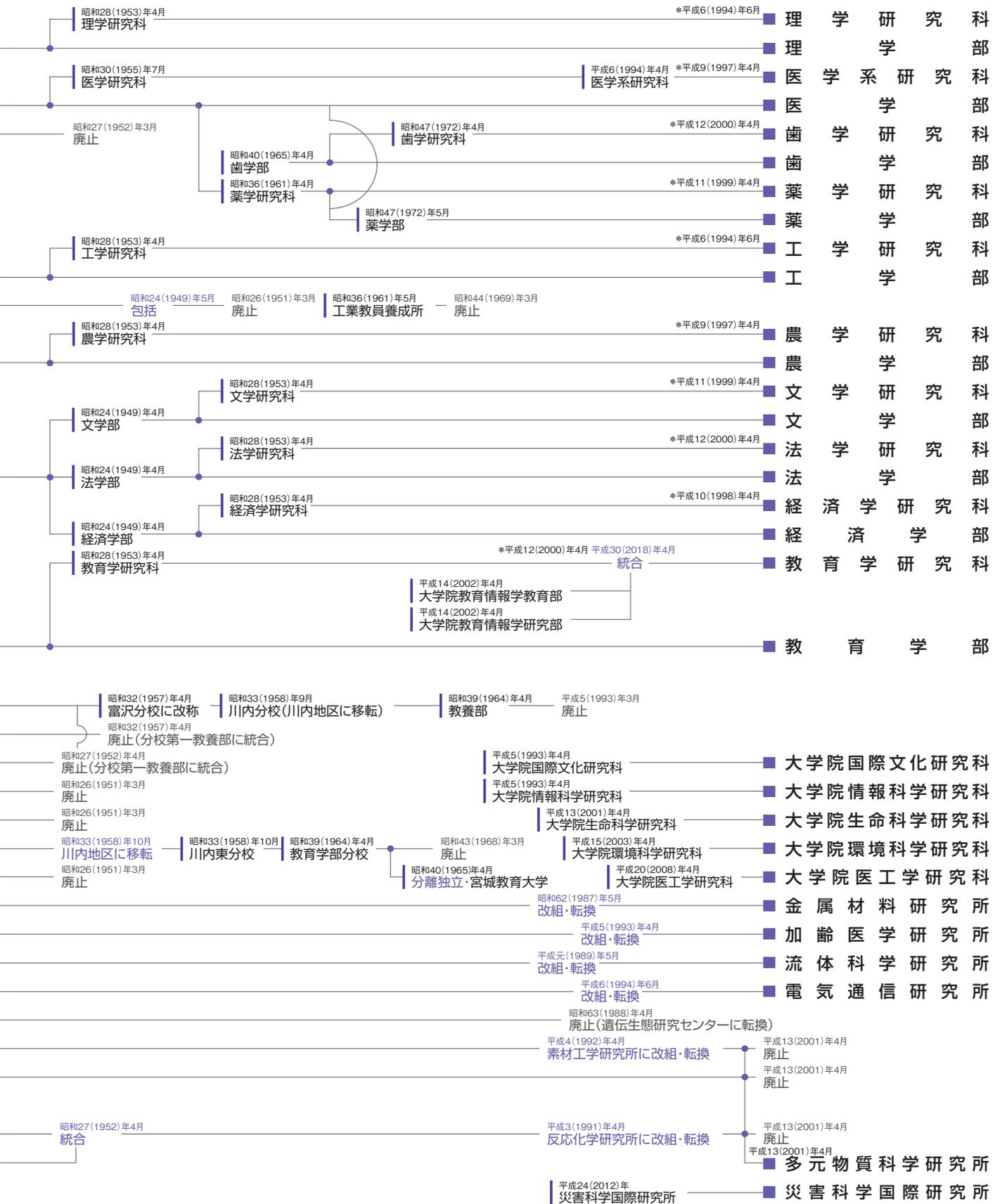
昭和20(1945)年1月
硝子研究所(ガラス研究所)



片平キャンパス 正門

(2020年7月現在)

昭和28(1953)年4月 新制大学院 昭和32(1957)年 創立50周年 昭和57(1982)年 創立75周年 昭和62(1987)年 創立80周年 平成16(2004)年4月 国立大学法人 平成19(2007)年 創立100周年 ■ 東 北 大 学



* 大学院重点化時期

ノーベル賞・文化勲章等 受賞者

(2020年7月1日現在)

ノーベル賞受賞者

受賞年	氏名	部局(誉博…名誉博士)	受賞理由
1987年	ハンス・ハイリッヒ・ローラー	金属材料研究所(客)、誉博	走査型トンネル電子顕微鏡の開発
1999年	アハメッド・ズウェイル	ユニバーシティプロフェッサー、誉博	化学反応の超短時間解析技術の開発
2002年	田中耕一	工学部、誉博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
2007年	ピーター・グリュンベルグ	ユニバーシティプロフェッサー、金属材料研究所(客)、誉博	巨大磁気抵抗効果(GMR)の発見
2011年	ダニエル・シェヒトマン	ユニバーシティプロフェッサー	準結晶の発見

文化勲章受章者、文化功労者

文化勲章受章者 33名・文化功労者 52名

文化勲章受章	文化功労者	氏名	部局	主な業績
昭和12年	昭和26年	本多光太郎	金属材料研究所	鉄に関する金属物理学研究、特にKS鋼・新KS鋼の発明
昭和19年	昭和26年	岡部金治郎	工学部	分割陽極マグネトロン等の極超短波に関する研究
昭和21年		宮部金吾	農科大学	植物病理学の基礎構築と北方における植物の新種発見
昭和24年	昭和26年	真島利行	理学部	漆等の天然物有機化学の研究
昭和24年	昭和26年	岡田武松	理学部(併)	気象学の先駆的研究と気象予報体制の整備
昭和25年	昭和26年	田辺元	理学部	絶対弁証法による田辺哲学体系を確立
昭和25年	昭和26年	土井晩翠	法文学部	雄渾な漢文調に思想を含めた詩風を確立
昭和27年	昭和27年	熊谷岱蔵	医学部	膵ホルモンのインシュリン発見と結核医学の研究
昭和28年	昭和27年	矢部長克	理学部	糸魚川・静岡地質構造線提唱等の地質学・古生物学研究
昭和28年	昭和27年	宇井伯寿	法文学部	近代的インド哲学研究の基礎を構築
昭和29年	昭和29年	萩原雄祐	理学部	天体力学の研究および天文台の整備充実
昭和30年	昭和30年	増本量	金属材料研究所	不銹不変鋼をはじめとする特殊合金に関する研究
昭和31年	昭和31年	村上武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究、村上試薬の発明
昭和31年	昭和31年	八木秀次	工学部	八木アンテナ発明等の電気工学研究
昭和32年	昭和28年	山田孝雄	法文学部	日本語文法の理論的体系化
昭和33年	昭和33年	野副鉄男	理学部	ヒノキチオールおよび関連有機化合物の研究
昭和34年	昭和34年	吉田富三	医学部	がんの発生・成長過程の研究、吉田肉腫瘍の発見
昭和39年	昭和39年	茅誠司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気研究および戦後学術研究体制刷新の推進
昭和40年	昭和40年	赤堀二郎	理学部	アミノ酸等に関する生物有機化学研究
昭和43年	昭和43年	黒川利雄	医学部	がんの研究とがん集団検診の創始者
昭和46年	昭和46年	安井琢磨	経済学部	我が国の近代経済学の発展に貢献
昭和48年	昭和37年	石原謙	法文学部	キリスト教史の研究
昭和50年	昭和50年	広中平祐	理学部(併)	代数幾何学の研究、特に代数多様体の特異点解消
昭和59年	昭和54年	高橋信次	医学部	X線CTの基礎となる回転断層撮影法の開発等の放射線医学研究
昭和62年	昭和54年	桑原武夫	法文学部	人文科学百般にわたりスケール大きく行動した学者・文化人
平成元年	昭和58年	西澤潤一	電気通信研究所	トランジスタ、半導体、ダイオードおよび光通信三大要素に関する研究
平成14年	平成14年	田中耕一	工学部、誉博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
平成19年	平成11年	中西香爾	理学部	機能性天然物有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
平成20年	平成14年	ドナルド・キーン	文学部(客)、誉博	日本文学・文化の研究および海外への紹介・解説
平成21年	昭和61年	日沼頼夫	歯学部	成人T細胞白血病のウィルス病因に関する研究
平成21年	平成15年	飯島澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
平成24年	平成19年	小田滋	法学部	国際法学の研究、国際司法裁判所裁判官として国際貢献に尽力
平成25年	昭和62年	岩崎俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録等の電子工学研究
—	昭和29年	松村松年	農科大学	昆虫学全般に関する研究
—	昭和33年	高橋里美	法文学部	哲学、特に包弁証法等を通して独自の思想体系を展開
—	昭和34年	伊藤誠哉	農科大学	我が国の作物病害と菌類に関する植物病理学研究
—	昭和35年	武内義雄	法文学部	中国哲学、特に老子に関する研究
—	昭和38年	原龍三郎	非水溶液化学研究所	液体アンモニア・青化物および非水溶液化学の応用に関する応用化学研究
—	昭和40年	真島正市	理科大学	計測工学、特に高速衝撃破壊に関する研究
—	昭和45年	渡辺寧	工学部	二重帰還増幅器・仙台放電管等の電磁機器発明・電子工学の先駆的研究
—	昭和51年	坂村徹	農科大学	小麦の染色体に関する植物細胞学やカビ類の植物生理学に関する研究
—	昭和51年	沼知福三郎	高速力学研究所	機械工学、特に翼型のキャビテーション性能に関する研究
—	昭和53年	武井武	理学部	酸化金属磁性材料に関する研究、特にOP磁石の発明
—	昭和60年	金倉圓照	文学部	インド哲学、特にインド中世精神史
—	平成4年	今井勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する金属学研究
—	平成4年	島田謹二	法文学部	日本における外国文学の比較文学研究
—	平成12年	横堀武夫	工学部	金属材料の強度に関する研究
—	平成12年	増本健	金属材料研究所	アルムファス金属に関する基礎的および応用的研究
—	平成15年	岩田靖夫	文学部	哲学、ギリシア倫理思想、特にプラトン、ソクラテス研究
—	平成18年	伊藤英覚	高速力学研究所	曲がり管・回転管の流動における管摩擦抵抗法則の確立
—	平成19年	櫻井英樹	理学部	有機ケイ素化学を学問体系として確立
—	平成23年	遠藤章	農学部	高コレステロール血症の治療薬スタチンを開発
—	平成25年	舩岡富士雄	電気通信研究所	フラッシュメモリの発明

日本学士院会員

選定年月日	氏名	部局
大正 11年 12月 26日	本多 光太郎	金属材料研究所
大正 14年 6月 27日	藤原 松三郎	理学部
大正 14年 6月 27日	矢部長 克	理学部
大正 15年 5月 5日	真島 利行	理学部
昭和 7年 3月 2日	神津 俣祐	理学部
昭和 9年 7月 31日	掛谷 宗一	理学部
昭和 12年 3月 23日	加藤 武夫	理学部
昭和 12年 5月 8日	大類 伸	法文学部
昭和 12年 12月 1日	片山 正夫	理学部
昭和 14年 5月 27日	柴田 桂太	農科大学
昭和 17年 5月 30日	武内 義雄	法文学部
昭和 18年 12月 11日	熊谷 岱蔵	医学部
昭和 19年 7月 10日	萩原 雄祐	理学部
昭和 20年 12月 12日	宇井 伯寿	法文学部
昭和 21年 2月 8日	布施 規之助	医学部
昭和 22年 2月 5日	田辺 元	理学部
昭和 22年 6月 25日	阿部 次郎	法文学部
昭和 22年 6月 25日	窪田 忠彦	理学部
昭和 22年 7月 19日	河村 又介	法文学部
昭和 22年 10月 1日	雨宮 育作	農学研究所
昭和 24年 10月 5日	土居 光知	法文学部
昭和 25年 10月 6日	伊藤 誠哉	農科大学
昭和 25年 10月 6日	小町谷 操三	法学部
昭和 25年 10月 6日	佐武 安太郎	医学部
昭和 25年 10月 6日	高橋 里美	法文学部
昭和 25年 10月 6日	真島 正市	理科大学
昭和 25年 10月 6日	松村 松年	農科大学
昭和 25年 10月 6日	村上 武次郎	金属材料研究所
昭和 26年 10月 17日	小宮 豊隆	法文学部
昭和 26年 10月 17日	八木 秀次	工学部
昭和 28年 10月 22日	青木 正児	法文学部
昭和 28年 10月 22日	石原 謙	法文学部
昭和 28年 10月 22日	長谷部 言人	医学部
昭和 32年 3月 12日	田中 義麿	農科大学
昭和 32年 3月 12日	原 龍三郎	非水溶液化学研究所
昭和 33年 3月 12日	鮫島 実三郎	理学部
昭和 35年 4月 12日	加藤 豊治郎	医学部
昭和 35年 4月 12日	勝本 正晃	法学部
昭和 35年 4月 12日	増本 量	金属材料研究所
昭和 36年 12月 12日	茅 誠司	金属材料研究所
昭和 38年 2月 12日	金倉 圓照	文学部
昭和 39年 2月 12日	赤堀 四郎	理学部
昭和 39年 2月 12日	坂村 徹	農科大学
昭和 39年 2月 12日	田岡 良一	法文学部
昭和 39年 2月 12日	中川 善之助	法学部

選定年月日	氏名	部局
昭和 40年 1月 12日	岡崎 義恵	文学部
昭和 40年 1月 12日	黒川 利雄	医学部
昭和 40年 1月 12日	吉田 富三	医学部
昭和 40年 11月 12日	沼知 福三郎	高速力学研究所
昭和 41年 11月 12日	小川 鼎三	医学部
昭和 41年 11月 12日	堀 経夫	法文学部
昭和 42年 11月 13日	木村 亀二	法学部
昭和 42年 11月 13日	清宮 四郎	法学部
昭和 43年 11月 12日	三宅 剛一	文学部
昭和 43年 11月 12日	本川 弘一	医学部
昭和 45年 11月 12日	半沢 洵	農科大学
昭和 49年 12月 12日	小竹 無二雄	理学部
昭和 49年 12月 12日	山本 義一	理学部
昭和 51年 11月 12日	広中 平祐	理学部(併)
昭和 51年 11月 12日	新明 正道	文学部
昭和 51年 11月 12日	杉 捷夫	法文学部
昭和 51年 11月 12日	高柳 真三	法学部
昭和 52年 11月 12日	岡本 耕造	医学部
昭和 52年 11月 12日	永井 健三	工学部
昭和 52年 11月 12日	野副 鐵男	理学部
昭和 52年 11月 12日	柳瀬 良幹	法学部
昭和 54年 11月 12日	今井 勇之進	金属材料研究所
昭和 54年 11月 12日	鳥山 四男	工学部
昭和 56年 12月 12日	高橋 信次	医学部
昭和 58年 12月 12日	矢島 羊吉	文学部
昭和 60年 11月 12日	加藤 愛雄	理学部
昭和 61年 12月 12日	熊谷 尚夫	経済学部
平成 元年 12月 12日	小川 環樹	法文学部
平成 4年 12月 14日	辻 廣	工学部(併)
平成 6年 12月 12日	伊藤 英覺	高速力学研究所
平成 6年 12月 12日	小田 滋	法学部
平成 7年 12月 12日	西澤 潤一	電気通信研究所
平成 8年 12月 12日	横堀 武夫	工学部
平成 9年 12月 12日	樋渡 宏一	理学部
平成 10年 12月 14日	鈴木 禄彌	法学部
平成 12年 12月 12日	樋口 陽一	法学部
平成 13年 12月 12日	源 了圓	文学部
平成 14年 12月 12日	金谷 治	文学部
平成 15年 12月 12日	岩崎 俊一	電気通信研究所
平成 18年 12月 12日	田中 耕一	工学部、誉博
平成 18年 12月 12日	井上 明久	金属材料研究所
平成 22年 12月 13日	小山 貞夫	法学部
平成 22年 12月 13日	飯島 澄男	科学計測研究所
平成 25年 12月 12日	藤田 宙靖	法学研究科
平成 29年 12月 12日	安元 健	工学部

日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏名	部局	受賞理由
第4回 大正3年	日下部 四郎太	理科大学	岩石の力学的研究
第6回 大正5年	本多 光太郎	理科大学	鉄に関する研究
第7回 大正6年	真島 利行	理科大学	漆の主成分に関する研究
○第8回 大正7年	柴田 桂太	農科大学	植物界に於けるフラボン体の研究
○第9回 大正8年	石原 純	理学部	相対性原理、万有引力論及び量子論の研究
第9回 大正8年	市川 厚一	農科大学	癌腫の人工的発生研究(共同研究)
○第11回 大正10年	布施 現之助	医学部	脳の解剖的研究
第11回 大正10年	松本 彦七郎	理学部	蛇尾綱(クモヒトデ)の研究
第15回 大正14年	畑井 新喜司	理学部	白鼠に関する研究
△第15回 大正14年	曾禰 武	金属材料研究所	気体の磁気係数の測定
△第17回 昭和2年	村上 武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究
○第18回 昭和3年	掛谷 宗一	理学部	連立積分方程式及び之に関連せる函数論的研究
第21回 昭和6年	宇井 伯寿	法文学部	印度哲学研究(全六巻)
第21回 昭和6年	増本 量	金属材料研究所	強磁性元素及び其の合金の物理冶金学的研究
△第22回 昭和7年	宇田 新太郎	工学部	超短波長電波の研究
△第23回 昭和8年	野村 博	理学部	生薑の辛味成分の研究
第24回 昭和9年	田所 芳秋	理学部	耐火物に関する研究
第25回 昭和10年	海野 三朗	理学部	鉄炭素系合金の比熱及び其の諸相の変化に伴う熱量に関する研究
○第26回 昭和11年	吉田 富三	医学部	o-Amidoazotoluolの経口的投与による肝臓癌生成の実験的共同研究
△第26回 昭和11年	星野 敏雄	理学部	インドールの誘導体の合成的研究
第30回 昭和15年	菊田 多利男	臨時理化学研究所	鑄鉄の研究
○第31回 昭和16年	岡部 金治郎	工学部	磁電管に関する研究
第31回 昭和16年	尾形 輝太郎	理学部	感光色素合成に関する研究
第32回 昭和17年	茅 誠司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気的研究
第33回 昭和18年	木原 玉汝	医学部	樟脳の強心作用の本態に関する研究(共同研究)
第34回 昭和19年	小竹 無二雄	理学部	毒物の化学的研究
第34回 昭和19年	寺尾 博	農学研究所	水稻冷害の生理学的研究
○第36回 昭和21年	増本 量	金属材料研究所	異常特性を有する鉄合金の研究
第37回 昭和22年	真島 正市	理科大学	高速衝撃破壊とこれに関連せる二三の現象
第40回 昭和25年	沼知 福三郎	工学部	翼型のキャビテーション性能に関する研究
第41回 昭和26年	小川 鼎三	医学部	錐体外路系に関する研究(共同研究)
第42回 昭和27年	鮫島 實三郎	理学部	膠質学に関する研究
第43回 昭和28年	金倉 圓照	文学部	印度中世精神史
第43回 昭和28年	野副 鐵男	理学部	ヒノキチオール及びその関連化合物に関する研究
第43回 昭和28年	成瀬 政男	工学部	歯車に関する研究(共同研究)
○第43回 昭和28年	吉田 富三	医学部	吉田肉腫の病理学的研究
第44回 昭和29年	本川 弘一	医学部	脳電図の研究
第45回 昭和30年	金倉 圓照	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	山田 龍城	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	羽田野 伯猷	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	多田 等観	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	赤堀 四郎	理学部	蛋白質を構成するアミノ酸の結合状態に関する研究
第46回 昭和31年	堀 一郎	文学部	我が国民間信仰史の研究
第47回 昭和32年	折茂 豊	法学部	国際私法の統一性
○第47回 昭和32年	中村 元	文学部	初期のヴェーダーンタ哲学
第49回 昭和34年	高田 修	文学部	居庸関(共同研究)
○第50回 昭和35年	高田 修	文学部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)
○第50回 昭和35年	宮 次男	文学部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)
第50回 昭和35年	神田 英蔵	理学部	低温度における凝縮気体の性質及び極低温における磁性の研究
第51回 昭和36年	佐藤 知雄	工学部	鉄鋼中の炭化物に関する研究
第51回 昭和36年	磯 永吉	農科大学	亜熱帯における稲の育種に関する研究
第53回 昭和38年	関口 春次郎	金属材料研究所	鋼の溶接棒ならびに炭酸ガス酸素アーク溶接法に関する研究
第57回 昭和42年	今井 勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する基礎研究
第58回 昭和43年	加藤 愛雄	理学部	地磁気の変化磁場の測定とその微細変動の原因に関する研究
第58回 昭和43年	神立 誠	農学研究所	反芻胃内消化に対する纖毛虫類の機能に関する生化学的研究
第59回 昭和44年	宮田 光雄	法学部	西ドイツの精神構造

日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏名	部局	受賞理由
第59回 昭和44年	水島 宇三郎	農学部	ジュウジバナ科アブラナ類の核遺伝学的研究
第60回 昭和45年	山本 義一	理学部	大気放射の研究
第60回 昭和45年	広中 平祐	理学部(併)	代数的多様体の研究
第61回 昭和46年	横堀 武夫	工学部	金属材料の強度に関する研究(共同研究)
第62回 昭和47年	岡本 耕造	医学部	糖尿病と高血圧症の基礎的研究
第63回 昭和48年	西山 善次	金属材料研究所	合金のマルテンサイト変態に関する研究
第64回 昭和49年	西澤 潤一	電気通信研究所	半導体及びトランジスタに関する研究
第65回 昭和50年	北住 敏夫	文学部	写生説の研究、写生派歌人の研究、写生俳句及び写生文の研究
第65回 昭和50年	樋口 陽一	法学部	近代立憲主義と現代国家
第65回 昭和50年	伊藤 英覺	高速力学研究所	管内流れ特に曲がり管内の流れに関する流体力学的研究
第65回 昭和50年	久保田 尚志	理学部	植物の苦味物質に関する研究
※第67回 昭和52年	高橋 信次	医学部	X線による生体病理解剖の研究
第67回 昭和52年	島田 謹二	法文学部	日本における外国文学—比較文学研究—
第67回 昭和52年	赤祖父 俊一	理学部	磁気圏擾乱の研究
第69回 昭和54年	佐藤 武敏	法文学部	中国古代絹織物史研究
第70回 昭和55年	亀谷 哲治	薬学部	「レトロマススペクトル法」による天然物の全合成
第71回 昭和56年	木下 彰	経済学部	名子遺制の構造とその崩壊—農村における封建的労働の構造分析—
※第72回 昭和57年	角谷 静夫	理学部	函数解析の研究
第73回 昭和58年	増本 健	金属材料研究所	アモルファス金属テープの創製とその基礎的および応用的研究
第77回 昭和62年	石田 名香雄	医学部	センダイウィルスの発見及びその構造と機能に関する研究
第77回 昭和62年	岩崎 俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録の研究
第77回 昭和62年	坪井 善勝	工学部	曲面構造の研究と大空間建築構造への適用
◎第78回 昭和63年	沼田 眞	農学研究所(併)	植物群落の構造と動態に関する研究とその応用
※第79回 平成元年	日沼 頼夫	歯学部	成人T細胞白血病のウイルス病因に関する研究
※第80回 平成2年	中西 香爾	理学部	機能性天然有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
第80回 平成2年	辻 廣	工学部(併)	火災の構造および基礎的特性的研究
第82回 平成4年	鈴木 秀次	金属材料研究所	固体ヘリウムの塑性変形及び機械的性質の転位論的研究
第83回 平成5年	山本 肇	歯学部	レーザー照射による齲蝕予防その他歯科応用に関する研究
第83回 平成5年	多田 啓也	医学部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
第83回 平成5年	菊地 吾郎	医学部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
※第84回 平成6年	櫻井 英樹	理学部	有機ケイ素化学に関する研究(共同研究)
第84回 平成6年	丸山 雍成	文学部	日本近世交通史の研究
第88回 平成10年	杉原 高嶺	法学部	国際司法裁判制度
※第92回 平成14年	飯島 澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
◎第92回 平成14年	栗原 康	理学部	生態系解析手法の研究とその環境保全への応用
第92回 平成14年	井上 明久	金属材料研究所	過冷却金属液体の安定化とバルク金属ガラスの開拓
第92回 平成14年	日向 康吉	農学部	アブラナ科植物の自家不和合性にかかわる自己識別機構の研究(共同研究)
第93回 平成15年	岡本 宏	医学系研究科	実験糖尿病の発症とその防止に関する研究
第93回 平成15年	遠藤 實	医学部	筋細胞におけるカルシウム・イオン動員機構に関する研究
※第94回 平成16年	安元 健	農学部	海洋生物毒の化学とそれらの毒物の海洋生態系における動態解析
第95回 平成17年	大野 英男	電気通信研究所	半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究(共同研究)
第96回 平成18年	鈴木 厚人	理学研究科	反ニュートリノ科学の研究
第97回 平成19年	加藤 康司	工学研究科	トライボロジーに関する研究(共同研究)
第97回 平成19年	平 朝彦	理学部	プレート沈み込み帯の付加作用による日本列島形成過程の研究
※第99回 平成21年	村上 哲見	文学部	宋詞に関する研究
第99回 平成21年	川人 貞史	法学研究科	「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」
第100回 平成22年	大類 洋	生命科学研究科	新規生物機能性分子の創製とその応用に関する研究(共同研究)
◎第100回 平成22年	西平 守孝	生命科学研究科	沖縄を中心とした我が国のサンゴ礁の形成と保全の研究
第103回 平成25年	中沢 正隆	電気通信研究所	エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれを用いた光通信の高度化に関する貢献
第103回 平成25年	佐藤 英明	農学研究科	哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究
第104回 平成26年	山本 雅之	医学系研究科	生体の環境ストレス応答の分子機構の解明
第104回 平成26年	首藤 伸夫	工学部	津波防災の総合的研究
第105回 平成27年	鈴木 雅洲	医学部	ヒト体外受精・胚移植の確立と普及に関する研究
※第107回 平成29年	長谷川 昭	理学研究科	沈み込み帯のテクトニクスに関する地震学的研究
第107回 平成29年	横堀 壽光	工学研究科	メゾスケール力学に基づく材料の疲労および時間依存型強度学の基礎理論とその実用に関する研究
第109回 令和元年	平間 正博	理学研究科	シガトキシンを始めとする複雑な構造を有する生理活性天然物の全合成研究

○は恩賜賞のみ受賞

※は恩賜賞及び学士院賞両方を受賞

◎日本学士院賞エジンバラ公賞のみ受賞者

△日本学士院大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞のみ受賞者

学内表彰

総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の教育研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

授賞年月日	氏名	職名等	授賞理由
平成29年 3月24日	遠藤 哲郎	国際集積エレクトロニクス研究開発センター長 工学研究科教授	平成28年8月26日に「高性能不揮発性メモリとその評価・製造装置の開発、及び国際産学連携集積エレクトロニクス研究開発拠点の構築」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例を納めた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞した。
平成26年 3月26日	山本 雅之	医学系研究科教授 東北メディカル・メガバンク機構長	平成26年3月12日に「生体の環境ストレス応答の分子機構の解明」を受賞題目として、「平成26年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年 3月27日	佐藤 英明	農学研究科教授	平成25年3月12日に「哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年 3月27日	中沢 正隆	電気通信研究所長・教授	平成25年3月12日に「エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれをを用いた光通信の高度化に関する貢献」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成21年 9月25日	中沢 正隆	電気通信研究所教授	平成21年6月20日に「エルビウム光ファイバ増幅器(EDFA)の開発とその高度化」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例をおさめた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成21年 3月25日	川人 貞史	法学研究科教授	平成21年3月12日に「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」を受賞題目として、「平成21年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成19年 3月27日	加藤 康司	工学研究科教授	平成19年3月12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成18年 9月25日	井上 明久	金属材料研究所長・教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料「金属ガラス」を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発」を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成18年 7月31日	小柳 光正	工学研究科教授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。
平成18年 3月24日	鈴木 厚人	副学長・理学研究科教授	平成18年3月13日に「反ニュートリノ科学の研究」を受賞題目として、「平成18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成17年11月26日	小谷 元子	理学研究科教授	平成17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を収めた女性科学者に贈られる「第25回猿橋賞」を受賞したため。
平成17年 6月29日	大野 英男	電気通信研究所教授	平成17年6月13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成17年日本学士院賞」を受賞したため。

総長教育賞受賞者

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。

令和元年度

氏名・団体名	職名等	授賞理由
篠原 歩	情報科学研究科 教授	本学初となる初学者向けの機械学習の本格的な授業を開講し、機械学習という現代的で難解な技術を、無理なく学べるようにコース設計し、分かりやすい理論と演習の組み合わせで、優れた授業実践により受講生から高く評価された。本学の方針であるAI・数理・データサイエンス教育の規範となるものである。
西出 優子	経済学研究科 教授	経済学部専門教育「非営利組織論演習」において、「LGBTを含む多様な性のあり方」に関するセミナー等を、学生主体で継続的に企画開催し、理論と実践を融合させた主体的な課題解決型の教育実践を通して、多様な性の当事者とアライ(応援者)の理解促進・学生支援および人材育成に大きく貢献した。
湯上 浩雄	工学研究科 教授	グローバル安全学トップリーダー育成プログラムを本学で推進し、震災以降の東北地方の安全・安心学において大きく貢献した。また、本学の学位プログラムのさきかけとなり、現在も副理事として学位プログラムの確立に尽力している。

総長賞受賞者 令和元年度

本学の教育目標にかなひ、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

学士

トー シン イー シンディ	文学部	菅井 裕斗	医学部
本間 可奈	文学部	富来 早織	歯学部
佐藤 佳穂	教育学部	齋藤 真理恵	薬学部
小野寺 晴香	法学部	ブロムスティボンケンキト	工学部
山口 真哲	法学部	早部 希	工学部
川村 広太	経済学部	鈴木 海渡	工学部
名執 祐矢	経済学部	三ツ谷 和秀	工学部
平岡 憲人	経済学部	三木 佑太郎	工学部
立花 麻衣	理学部	平野 樹	工学部
小坪 将輝	理学部	小林 明生	工学部
湯本 瑛亮	理学部	吉澤 菜々	工学部
菊池 達也	医学部	田村 彩佳	農学部
菊池 雪誠	医学部	三宅 みなと	農学部

修士

川本 弘樹	工学研究科	野呂 英理香	医学系研究科
林 謙汰	工学研究科	小川 紗衣香	歯学研究科
菅原 優花	国際文化研究科	岡村 俊孝	薬学研究科
清水 杜織	情報科学研究科	神田 雄貴	工学研究科
専門職		小堤 健紀	工学研究科
柴田 亮太	法学研究科	佐藤 慎太郎	工学研究科
博士		磯前 慶友	工学研究科
張 春陽	文学研究科	上牧 瑛	工学研究科
高木 源	教育学研究科	野村 怜佳	工学研究科
佐藤 平国	経済学研究科	高木 聖実	農学研究科
数川 大輔	理学研究科	チアゴ コウケツ ロドリゲス	情報科学研究科
渡邊 跡武	理学研究科	丸橋 総史郎	生命科学研究科
ユ デヒョン	理学研究科	王 佳婕	環境科学研究科
岩田 大地	理学研究科	村元 雄太	医学研究科
高橋 聡太	医学系研究科	銀島 太	教育情報学教育部

総長研究支援技術賞受賞者

優れた研究支援を行い研究成果の創出に顕著な貢献があった技術職員を表彰するものです。

令和元年度

氏名・団体名	職名等	授賞題目	授賞理由
医学系研究科	再雇用職員 伊達 文字	病理組織標本の作製と技術指導	昭和52年に東北大学医学部に技能補佐員として就職し、42年間にわたって病理組織標本作製のエキスパートとして貢献してきた。特に、医学系研究科・共通機器室実験動物病理プラットフォームの実質的な責任者として、本学の病理組織標本の作製とその技術指導において多大な貢献を果たした。
工学研究科 マテリアル・開発系機器分析サテライト1		材料分析に関する系共通大型分析機器の運用と利用者への研究支援	マテリアル・開発系機器分析サテライト1の分析機器の管理・運用を行うために技術部より派遣され、系内に限らず機械・知能系等の他学科や歯学研究科等の他部局、学外機関からの分析相談・依頼を受け、機器の有効活用とデータ解析による研究支援を行い、研究成果創出に対して多大に貢献を果たした。
電気通信研究所 研究基盤技術センター・工作部		樹脂等柔らかい材料の精密加工技術開発と研究機器試作への貢献	近年急速な進歩を遂げている生物化学的な研究では、化学耐性の高い樹脂材料での精密機械加工が求められている。要求される精度や品質、あるいは特殊形状を実現するためには創意工夫が必要であるが、適切な工作手法を開発し、10年以上に渡り、該当分野の研究成果創出に重要な貢献を果たした。

学友会長賞受賞者 令和元年度

入部から卒部までの間の課外活動の成績が優秀である当該年度卒業生を表彰するものです。

部・団体名	氏名	部・団体名	氏名	部・団体名	氏名
交響楽部	横瀬 雄登	陸上競技部	佐貫 有彩	競技舞蹈部	小島 大輝
吹奏楽部	近藤 佑樹	オリエンテーリング部	北見 匠	トライアスロン部	佐山 拓海
				相撲部	大藤 久遠

東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

授賞年度	氏名	部局	授賞年度	氏名	部局	授賞年度	氏名	部局
令和元年	張 艶	経済学研究科	平成29年	黄 婷	経済学研究科	平成27年	李 月	文学研究科
	仇 嘉	医学系研究科		李 文	理学研究科		薛 婧	理学研究科
	鄒 薇	歯学研究科		張 姝	医学系研究科		郭 威	工学研究科
	許 勝	工学研究科		温 大	工学研究科		王 飛	情報科学研究科
平成30年	馮 翀	環境科学研究科	平成28年	盛 福	経済学研究科	平成26年	樊 涌	環境科学研究科
	曾 睿	文学研究科		李 静	理学研究科		遲 潔	文学研究科
	李 星	経済学研究科		陸 琴	工学研究科		干 磊	医学系研究科
	王 蒙	工学研究科		李 高	環境科学研究科		劉 弘	工学研究科
	王 佳	環境科学研究科		李 鴻	医工学研究科		王 偉	生命科学研究所
	楊 有	医工学研究科					吳 曉	環境科学研究科

澤柳記念賞(澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞)受賞者

「澤柳記念賞」は、男女共同参画社会をめざす活発な取り組みの一助となるよう、アカデミアにおける男女共同参画の先駆として各分野で活躍し、多大な貢献をなした方々を選考し顕彰する制度です。

氏名・団体名	職名等	受賞部門	受賞課題名
令和元年度	相田 美砂子 広島大学 理事・副学長	本賞	女性研究者の活躍促進と、大学のシステム改革の推進
	埼玉大学 みんなのトイレプロジェクト	奨励賞	埼玉大学におけるダイバーシティ環境整備としての「みんなのトイレ」プロジェクト
平成30年	九州大学 研究戦略委員会	本賞	「女性枠設定による教員採用・養成システム」による先導的取組の推進とその成果
	大阪府立大学 理系女子大学院生チーム IRIS	奨励賞	理系女子大学院生チーム IRIS (アイリス) による地域における理系進路支援の取り組み
平成29年	小川 眞里子 三重大学 名誉教授	本賞	科学技術とジェンダー：歴史と展望の探求
	古山 陽一 国際医療福祉大学 成田看護学部 助教	奨励賞	看護学分野における若手男性研究者として男性のケアワーク参画を支援する先導的活動
平成28年	名古屋大学 男女共同参画室	本賞	大学における男女共同参画推進事業のモデル化による国際的拠点化
平成27年	大坪 久子 日本大学薬学部・薬学研究所 上席研究員	本賞	日本の理工系女性研究者支援を牽引した先導的活動
	新大 Wits (しんだいいういっつ)	奨励賞	“新大 Wits” による出前授業活動から生まれた男女共同参画多世代キャリア教育
平成26年	辻村 美よ子 明治大学 法科大学院 教授	本賞	日本の男女共同参画社会の推進を牽引する先導的活動について
	S A 輝友会 (エスエーきゆうかい)	奨励賞	東北大学サイエンス・エンジェル (SA) 修了生による男女共同参画推進の取組み

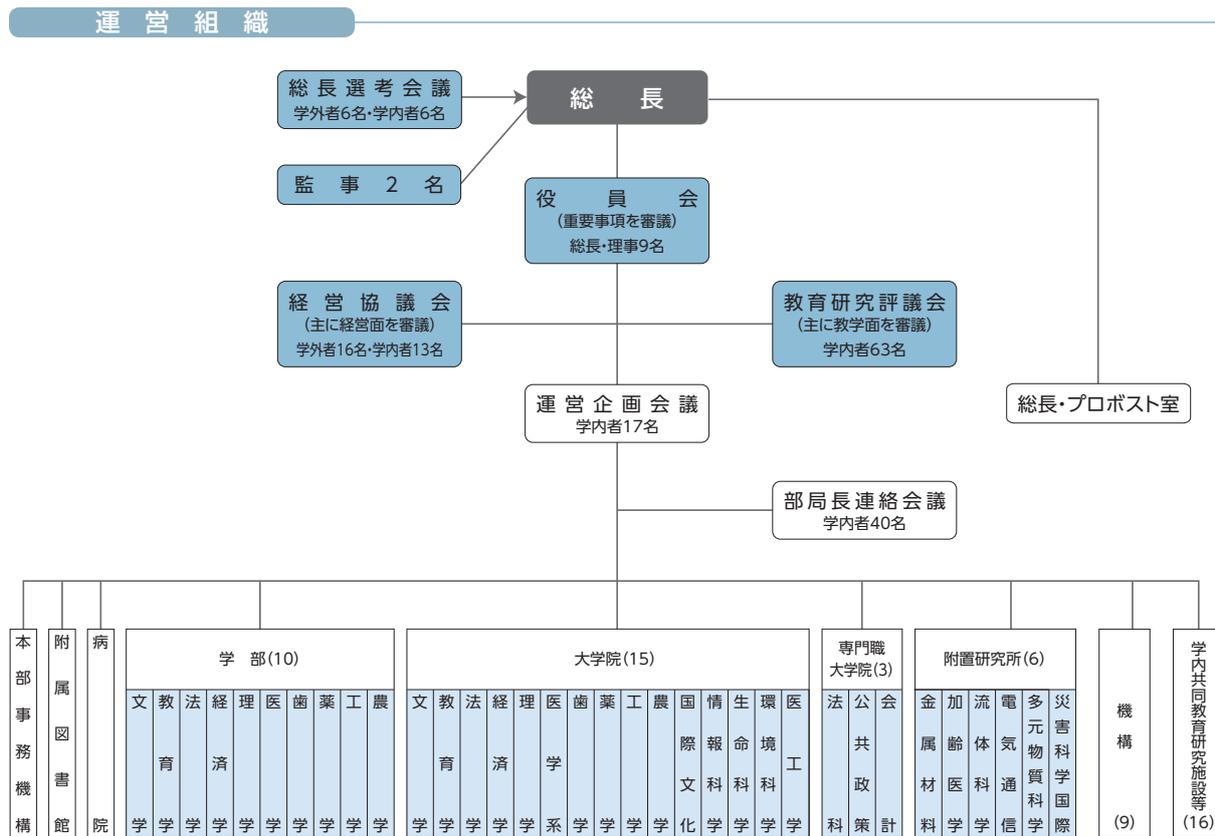
沢柳賞(東北大学男女共同参画奨励賞)受賞者

「沢柳賞」は、東北大学における男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関連する研究や活動を行った人及び団体を表彰するものです。

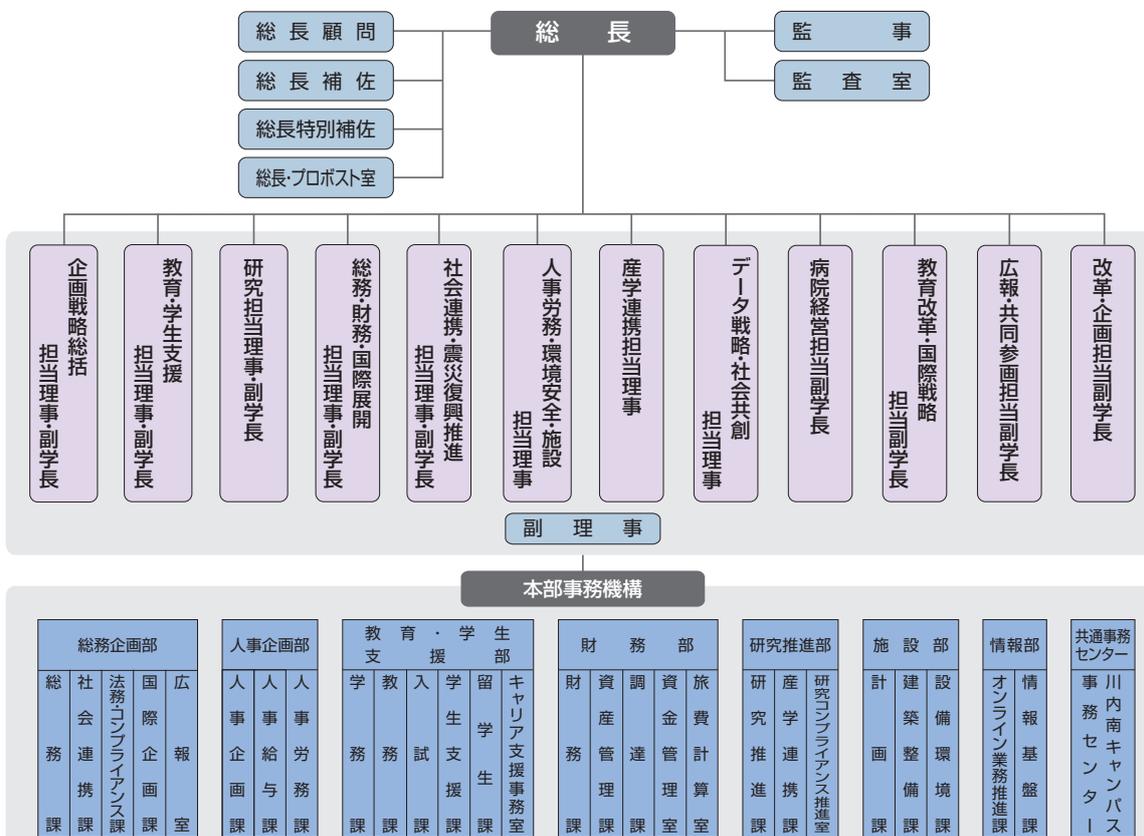
授賞年度	氏名・団体名	職名等	受賞部門
平成24年	アロナ	経済学研究科「留学生・研究者の産育・育児を支援する地域・大学協働プロジェクトチーム」代表	活動部門
平成23年	朝倉 京子	医学系研究科教授	研究部門
平成22年	茂木 洋平	法学研究科博士課程後期	研究部門
	阿部 比佐久	理学研究科再雇用職員	プロジェクト部門(特別賞)
	久利 美和	理学研究科助教	
平成21年	村上 祐子	理学研究科准教授	研究部門
	下夷 美幸	文学研究科准教授	
	青葉理学振興会		活動部門
	女性と労働研究会		プロジェクト部門
平成20年	山崎 都	病院 医員	活動部門(特別賞)
	東北大学川内けやき保育園保護者会		活動部門
	トルムンフオドトヤ	環境科学研究科博士課程学生	プロジェクト部門(特別賞)
平成19年	齊藤 綾美	教育学研究科特別研究員	研究部門
	阿部 未央	法学研究科博士課程学生	研究部門(特別賞)
	工学研究科 機械・知能系男女共同参画推進委員会WGおよび女子学生交流会学生会スタッフ		活動部門
	尾崎 博美	教育学研究科博士課程学生	プロジェクト部門
	八木 美保子	教育学研究科博士課程学生	
	水原 克敏	教育学研究科教授	
平成18年	生田 久美子	教育学研究科教授	プロジェクト部門(特別賞)
	ヤマモトシアエミコ	文学研究科専門研究員	
	吉田 浩	経済学研究科助教	研究部門
	遠山 智子	理学研究科教育研究支援者	活動部門
	鈴木 美智子	理学研究科教育研究支援者	
玉江 京子	理学研究科助手	活動部門	
海老原 孝枝	病院「子育てに関する女性医師の会」代表		
橋本 鋺市	教育学研究科助教	プロジェクト部門	

運営組織

(2020年7月1日現在)



理事・副学長・副理事・本部事務機構

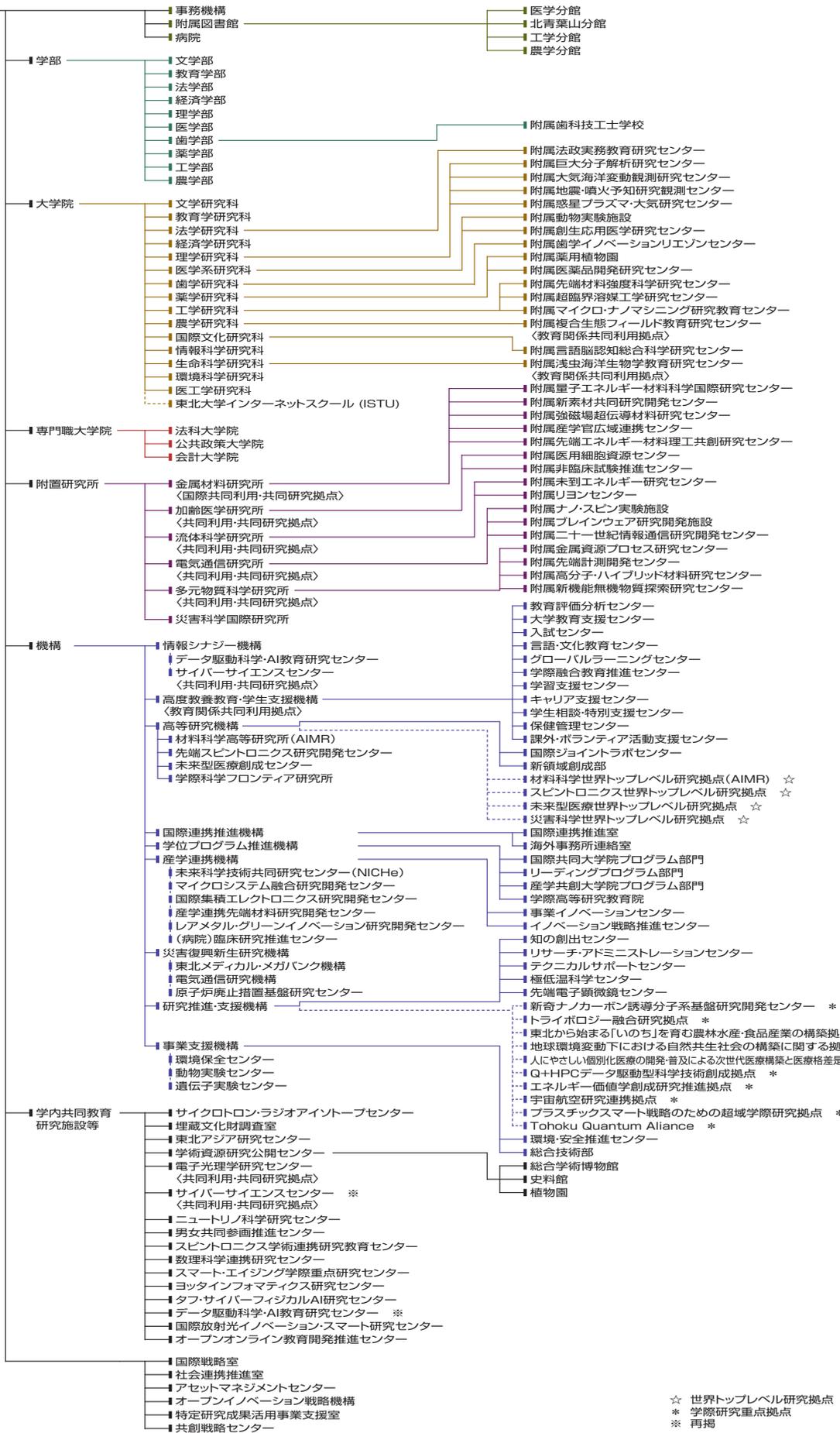


機構図

(2020年7月1日現在)

国立大学法人東北大学

東北大学



組織

☆ 世界トップレベル研究拠点
 * 学際研究重点拠点
 ※ 再掲

役員・主な役職者

総長	大野英男
理事・副学長(企画戦略総括担当)	青木孝文
理事・副学長(教育・学生支援担当)	滝澤博胤
理事・副学長(研究担当)	小谷元子
理事・副学長(総務・財務・国際展開担当)	植木俊哉
理事・副学長(社会連携・震災復興推進担当)	原信義
理事(人事労務・環境安全・施設担当)	下間康行
理事(産学連携担当)	植田拓郎
理事(非常勤)(データ戦略・社会共創担当)	土井美和子
監事	小林邦英
監事(非常勤)	牛尾陽二
副学長(病院経営担当)	富永悌二
副学長(教育改革・国際戦略担当)	山口昌弘
副学長(広報・共同参画担当)	大隅典子
副学長(改革・企画担当)	植木誠
総長補佐	成瀬幸典
総長補佐	八重樫伸生
総長補佐	長坂徹也
総長補佐	今村文彦
副理事(事業創造担当)	佐々木啓一
副理事(入試担当)	長濱裕幸
副理事(AI人材担当)	中尾光之
副理事(教育研究システム改革担当)	湯上浩雄
副理事(研究担当)	寺田眞浩
副理事(研究戦略マネジメント担当)	根本靖久
副理事(次世代放射光計画担当)	村松淳司
副理事(学際研究担当)	宮田敏男
副理事(産学連携担当)	杉本諭
副理事(大学改革・コンプライアンス担当)	齋藤仁
副理事(企画戦略担当)	伊豆仁志

総長特別補佐(情報基盤担当)	伊藤彰則
総長特別補佐(教育企画担当)	静谷啓樹
総長特別補佐(学生支援担当)	菅原俊二
総長特別補佐(学生支援担当)	小田中直樹
総長特別補佐(研究担当)	中山啓子
総長特別補佐(研究担当)	高田昌樹
総長特別補佐(研究担当)	高倉浩樹
総長特別補佐(研究倫理担当)	佐々木孝彦
総長特別補佐(災害対策担当)	佐藤健
総長特別補佐(国際交流担当)	末松和子
総長特別補佐(人事・業務改革担当)	藤本雅彦
総長特別補佐(社会連携担当)	金井浩
総長特別補佐(社会連携担当)	吉見享祐
総長特別補佐(社会連携担当)	吉澤誠
総長特別補佐(社会連携担当)	松八重一代
総長特別補佐(震災復興推進担当)	張替秀郎
総長特別補佐(震災復興推進担当)	渡邊豊
総長特別補佐(救友会担当)	長谷川史彦
総長特別補佐(知的財産担当)	蘆立順美
総長特別補佐(国際戦略担当)	米澤彰純
総長特別補佐(デジタル革新担当)	小林広明
総長特別補佐(情報・評価担当)	曾根秀昭
総長特別補佐(共同参画担当)	田中真美
総長特別補佐(共同参画担当)	芳賀満
総長特別補佐(大学改革担当)	東谷篤志
総長特別補佐(大学改革担当)	高村仁
総長特別補佐(大学改革担当)	筒井健一郎
総長特別補佐(大学改革担当)	越村俊一
総長特別補佐(大学改革担当)	中澤徹

■ 本部

事務機構長	伊豆仁志
【総長・プロボスト室】	
総長・プロボスト室長	青木孝文
総長・プロボスト室副室長	山口昌弘
総長・プロボスト室副室長	植木誠
総長・プロボスト室副室長	湯上浩雄
総長・プロボスト室副室長	伊豆仁志
総長・プロボスト室主任経営企画スタッフ	小川裕之
総長・プロボスト室主任経営企画スタッフ	吉田卓司
総長・プロボスト室主任経営企画スタッフ	吉田靖生
【総務企画部】	
総務企画部長	谷口善孝
総務課長	門脇幸見
社会連携課長	佐藤秀樹
法務・コンプライアンス課長	菅原隆
国際企画課長	乳井まさこ
【人事企画部】	
人事企画部長	羽鳥政男
人事企画課長	芳賀昌史
人事給与課長	木皿卓郎
人事労務課長	目黒尚美
【教育・学生支援部】	
教育・学生支援部長	八島崇
学務課長	熊谷大
教務課長	高橋裕之
入試課長	穴戸和良
学生支援課長	佐藤功
留学生課長	吉越忠助

【財務部】	
財務部長	伊豆仁志
財務課長	土屋啓一
資産管理課長	安藤元光
調達課長	高橋智
【研究推進部】	
研究推進部長	伊藤保春
研究推進部次長	近藤隆
研究推進課長	櫛引加代子
産学連携課長	菊田克也
【施設部】	
施設部長	後藤勝
計画課長	森屋昭則
建築整備課長	島岡玉樹
設備環境課長	佐藤孝記
キャンパスデザイン室長	後藤勝
【情報部】	
情報部長	谷口善孝
オンライン業務推進課長	菊地茂樹
情報基盤課長	宇和野周一
【共通事務センター】	
共通事務センター長	伊豆仁志
川内南キャンパス事務センター事務長	鎌田宏一
【本部事務機構付】	
課長	川村眞彩
課長	齋藤彩
【監査室】	
監査室長	石垣忠

(2020年7月1日現在)

■ 学部・大学院研究科及び附属施設	
【文学部・文学研究科】	
文学部長・文学研究科長	柳原敏昭
文学部副学部長・文学研究科副研究科長	阿部恒之
文学部副学部長・文学研究科副研究科長	木村敏明
事務長	志賀紀行
【教育学部・教育学研究科】	
教育学部長・教育学研究科長	八鍬友広
教育学部副学部長・教育学研究科副研究科長	野口和人
事務長	佐藤伸一
【法学部・法学研究科】	
法学部長・法学研究科長	成瀬幸典
法学部副学部長・法学研究科副研究科長	蘆立順美
法学部副学部長・法学研究科副研究科長	鹿子生浩輝
法科大学院長	久保野恵美子
公共政策大学院長	飯島淳子
法政実務教育研究センター長	戸澤英典
事務長	木戸龍輔
【経済学部・経済学研究科】	
経済学部長・経済学研究科長	守健二
経済学部副学部長・経済学研究科副研究科長	小田中直樹
経済学部副学部長・経済学研究科副研究科長	吉田浩
会計大学院長	青木雅明
事務長	金子雅人
【理学部・理学研究科】	
理学部長・理学研究科長	寺田眞浩
理学研究科副研究科長	小原隆博
理学研究科副研究科長	中村哲
理学研究科副研究科長	都築暢夫
巨大分子解析研究センター長	岩本武明
大気海洋変動観測研究センター長	早坂忠裕
地震・噴火予知研究観測センター長	三浦哲
惑星プラズマ・大気研究センター長	笠羽康正
事務部長	佐藤龍彦
総務課長	阿部文洋
教務課長	永野桂一
経理課長	及川勝治
【医学部・医学系研究科】	
医学部長・医学系研究科長	八重樫伸生
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	赤池孝章
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	大和田祐二
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	片桐秀樹
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	鈴木貴
動物実験施設長	三好一郎
創生応用医学研究センター長	片桐秀樹
事務部長	佐藤敬浩
総務課長	山本幸一
教務課長	我妻建史
経理課長	日野謙二
【歯学部・歯学研究科】	
歯学部長・歯学研究科長	高橋信博
歯学部副学部長・歯学研究科副研究科長	小坂健
歯学部副学部長・歯学研究科副研究科長	若森実
歯科技工士学校長	菊池雅彦
歯学イノベーションリエゾンセンター長	江草宏
事務長	阿部昭
【薬学部・薬学研究科】	
薬学部長・薬学研究科長	根東義則
薬学部副学部長・薬学研究科副研究科長	岩淵好治
薬学部副学部長・薬学研究科副研究科長	平澤典保
薬用植物園長	根東義則
医薬品開発研究センター	平澤典保
事務長	渡邊真好
【工学部・工学研究科】	
工学部長・工学研究科長	長坂徹也
工学研究科副研究科長	安藤晃
工学研究科副研究科長	橋爪秀利
工学研究科副研究科長	久田真
先端材料強度科学研究センター長	小川和洋
超臨界溶媒工学研究センター長	猪股宏
マイクロ・ナノマシニング研究教育センター長	金森義明
マイクロ・ナノマシニング研究教育センター副センター長	塚本貴城
事務部長	齋藤嘉信
工学部・工学研究科付課長	板垣毅
総務課長	佐藤政行
教務課長	山田幸紀
経理課長	杉山泰啓
研究推進課長	柴田一
【農学部・農学研究科】	
農学部長・農学研究科長	阿部敬悦
農学研究科副研究科長	伊藤房雄
農学研究科副研究科長	高橋英樹
複合生態フィールド教育研究センター長	小倉振一郎
複合生態フィールド教育研究センター副センター長	池田実
複合生態フィールド教育研究センター副センター長	西田瑞彦
事務長	佐藤吉和
【国際文化研究科】	
国際文化研究科長	高橋大厚
国際文化研究科副研究科長	佐藤透
国際文化研究科副研究科長	劉庭秀
言語脳認知総合科学研究センター長	高橋大厚
事務長	我妻靖
【情報科学研究科】	
情報科学研究科長	尾畑伸明
情報科学研究科副研究科長	田中和之
情報科学研究科副研究科長	橋本浩一
事務長	信坂健
【生命科学研究科】	
生命科学研究科長	杉本亜砂子
生命科学研究科副研究科長	河田雅圭
浅虫海洋生物学教育研究センター長	熊野岳
事務長	及川良房
【環境科学研究科】	
環境科学研究科長	土屋範芳
環境科学研究科副研究科長	川田達也
【医工学研究科】	
医工学研究科長	永富良一
医工学研究科副研究科長	西條芳文

(2020年7月1日現在)

産学連携機構副機構長	長谷川 史 彦	東北メディカル・メガバンク機構副機構長	布 施 昇 男
未来科学技術共同研究センター長	長谷川 史 彦	東北メディカル・メガバンク機構事務長	安 藤 正 夫
未来科学技術共同研究センター副センター長	赤 池 孝 章	東北メディカル・メガバンク機構特任教授(企画・調整担当)	佐 藤 政 文
未来科学技術共同研究センター副センター長	猪 股 宏	電気通信研究機構長	山 田 博 仁
未来科学技術共同研究センター副センター長	仲 川 清 隆	電気通信研究機構副機構長	小 川 裕 之
マイクロシステム融合研究開発センター長	小 野 崇 人	電気通信研究機構副機構長	尾 辻 泰 一
マイクロシステム融合研究開発センター副センター長	戸 津 健 太 郎	原子炉廃止措置基盤研究センター長	渡 邊 豊
国際集積エレクトロニクス研究開発センター長	遠 藤 哲 郎	原子炉廃止措置基盤研究センター副センター長	前 田 匡 樹
国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長	池 田 正 二	【研究推進・支援機構】	
国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長	品 田 賢 宏	研究推進・支援機構長	小 谷 元 子
産学連携先端材料研究開発センター長	塩 入 諭	知の創出センター長	小 谷 元 子
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	石 本 淳	知の創出センター副センター長	高 木 敏 行
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	石 山 和 志	知の創出センター副センター長	前 田 吉 昭
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	福 山 博 之	リサーチ・アドミニストレーションセンター長	河 村 純 一
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	正 橋 直 哉	リサーチ・アドミニストレーションセンター副センター長	佐 藤 準
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	吉 田 栄 吉	リサーチ・アドミニストレーションセンター副センター長	佐 司 弘 樹
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長	杉 本 諭	テクニカルサポートセンター長	小 谷 元 子
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長	桐 島 陽	テクニカルサポートセンター副センター長	中 山 啓 子
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長	吉 田 和 哉	極低温科学センター長	佐 々 木 孝 彦
(病院)臨床研究推進センター長	張 替 秀 郎	先端電子顕微鏡センター長	津 田 健 治
事業イノベーションセンター長	植 田 拓 郎	【事業支援機構】	
イノベーション戦略推進センター長	植 田 拓 郎	事業支援機構長	下 間 康 行
【災害復興新生研究機構】		環境保全センター長	服 部 徹 太 郎
災害復興新生研究機構長	原 信 義	動物実験センター長	清 水 律 子
災害復興新生研究機構副機構長	今 村 文 彦	遺伝子実験センター長	本 橋 ほ づ み
東北メディカル・メガバンク機構長	山 本 雅 之	環境・安全推進センター長	下 間 康 行
東北メディカル・メガバンク機構副機構長	木 下 賢 吾	総合技術部長	下 間 康 行
東北メディカル・メガバンク機構副機構長	呉 繁 夫	総合技術部副部長	猪 狩 佳 幸

■ 学内共同教育研究施設等

【サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター】		【ヨットインフォマティクス研究センター】	
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター長	渡 部 浩 司	ヨットインフォマティクス研究センター長	塩 入 諭
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター副センター長	田 代 学	ヨットインフォマティクス研究センター副センター長	大 町 真 一 郎
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター副センター長	寺 川 貴 樹	ヨットインフォマティクス研究センター副センター長	坂 井 信 之
【埋蔵文化財調査室】		【タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター】	
埋蔵文化財調査室長	藤 澤 敦	タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター長	田 所 諭
【東北アジア研究センター】		タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター副センター長	乾 健 太 郎
東北アジア研究センター長	高 倉 浩 樹	【データ駆動科学・AI 教育研究センター】	
東北アジア研究センター副センター長	瀬 川 昌 久	データ駆動科学・AI 教育研究センター長	早 川 美 徳
東北アジア研究センター副センター長	千 葉 聡	【国際放射光イノベーション・スマート研究センター】	
【学術資源研究公開センター】		国際放射光イノベーション・スマート研究センター長	村 松 淳 司
学術資源研究公開センター長	西 弘 嗣	国際放射光イノベーション・スマート研究センター副センター長	福 山 博 之
総合学術博物館長	藤 澤 敦	【オープンオンライン教育開発推進センター】	
史料館長	安 達 宏 昭	オープンオンライン教育開発推進センター長	滝 澤 博 胤
植物園長	牧 雅 之	オープンオンライン教育開発推進センター副センター長	中 島 平
【電子光物理学研究センター】		【国際戦略室】	
電子光物理学研究センター長	濱 広 幸	国際戦略室長	山 口 昌 弘
【ニュートリノ科学研究センター】		国際戦略室副室長	米 澤 彰 純
ニュートリノ科学研究センター長	井 上 邦 雄	【社会連携推進室】	
【男女共同参画推進センター】		社会連携推進室長	原 信 義
男女共同参画推進センター長	大 隅 典 子	社会連携推進室副室長	長谷川 史 彦
男女共同参画推進センター副センター長	田 中 真 美	社会連携推進室副室長	吉 澤 誠
男女共同参画推進センター副センター長	永 次 史	社会連携推進室副室長	吉 見 享 佑
男女共同参画推進センター副センター長	芳 賀 満	【アセットマネジメントセンター】	
【スピントロニクス学術連携研究教育センター】		アセットマネジメントセンター長	植 木 俊 哉
スピントロニクス学術連携研究教育センター長	高 梨 弘 毅	アセットマネジメントセンター副センター長	伊 豆 仁 志
スピントロニクス学術連携研究教育センター副センター長	白 井 正 文	【オープンイノベーション戦略機構】	
スピントロニクス学術連携研究教育センター副センター長	水 上 成 美	オープンイノベーション戦略機構長	青 木 孝 文
【数理科学連携研究センター】		オープンイノベーション戦略機構副機構長	植 田 拓 郎
数理科学連携研究センター長	小 川 卓 克	【特定研究成果活用事業支援室】	
数理科学連携研究センター副センター長	都 築 暢 夫	特定研究成果活用事業支援室長	青 木 孝 文
数理科学連携研究センター副センター長	原 田 昌 晃	特定研究成果活用事業支援室副室長	伊 豆 仁 志
【スマート・エイジング学際重点研究センター】		【共創戦略センター】	
スマート・エイジング学際重点研究センター長	川 島 隆 太	共創戦略センター長	佐 々 木 啓 一
スマート・エイジング学際重点研究センター副センター長	瀧 靖 之	【診療所】	
スマート・エイジング学際重点研究センター副センター長	本 橋 ほ づ み	診療所長	石 井 正

総長選考会議

学外委員	
小野寺 正	KDDI 株式会社相談役
海 輪 誠	東北電力株式会社代表取締役会長 一般財団法人東北経済連合会会長
榊 裕 之	学校法人トヨタ学園常務理事 日本学士院会員 東京大学名誉教授
遠 山 敦 子	公益財団法人トヨタ財団顧問 静岡県富士山世界遺産センター館長 元文部科学大臣
原 山 優 子	国立研究開発法人理化学研究所理事 東北大学名誉教授
東 哲 郎	つくばイノベーションアリーナ運営最高会議議長 東京エレクトロン株式会社チェアマンエメリタス

学内委員	
富 永 悌 二	副学長(病院長)
成 瀬 幸 典	総長補佐(法学研究科長)
八重樫 伸 生	総長補佐(医学系研究科長)
長 坂 徹 也	総長補佐(工学研究科長)
今 村 文 彦	総長補佐(災害科学国際研究所長)
寺 田 眞 浩	理学研究科長

役員会

大 野 英 男	総 長
青 木 孝 文	理 事・副学長
滝 澤 博 胤	理 事・副学長
小 谷 元 子	理 事・副学長

植 木 俊 哉	理 事・副学長
原 信 義	理 事・副学長
下 間 康 行	理 事
植 田 拓 郎	理 事
土 井 美 和子	理 事(非常勤)

経営協議会

学外委員	
大 谷 和 子	株式会社日本総合研究所 執行役員法務部長
長 田 公 平	日本経済新聞社参与
小野寺 正	KDDI 株式会社相談役
帯 野 久美子	株式会社インターアクト・ジャパン代表取締役
海 輪 誠	東北電力株式会社代表取締役会長 一般財団法人東北経済連合会会長
川 田 順 一	ENEOS ホールディングス株式会社理事
黒 田 玲 子	中部大学先端研究センター特任教授 東京大学名誉教授
小 林 英 文	株式会社七十七銀行取締役頭取 学校法人トヨタ学園常務理事
榊 裕 之	日本学士院会員 東京大学名誉教授
清 野 智	東日本旅客鉄道株式会社顧問 日本政府観光局(JNTO) 理事長
中 鉢 良 治	国立研究開発法人産業技術総合研究所最高顧問 公益財団法人トヨタ財団顧問
遠 山 敦 子	静岡県富士山世界遺産センター館長 元文部科学大臣
原 山 優 子	国立研究開発法人理化学研究所理事 東北大学名誉教授
東 哲 郎	つくばイノベーションアリーナ運営最高会議議長 東京エレクトロン株式会社チェアマンエメリタス
吉 武 博 通	東京都立大学法人理事 筑波大学名誉教授
渡 邊 光一郎	第一生命ホールディングス株式会社取締役会長 第一生命保険株式会社取締役会長

学内委員	
大 野 英 男	総 長
青 木 孝 文	理 事・副学長
滝 澤 博 胤	理 事・副学長
小 谷 元 子	理 事・副学長
植 木 俊 哉	理 事・副学長
原 信 義	理 事・副学長
下 間 康 行	理 事
植 田 拓 郎	理 事
土 井 美 和子	理 事(非常勤)
富 永 悌 二	副学長(病院長)
山 口 昌 弘	副学長
大 隅 典 子	副学長
植 木 誠	副学長

(2020年7月1日現在)

教育研究評議会

大野英男	総長	小坂健	歯学研究科教授
青木孝文	理事・副学長	岩淵好治	薬学研究科教授
滝澤博胤	理事・副学長(高度教養教育・学生支援機構長)	貝沼亮介	工学研究科教授
小谷元子	理事・副学長	高橋英樹	農学研究科教授
植木俊哉	理事・副学長	佐藤透	国際文化研究科教授
原信義	理事・副学長	橋本浩一	情報科学研究科教授
下間康行	理事	田村宏治	生命科学研究科教授
植田拓郎	理事	高橋弘	環境科学研究科教授
土井美和子	理事(非常勤)	西條芳文	医工学研究科教授
富永悌二	副学長(病院長)	田中真美	医工学研究科教授
山口昌弘	副学長	佐々木孝彦	金属材料研究所教授
大隅典子	副学長	本橋ほづみ	加齢医学研究所教授
植木誠	副学長	佐藤岳彦	流体科学研究所教授
成瀬幸典	総長補佐(法学研究科長)	羽生貴弘	電気通信研究所教授
八重樫伸生	総長補佐(医学系研究科長)	高橋正彦	多元物質科学研究所教授
長坂徹也	総長補佐(工学研究科長)	丸谷浩明	災害科学国際研究所教授
今村文彦	総長補佐(災害科学国際研究所長)	伊藤千裕	高度教養教育・学生支援機構教授
柳原敏昭	文学研究科長	末松和子	高度教養教育・学生支援機構教授
八鍬友広	教育学研究科長		
守健二	経済学研究科長		
寺田真浩	理学研究科長		
高橋信博	歯学研究科長		
根東義則	薬学研究科長		
阿部敬悦	農学研究科長		
高橋大厚	国際文化研究科長		
尾畑伸明	情報科学研究科長		
杉本亜砂子	生命科学研究科長		
土屋範芳	環境科学研究科長		
永富良一	医工学研究科長		
古原忠	金属材料研究所長		
川島隆太	加齢医学研究所長		
丸田薫	流体科学研究所長		
塩入諭	電気通信研究所長		
寺内正己	多元物質科学研究所長		
五十嵐薫	病院総括副病院長		
高倉浩樹	東北アジア研究センター長		
折茂慎一	材料科学高等研究所長		
山本雅之	東北メディカル・メガバンク機構長		
阿部恒之	文学研究科教授		
小嶋秀樹	教育学研究科教授		
戸澤英典	法学研究科教授		
吉田浩	経済学研究科教授		
小原隆博	理学研究科教授		
石井直人	医学系研究科教授		
青木洋子	医学系研究科教授		

役員・職員数

(2020年5月1日現在)

部 局	職 種	総長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	助手	教員計	事務・技術職員等	計
総長		1										1
理事			8(1)									8
監事				2(1)								2
本部事務機構	本部事務機構										3	3
	総長・プロボスト室						1			1	11	12
	総務企画部								1	1	56	57
	人事企画部										61	61
	教育・学生支援部										92	92
	財務部										70	70
	研究推進部										30	30
	施設部										42	42
	情報部										23	23
	共通事務センター										18	18
	監査室										6	6
文学部・文学研究科					48	32		14	2	96	11	107
教育学部・教育学研究科					14	19	1	7		41	7	48
法学部・法学研究科					37	13		4	2	56	11	67
経済学部・経済学研究科					32	18	5	7	5	67	13	80
理学部・理学研究科					69	84	4	85	4	246	70	316
医学部・医学系研究科					85	61	27	102	18	293	41	334
歯学部・歯学研究科					23	15	9	48		95	18	113
薬学部・薬学研究科					17	12	7	20	4	60	16	76
工学部・工学研究科					124	116	8	123	9	380	102	482
農学部・農学研究科					40	35		46	2	123	29	152
国際文化研究科					20	16		1		37	14	51
情報科学研究科					33	37	2	19		91	12	103
生命科学研究所					27	11	2	35		75	12	87
環境科学研究科					16	17		15	4	52	6	58
医工学研究科					18	6	1	6		31	3	34
金属材料研究所					28	34	1	63	4	130	34	164
加齢医学研究所					14	10	3	34	1	62	13	75
流体科学研究所					17	13		16		46	11	57
電気通信研究所					23	21		26		70	15	85
多元物質科学研究所					42	28	10	70		150	25	175
災害科学国際研究所					20	22	2	17	4	65	9	74
図書館	図書館										29	29
	医学分館										6	6
	北青葉山分館										3	3
	工学分館										6	6
	農学分館										4	4
病院					11	25	75	244	66	421	1,785	2,206
情報シナジー機構								1		1	2	3
高度教養教育・学生支援機構					25	37	17	23	2	104	18	122
高等研究機構	高等研究機構										10	10
	材料科学高等研究所				13	8	1	28	4	54	4	58
	先端スピロニクス研究開発センター									4		4
	未来型医療創成センター				2		1	5		8		8
	学際科学フロンティア研究所				4	4		50		58	2	60
国際連携推進機構										1	1	
産学連携機構					2					2	21	23
研究推進・支援機構					1	1			1	3	14	17
事業支援機構					1	2	1	2		6	359	365
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター					5		1	6	3	15		15
埋蔵文化財調査室											3	3
東北アジア研究センター					10	6		10		26		26
学術資源研究公開センター					3	4	1	5		13		13
電子光物理学研究センター					4	6		7		17		17
サイバーサイエンスセンター					4	4		1		9		9
ニュートリノ科学研究所					3	4		8		15	1	16
男女共同参画推進センター						1				1		1
スピロニクス学術連携研究教育センター						1		1		2		2
数理学連携研究センター					2	1		4		7		7
スマート・エイジング学際重点研究センター					1	1		3	1	6		6
ヨッタインフォマティクス研究センター								2		2		2
タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター						1		2		3		3
データ駆動科学・AI 教育研究センター					2	3		2	1	8		8
国際放射光イノベーション・スマート研究センター											1	1
オープンオンライン教育開発推進センター											1	1
未来科学技術共同研究センター					21	17	1	14	7	60	7	67
環境保全センター					1		1			2		2
遺伝子実験センター						1				1		1
東北メディカル・メガバンク機構					10	9	12	31	11	73	18	91
マイクロシステム融合研究開発センター					3	2	1	1	1	8	2	10
国際集積エレクトロニクス研究開発センター					12	3				15	4	19
産学連携先端材料研究開発センター					1					1		1
電気通信研究機構					3					3		3
原子炉廃止措置基盤研究センター					1					1		1
国際戦略室					1					1		1
オープンイノベーション戦略機構					1					1	10	11
共創戦略センター											1	1
合 計		1	8(1)	2(1)	894	761	195	1,212	157	3,219	3,196	6,426

※再雇用職員含む。 ※休職者含む。 ※()は非常勤で内数。

学部

文学部 1学科5学科目	学 科	人 文 社 会 学 科	学科目数	5	学科目	日本文化、東洋文化、西洋文化、人間文化、社会文化
	学 科	教 育 科 学 科	学科目数	2	学科目	教育学、教育心理学
法学部 1学科1学科目	学 科	法 学 科	学科目数	1	学科目	法学・政治学
	学 科	経 済 学 科 経 営 学 科	学科目数	3 3	学科目	基礎理論、応用経済、経済史 経営学、会計学、統計・数理科学
理学部 7学科7学科目	学 科	数 学 科	学科目数	1	学科目	数学
	学 科	物 理 学 科	学科目数	1	学科目	物理学
	学 科	宇 宙 地 球 物 理 学 科	学科目数	1	学科目	宇宙地球物理学
	学 科	化 学 科	学科目数	1	学科目	化学
	学 科	地 圏 環 境 科 学 科	学科目数	1	学科目	地圏環境科学
	学 科	地 球 惑 星 物 質 科 学 科	学科目数	1	学科目	地球惑星物質科学
	学 科	生 物 学 科	学科目数	1	学科目	生物学
医学部 2学科15学科目 7講座	学 科	医 学 科	学科目数	15	学科目	人体発生・構造学、分子生物・生化学、生理学、薬理学、病理学、感染・免疫学、 内科学、外科学、小児科学、精神医学、皮膚科学、泌尿・産婦人科学、感覚器病学、 麻酔・救急医学、社会医学
	学 科	保 健 学 科	学科目数	7 (講座)	学科目	基礎看護学、臨床看護学、地域保健看護学、放射線基礎技術学、 放射線医療技術学、基礎検査学、臨床検査学
歯学部 1学科5学科目	学 科	歯 学 科	学科目数	5	学科目	口腔基礎生物学、解剖生理歯科学、口腔機能再建学、口腔保健発育学、 口腔病態基礎外科学
	学 科	薬 学 科 創 薬 科 学 科	学科目数	1 1	学科目	薬学 創薬科学
工学部 5学科50学科目	学 科	機 械 知 能 ・ 航 空 工 学 科	学科目数	17	学科目	機能システム学、エネルギー学、材料メカニクス、ナノメカニクス、ロボットシステム、 ナノシステム、航空システム、宇宙システム、原子核システム安全工学、エネルギー物 理工学、粒子ビーム工学、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、資 源循環プロセス学、環境創成計画学、バイオ・メディカルデバイス、バイオ・メディカル システム
	学 科	電 気 情 報 物 理 工 学 科	学科目数	11	学科目	エネルギーデバイス工学、電気エネルギーシステム工学、通信システム工学、 波動工学、電子物性工学、電子システム工学、計算機基礎工学、知能情報処理工学、 システム情報工学、応用物性物理学、応用材料物理学
	学 科	化 学 ・ バ イ オ 工 学 科	学科目数	9	学科目	環境資源化学、分子システム化学、有機材料合成化学、量子無機材料化学、 プロセス要素工学、プロセスシステム工学、超臨界流体工学、生体分子化学、生体機能化学
	学 科	材 料 科 学 総 合 学 科	学科目数	7	学科目	創形創質プロセス学、先端マテリアル物理化学、材料環境学、ナノ材料物性学、 情報デバイス材料学、マイクロシステム学、生体材料システム学
	学 科	建 築 ・ 社 会 環 境 工 学 科	学科目数	6	学科目	基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学、建築計画学、 建築構成学
農学部 2学科13学科目	学 科	生 物 生 産 科 学 科	学科目数	8	学科目	植物生産科学、植物適応形質学、農業資源経済学、動物資源開発学、 動物生命科学、動物資源機能学、水圏生物機能学、水圏動物生産科学
	学 科	応 用 生 物 化 学 科	学科目数	5	学科目	分子生物学、生物化学、植物分子生理学、生命有機化学、食品機能科学

大学院

文学研究科 3専攻 12講座

専攻	講座数	講座
日 本 学	4	日本文化学、日本語科学、日本文学、日本歴史学
広 域 文 化 学	3	域際文化学、東洋文化学、西洋文化学
総 合 人 間 学	4	哲学倫理学、芸術人間学、心理言語人間学、社会人間学
	1	◎実践宗教学

教育学研究科 1専攻 5講座

専攻	講座数	講座
総 合 教 育 科 学	5	教育学、教育心理学、教育情報アセスメント、◎多文化教育論、◎教育情報応用論

法学研究科 3専攻 8講座

専攻	講座数	講座
総 合 法 制 (法科大学院)	3	現代市民法、現代企業法、比較法社会論
公 共 法 政 策 (公共政策大学院)	2	行政法政策、ガバナンス研究
法 政 理 論 研 究 (研究大学院)	3	トランスナショナル法、グローバル政治分析、グローバル法文化分析

経済学研究科 2専攻 12講座

専攻	講座数	講座
経 済 経 営 学	8	経済基盤、経営基盤、現代経済、システム科学、現代経営、医療福祉、地域政策、グローバルシステム
会 計 専 門 職 (会計大学院)	4	会計、経済と経営、IT と統計、法と倫理

理学研究科 6専攻 48講座

専攻	講座数	講座
数 学	5	代数学、幾何学、解析学、多様体論、応用数理
物 理 学	16	量子基礎物理学、素粒子・核物理学、電子物理学、量子物性物理学、固体統計物理学、相関物理学、領域横断物理学、◎原子核理学、◎高エネルギー物理学、◎結晶物理学、◎金属物理学、◎分光物理学、◎核放射線物理学、◎加速器科学、◎強相関電子物理学、◎量子計測
天 文 学	3	天文学、理論天体物理学、◎スペース宇宙科学
地 球 物 理 学	7	固体地球物理学、太陽惑星空間物理学、流体地球物理学、地球環境物理学、◎地殻物理学、◎惑星圏物理学、◎固体地球物理学
化 学	10	無機・分析化学、有機化学、物理化学、境界領域化学、先端理化学、◎生体機能化学、◎化学反応解析、◎固体化学、◎分離化学、◎重元素化学
地 球 学	7	地圏進化学、環境地理学、地球惑星物質科学、環境動態論、比較固体惑星学、◎地圏物質循環学、◎地球内部反応

医学系研究科 4専攻 57講座

専攻	講座数	講座
医 科 学	46	細胞生物学、生体機能学、病理病態学、内科病態学、発生・発達医学、外科病態学、神経・感覚器病態学、情報健康医学、公共健康医学、◎医用動物学、◎加齢制御学、◎腫瘍制御学、◎加齢脳科学、◎サイクロトロン核医学、◎分子・神経イメージング、◎がん医学、◎先進成育医学、◎がん生命科学、◎地域精神医療、◎先進循環器医学、◎グローバル感染症学、◎先進医薬品・医療機器開発レギュラトリーサイエンス、◎宮城県北先制医療学、◎次世代小児医療、◎新興・再興感染症学、◎腎臓病関連疾患総合医療、◎地域先進医療学、◎脳神経精神医学、◎先進放射線核医学、◎臨床呼吸器・感染症学、◎先進脳血管外科学、◎宮城県南先進地域医療開発医学
障 害 科 学	3	◎循環器EBM開発学、◎循環器先端医療開発学、◎視覚先端医療学、◎大動脈疾患治療開発学、◎網膜疾患制御学、◎難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携、◎眼科画像情報解析学、◎スポーツ・運動機能再建医学、◎地域総合診療医育成、◎感染制御インテリジェンスネットワーク
保 健 学	6	◎抗体創薬、◎眼科創薬、◎先進 MRI、◎漢方・統合医療学
公 衆 衛 生 学	2	機能医科学、◎高齢者認知・運動機能障害学、◎電磁気神経生理学(リコー)
		基礎・健康開発看護学、家族支援看護学、医用情報技術科学、生体応用技術科学、基礎検査医科学、臨床検査医科学
		情報健康医学、公共健康医学

歯学研究科 1専攻 10講座

専攻	講座数	講座
歯 科 学	10	エコロジー歯学、地域共生社会歯学、病態マネジメント歯学、リハビリテーション歯学、◎インベーションリエンジニアリング歯学、◎口腔腫瘍病態学、◎口腔免疫病態制御学、◎長寿口腔科学、◎次世代歯科材料工学、◎先端フリースリカル制御学

薬学研究科 3専攻 9講座

専攻	講座数	講座
分 子 薬 科 学	4	分子制御化学、分子解析学、◎分子動態解析学、◎分子イメージング薬学
生 命 薬 科 学	2	生命解析学、生命情報薬学
医 療 薬 学	3	医療薬学、◎病態分子薬学、◎医薬品評価学

工学研究科 18専攻 95講座

専攻	講座数	講座
機 械 機 能 創 成	6	機能システム学、エネルギー学、先進機械機能創成、◎破壊機構学、◎知能流体システム学、◎多元物質応用システム工学
フ ァ イ ン メ カ ニ ク ス	8	材料メカニクス、ナノメカニクス、バイオメカニクス、先進ファインメカニクス、◎破壊予知学、◎ナノ流動学、◎表面ナノ物理計測制御学、◎損傷計測学
ロ ボ テ ィ ク ス	4	ロボットシステム、ナノシステム、先進ロボティクス、◎知的メカノシステム工学
航 空 宇 宙 工 学	5	航空システム、宇宙システム、先進航空宇宙工学、◎航空宇宙流体工学、◎将来宇宙輸送工学
量 子 エ ネ ル ギ ー 工 学	12	先進原子核工学、原子核システム安全工学、エネルギー物理学、粒子ビーム工学、◎エネルギー材料工学、◎エネルギー化学工学、◎量子物性工学、◎加速器放射線工学、◎分子イメージング工学、◎核融合炉システム工学、◎核融合炉材料工学、◎廃炉基盤工学
電 気 エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム	4	エネルギーデバイス工学、電気エネルギーシステム工学、◎情報エネルギーシステム工学、◎先端電力工学
通 信 工 学	4	知的通信ネットワーク工学、通信システム工学、波動工学、◎伝送工学
電 子 工 学	7	超微細電子工学、電子制御工学、物性工学、電子システム工学、◎電子デバイス工学、◎電子材料工学、◎極限表面制御工学

工学研究科 18専攻95講座	専攻	講座数	講座
	応用物理学	5	応用界面物理学、応用物性物理学、応用材料物理学、○低温電子材料物性学、○電子・分光計測学
	応用化学	4	原子・分子制御工学、環境資源化学、分子システム化学、○反応設計学
	化学工学	4	プロセス解析工学、プロセス要素工学、プロセスシステム工学、○反応分離プロセス
	バイオ工学	4	応用生命化学、生体分子化学、生体機能化学、○生物有機化学
	金属フロンティア工学	6	金属プロセス工学、創形創質プロセス学、先端マテリアル物理学、○プロセス設計学、○プロセス制御学、◇先進鉄鋼材料組織制御学 (JFE スチール)
	知能デバイス材料学	6	材料電子化学、ナノ材料物性学、情報デバイス材料学、○ナノ構造物質工学、○物質機能創製学、○材料表面機能制御学
	材料システム工学	5	接合界面制御学、マイクロシステム学、生体材料システム学、○物質構造評価学、○材料機能制御プロセス学
	土木工学	5	数理システム設計学、基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学
	都市・建築学	4	都市・建築デザイン学、都市・建築計画学、サステナブル空間構成学、建築構造工学
技術社会システム	2	実践技術経営融合、先端社会工学	
農学研究科 3専攻20講座	専攻	講座数	講座
	資源生物学	8	植物生産科学、動物生産科学、水圏生物生産科学、資源環境経済学、○沿岸生物生産システム学、○栽培植物環境科学、※資源環境政策学、※緑辺深海生態系動態学
	応用生命科学	5	環境生命科学、植物機能科学、動物機能科学、分子細胞科学、◎家畜健康科学
	生物産業創成科学	6	微生物機能開発科学、食品機能健康科学、天然物生物機能科学、生物産業情報科学、◎発酵微生物学、◇J-オイルミルズ油脂イノベーション
国際文化研究科 1専攻8講座	専攻	講座数	講座
	国際文化研究	8	ヨーロッパ・アメリカ研究、アジア・アフリカ研究、国際日本研究、国際政治経済論、国際環境資源政策論、多文化共生論、言語科学研究、応用言語研究
情報科学研究科 4専攻34講座	専攻	講座数	講座
	情報基礎科学	11	情報基礎数理学、情報応用数理学、計算科学、ソフトウェア科学、○情報論理学、○コミュニケーション論、○高性能計算論、○情報セキュリティ論、○広域情報処理論、○データ基礎情報学、※先進的計算システム論
	システム情報科学	9	システム情報数理学、知能情報科学、生体システム情報学、知能ロボティクス学、○音情報科学、○高次視覚情報学、○情報コンテンツ学、○融合流体情報学、○ソフトウェア構成論
	人間社会情報科学	6	人間情報学、社会政治情報学、社会経済情報学、人間社会計画学、メディア情報学、○コミュニケーション心理学
	応用情報科学	8	応用情報技術論、応用生命情報学、○情報通信ソフトウェア学、○情報ネットワーク論、○流動システム情報学、○ブレインファンクション集積学、○健康情報学、※複雑系統計科学
生命科学研究科 3専攻12講座	専攻	講座数	講座
	脳生命統御科学専攻	3	神経ネットワーク、細胞ネットワーク、○分化制御ネットワーク
	生態発生適応科学専攻	4	個体ダイナミクス、生態ダイナミクス、○多様性ダイナミクス、※生態複合ダイナミクス
分子化学生物学専攻	5	ケミカルバイオロジー、分子ネットワーク、○階層的構造ダイナミクス、○微生物進化機能開発、※ゲノム情報学	
環境科学研究科 2専攻19講座	専攻	講座数	講座
	先進社会環境学	6	資源戦略学、エネルギー資源学、環境政策学、○環境応用政策学、※環境リスク評価学、◎環境物質政策学 (DOWA ホールディングス)
先端環境創成学	13	都市環境・環境地理学、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、資源循環プロセス学、環境創成計画学、○地殻環境システム創成学、○東北アジア地域社会論、○東北アジア地域文化論、○環境材料物理学、○環境システム材料学、◎反応解析機器開発学 (フロンティア・ラボ)、※環境適合材料創製学、※地球環境変動学	
医工学研究科 1専攻11講座	専攻	講座数	講座
	医工学	11	計測・診断医工学、治療医工学、生体機械システム医工学、生体再生医工学、社会医工学、医療機器創生医工学、○生体流動システム医工学、○人工臓器医工学、○生体材料学、○生体システム制御医工学、○生体情報システム学
専門職大学院 3専攻9講座	専攻	講座数	講座
	法科大学院	3	現代市民法、現代企業法、比較法社会論
	公共政策大学院	2	行政法政策、ガバナンス研究
会計大学院	4	会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理	

注) ○は協力講座を、※は連携講座を、◎は寄附講座を、◇は共同研究講座を表す。

附置研究所

金属材料研究所 (国際共同利用・共同研究拠点)	部門数 27	研究目的及びその研究部門 材料科学に関する学理及びその応用の研究 金属物性論、結晶物理学、磁気物理学、量子表面界面科学、低温物理学、低温電子物性学、量子ビーム金属物理学、量子機能物性学、金属組織制御学、計算材料学、材料放射工学、耐環境材料学、原子力材料工学、電子材料物性学、ランダム構造物質学、構造制御機能材料学、錯体物性化学、非平衡物質工学、磁性材料学、結晶材料化学、水素機能材料工学、複合機能材料学、加工プロセス工学、アクチノイド物質科学、不定比化合物材料学、分析科学、先端・萌芽
加齢医学研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 4	研究目的及びその研究部門 加齢医学に関する学理及びその応用の研究 加齢制御、腫瘍制御、脳科学、◎認知機能発達(公文教育研究会)
流体科学研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 4	研究目的及びその研究部門 流動現象に関する学理及びその応用の研究 流動創成、複雑流動、ナノ流動、◇先端車輪基盤技術研究(ケーヒン)Ⅱ
電気通信研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 4	研究目的及びその研究部門 高次情報通信に関する学理およびその応用の研究 情報デバイス、ブロードバンド工学、人間情報システム、システム・ソフトウェア
多元物質科学研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 7	研究目的及びその研究部門 多元的な物質に関する学理及びその応用の研究 有機・生命科学、無機材料、プロセスシステム工学、計測、◇非鉄金属製錬環境科学、◇製鉄プロセス高度解析技術(JFE スチール)、◇放射光次世代計測科学連携
災害科学国際研究所	部門数 8	研究目的及びその研究部門 災害科学に関する学理及びその応用の研究 災害リスク、人間・社会対応、地域・都市再生、災害理学、災害医学、情報管理・社会連携、◎地震津波リスク評価(東京海上日動)、◎都市直下地震災害(応用地質)

注)◎は寄附研究部門を、◇は共同研究部門を表す。

研究施設・組織・機構等

機構

施設名	設置目的
情報シナジー機構	本学全体の情報基盤整備等に係る企画立案、調整及び協議を行い、並びにその実施を担うとともに、情報システムに係る整備、運用、管理及び利用に関する調整を行い、並びに情報基盤に基づく各種のサービスを提供するとともに情報セキュリティ対策の推進に必要な措置を講ずることにより、本学の情報化の推進を図る。
高度教養教育・学生支援機構 (教育関係共同利用拠点)	高度教養教育及び学生支援に関する調査研究、企画及び提言並びにそれらの方法の開発及び実施を関係部局との連携の下、一体的に行うことにより、本学の教育の質の向上に寄与する。
高等研究機構	世界最高水準の研究者が集結する優れた国際的研究環境を構築することにより、世界最高の研究成果及び既存の学問領域を超えた新しい学術分野を創出し、並びに世界をリードする横断的分野融合研究を推進するとともに、次代を担う若手研究者を養成する。
材料科学高等研究所	革新的な材料科学に関する国際的な研究拠点として、原子・分子レベルにおける学理の深化及び異文化融合を通じて新たな原子分子制御法の確立及びこれに基づく革新的な高度実用材料の創出を図り、もって我が国の産業経済の持続的発展並びに当該学術分野における先端性及び優位性の維持及び進展に資する。
先端スピントロニクス研究開発センター	基礎から応用にわたる幅広い分野の卓越した研究者を海外有力大学との共同研究を通じて戦略的に結集し、スピントロニクスで世界を先導することにより、スピントロニクスを基礎に置いた科学技術を世界に先駆けて開拓するとともに、新産業創生に寄与する。
未来型医療創成センター	ゲノム医学を中核に基礎生命科学、情報科学等の卓越した研究力を結集した拠点として、ゲノム・オミックス情報その他の生体情報及び臨床情報を活用し、人工知能を含むデータ科学に基づく研究並びに遺伝要因及び環境要因と疾病との関係性の解明に関する研究並びにその成果の臨床実装を推進するとともに、これらを担う人材の養成を行うことにより、個別化医療及び個別化予防を柱とする未来型医療の実現に資する。
学際科学フロンティア研究所	異分野融合による学際的研究を開拓し、及び推進するとともに、各研究科、各附置研究所及び学位プログラム推進機構学際高等研究教育院との連携を通じて若手研究者の研究を支援することにより新たな知と価値を創出し、より豊かな人類社会の発展に貢献する。
国際連携推進機構	関係部局との連携の下、本学の国際化環境整備を促進し、職員及び学生の国際流動性の向上並びに教育研究における国際連携強化を一体的に行う。
学位プログラム推進機構	学問領域の壁を超え、かつ、国境の壁を超えた先進的な大学院の学位プログラム等の実施を関係部局との連携の下、一体的に行うことにより、これまでの本学の教育の質の向上に寄与し、国際的な指導者として活躍する人材を育成することを目的とする。
産学連携機構	産業界と連携して研究開発を行う関係部局との連携の下、世界標準の産学連携マネジメントを基盤とした本学の産学官連携の推進に関する業務を行うことにより、本学の研究成果の社会実装を図り、社会経済におけるイノベーションの推進に寄与する。
災害復興新生研究機構	関係部局との連携の下、本学が東日本大震災の被災地の中心に所在する総合大学として被災地域の課題を踏まえ、その特色及び資源を活用して行う研究、人材育成及び新産業創出等の取組を推進し、その成果を社会に発信し、及び実践を図ることにより、東日本大震災からの復興及び新生に寄与する。
研究推進・支援機構	本学における研究の推進及び支援を行うことにより、本学の研究の一層の発展に寄与し、分野融合及び新たな学問分野の創出を実現するとともに、その成果を社会に還元する。
事業支援機構	本学における適切な職場環境の形成及び教育研究に関する技術的支援を行うことにより、教育研究活動の一層の充実に資する。

研究施設・組織・機構等

学内共同教育研究施設

施設名	設置目的
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	サイクロトロン設備を多目的利用に供し、高レベル及び短寿命のラジオアイソトープの取扱設備を共用させるとともに、放射線の安全管理に係る全学的業務を行い、併せて加速器並びに測定器に係る原子核物理学、核薬学、サイクロトロン核医学及び放射線管理に関する研究開発を行う。
埋蔵文化財調査室	大学の施設整備が円滑に行われるために、構内の埋蔵文化財に関する調査を行い、併せて資料の保管及びその活用を図る。
東北アジア研究センター	東北アジア（東アジア及び北アジア並びに日本をいう。）地域に関する地域研究を学際的及び総合的に行う。
学術資源研究公開センター	学術標本、歴史資料として重要な公文書その他の大学の歴史に関する資料、植物園の敷地内に生育する生物資源等、本学が所蔵する学術資料の収集、保管又は保全及び研究を行い、もって学内の教育研究に資するとともに、これらを広く一般に公開して社会教育の振興に寄与する。
電子光学研究センター (共同利用・共同研究拠点)	電子加速器から得られる様々なエネルギーの電子・光子ビームを主要な手段として、原子核物理学、加速器科学、物質科学等の物質諸階層の基礎と応用の研究を推進し、並びに新たな電子光ビームの開発を通じて、未踏研究分野の開拓及び新研究領域の創造を目指すとともに、電子光学諸分野における研究者、技術者等の養成を行う。
サイバーサイエンスセンター (共同利用・共同研究拠点)	全国共同利用の学内共同教育研究施設等として、研究、教育等に係る情報化を推進するための研究開発並びに情報基盤の整備及び運用を行い、本学の情報化の推進において中核的な役割を担う。
ニュートリノ科学研究センター	低エネルギー・ニュートリノの観測及び極低放射線環境における実験的研究を通じて、素粒子物理学、宇宙物理学及び地球物理学の発展に寄与する。
男女共同参画推進センター	男女共同参画委員会の方針に基づき、女性研究者の育成支援等に係る施策を行うことにより、本学における男女共同参画を推進する。
スピントロニクス学術連携研究教育センター	世界をリードする日本のスピントロニクス研究の国際競争力の向上、新産業の創出、現産業の強化及び次世代人材の育成を目指し、国内外の研究機関との共同研究を促進する連携ネットワークの拠点としての役割を担う。
数理論科学連携研究センター	先端的な社会実現に向けたテクノロジー及びイノベーションの原動力となる数学・数理論科学の基礎基盤構築を促進し、異分野連携研究による新分野の創出及び社会の要請に応える研究教育活動を含めた総合的な数理論科学の進展を行う。
スマート・エイジング学際重点研究センター	基礎生命科学、人文社会科学その他の加齢科学に関する広範な学問領域が重層的かつ融合的に協働し、社会での認知症予防実践を提言する文理融合の学際的国際共同研究を行うことにより、真に有機的な融合科学としての加齢科学の構築を図り、もって超高齢社会における個人及び社会の活力維持に向けたスマート・エイジングを実現する。
ヨットインフォマティクス研究センター	人文社会科学、理工学及び情報科学の知を連携し、質・価値の概念を導入した情報処理手法の構築及び社会実装に向けた文理連携研究を行うことにより、情報質を取り扱う新たな情報学を確立し、もって多様な価値を享受できる社会の実現に貢献する。
タフ・サイバーフィジカルAI研究センター	先端的な推論・認識能力と高機能計算基盤を持つロバストなフィジカルシステム及びサービスに関する研究開発を通じて、無限定な実世界で安定して稼働するタフ・サイバーフィジカルAIを実現するとともに、産官学連携の下、社会課題の解決に向けた研究成果の社会実装及び若手人材の育成を行い、もってレジリエントでスマートな社会の発展に貢献する。
データ駆動科学・AI教育研究センター	数理論科学、データ科学分野及びAI分野の教育研究の充実並びに展開において中核的な役割を担うとともに、教育の情報化に関する研究開発及び支援を通じて本学における教育の高度化を図り、もって社会の革新の原動力となる人材の育成に貢献する。
国際放射光イノベーション・スマート研究センター	次世代放射光施設を活用した新学術の創発及び未踏研究領域の開拓、社会連携に基づく未来価値創造の支援並びに国際連携体制の構築を行うとともに、これらを通じて国際的な指導者として活躍する人材を育成する。
オープンオンライン教育開発推進センター	本学における大規模公開オンライン講座に関する研究開発、企画及び支援を関係部局との連携の下、一体的に行うとともに、本学の教育研究成果をオンライン教育により国内外へ発信及び公開することにより、本学の教育研究の一層の発展に寄与する。

施設名	設置目的
未来科学技術共同研究センター	社会の要請に応える新しい技術・製品の実用化並びに新しい産業の創出を社会へ提案することを目指し、産業界等との共同研究の推進を図り、先端的かつ独創的な開発研究を行う。
環境保全センター	本学の教育研究活動に伴って生ずる有害物質を含む排水、廃油及び有機溶剤（放射性物質を含む廃棄物を除く。）を適正に処理し、及びその処理に関する技術開発等を行うとともに、化学原料化において2次公害となる物質の排出を抑制する技術を確立することにより、環境の保全に資する。
動物実験センター	環境・安全委員会動物実験専門委員会が行う動物実験計画の審査、動物実験に係る法令遵守及び安全管理に関する事項並びに動物実験実施者等に対する教育訓練等の実施に関し支援することにより、本学における動物実験の適法性を確保し、及び動物実験に係る安全管理を推進する。
遺伝子実験センター	環境・安全委員会遺伝子組換え実験安全専門委員会が行う遺伝子組換え実験計画の審査、遺伝子組換え実験に係る法令遵守及び安全管理に関する事項並びに遺伝子組換え実験従事者等に対する教育訓練等の実施に関し支援することにより、本学における遺伝子組換え実験の適法性を確保し、及び遺伝子組換え実験に係る安全管理を推進する。
東北メディカル・メガバンク機構	東日本大震災における被災地の長期健康調査のための大規模コホート調査による医療健康福祉情報とゲノム情報をつなぐ新たな複合バイオバンクの構築及び次世代生命医療情報システムの研究拠点形成を通じた人材養成の推進により、医療資源の有効的活用等による医療課題の改善及び先進的ゲノム医療の実現を図り、もって東北地方の復興に資する。
マイクロシステム融合研究開発センター	集積化マイクロシステムの研究開発拠点として、企業等との連携によりマイクロシステム融合技術の開発を推進して半導体集積回路分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、情報・通信、製造、医療等の多様な分野において当該技術の実用化を図る。
電気通信研究機構	本学の電気、通信、電子及び情報の各分野の研究者及び技術者の英知を結集し、災害に強い情報通信ネットワークの構築及び世界をリードする革新的研究開発を通じて、被災地である東北における情報通信・エレクトロニクス産業の興隆、さらに我が国における新しい情報通信・エレクトロニクス分野の新産業創出に寄与し、社会的課題にこたえる戦略的研究の推進、地域政策及び国家政策への貢献並びに産学連携研究の推進を行う。
国際集積エレクトロニクス研究開発センター	集積エレクトロニクス技術を研究開発し、及びその技術に係る国際的産学連携拠点の構築を図ることにより、次世代集積エレクトロニクス分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、当該分野の技術の実用化及び新産業の創出を目的とする。
産学連携先端材料研究開発センター	産学官による連携体制を構築し、未来の社会を支える新しい材料に係る加工、製造、処理、分析及び評価の各プロセスにおける技術の研究開発及び実用化を促進することにより、東北地域の産業復興及び我が国の材料分野における国際競争力の強化に寄与する。
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター	産学官による共同研究とコンソーシアムの形成を通じ、レアメタルのサプライチェーンの構築ならびにグリーンイノベーションを推進して、レアメタルを効率的に利用する産業構造の構築及び省エネルギーによる低炭素社会の実現に資するとともに、これらの研究を通じて次代を担う研究者及び技術者の教育及び育成に貢献する。
原子炉廃止措置基盤研究センター	東京電力株式会社福島第一原子力発電所における原子炉の安全かつ着実な廃止措置に資する基盤技術の研究開発及び原子炉の廃止措置等に関する基盤研究を行うことにより、東日本大震災からの復興及び我が国の原子力分野における国際競争力の強化に寄与する。
国際戦略室	本学の戦略的な国際協働並びに包括的な国際化に向けた体制強化を図るための戦略及び施策の立案を行う。
社会連携推進室	卒業生、一般市民、地域団体など社会全体への知の循環及び共有を通じて、本学と社会との互恵関係の維持発展を図るとともに、基金活動の推進及びその活動を通じた社会との新しい関係の構築を図る。
アセットマネジメントセンター	本学の供用可能スペースその他の保有資産の利用を一元的に管理するとともに、その活用について企画し、及び情報を広く学内外に提供することにより、資産の有効活用を図り、もって戦略的な大学経営の推進に資する。
オープンイノベーション戦略機構	事業戦略に深く関わる大型の共同研究を専門的な人材による集中管理体制の下で戦略的に企画及び推進することにより、社会的インパクトの大きいイノベーションの創出を図り、もって大学全体として社会変革を先導する。
特定研究成果活用事業支援室	本学が出資する子会社が行う特定研究成果を活用した事業への支援及び新事業の実施に関する企画調整を行う。
共創戦略センター	産学官が連携した多様な分野の知と人材の力をもって、卓越した知を基盤とする新たな社会価値の創造、知識集約型社会の担い手となる人材育成等を戦略的に推進することにより、社会とともに持続可能で夢のある豊かな未来社会に向けた変革・イノベーションを先導していく。

所蔵冊数

(2020年3月31日現在)

区分	種別	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
蔵書冊数	和漢書	1,663,382	173,205	93,922	182,743	92,918	2,206,170
	洋書	1,179,099	241,785	307,912	183,466	62,518	1,974,780
	計	2,842,481	414,990	401,834	366,209	155,436	4,180,950
雑誌	和雑誌	27,509	5,434	2,884	3,739	4,381	43,947
	洋雑誌	17,724	9,424	8,829	4,370	2,305	42,652
	計	45,233	14,858	11,713	8,109	6,686	86,599

利用状況

(2019年度)

区分	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
入館者	590,699	66,712	61,131	161,650	64,996	945,188
貸出図書	201,483	18,044	24,003	45,004	10,042	298,576
文献複写	4,692	5,144	1,288	3,474	505	15,103

蔵書の特徴

1. 国宝	史記 孝文本紀第十(平安時代) 類聚國史 卷第二十五(平安時代)
2. 貴重図書	和漢書820点(うち狩野文庫574点)、西蔵大蔵経(デルゲ版)、漱石文庫、秋田家史料、洋書約200点
3. 準貴重図書	狩野文庫、和算関係資料、晩翠文庫、櫛田(民蔵)文庫、ヴント文庫(Wilhelm Wundt)、ケーベル文庫(Raphael von Koeber)、シュタイン文庫(Friedrich Stein)、ゼッケル文庫(Emil Seckel)、チーテルマン文庫(Ernst Zitelmann)、古文書資料群、ヴィルヘルム・ヴィンデルバント直筆ノート(Wilhelm Windelband)、仏書古写本他
4. その他文庫等	阿部(次郎)文庫、大類(伸)文庫、児島(喜久雄)文庫、石津(照璽)文庫、梅原(末治)文庫、矢島(玄亮)文庫、和田(佐一郎)文庫、須永(重光)文庫、木下(彰)文庫、高柳(真三)文庫、宮田(光雄)文庫、伊東(信雄)文庫、河野(与一)文庫、中野(正)文庫、中村(吉治)文庫、平山(諦)文庫、松本(金寿)文庫、柳瀬(良幹)文庫、金谷(治)文庫、芹澤(長介)文庫、武内(義雄)文庫、ヴェルフェル文庫(Georg Würfel)、晴山文書、齋藤養之助家史料



ラーニング・commons



グローバル学習室



国宝(史記 孝文本紀 第十)

病院

(2020年5月1日現在)

部門	診療科	病床数
医科部門	内科	総合診療科、循環器内科、総合感染症科、腎・高血圧・内分泌科、血液内科、リウマチ膠原病内科、糖尿病代謝科、消化器内科、加齢・老年病科、漢方内科、心療内科、呼吸器内科、腫瘍内科
	外科	総合外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、麻酔科、緩和医療科、救急科
	産婦人科・泌尿生殖器科	婦人科、産科、泌尿器科
	脳・神経・精神科	脳神経内科、脳神経外科、精神科
	小児科	小児科、遺伝科、小児外科、小児腫瘍外科、小児腫瘍科
	感覚器・理学診療科	皮膚科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、肢体不自由リハビリテーション科、てんかん科、内部障害リハビリテーション科、高次脳機能障害科
	放射線科	放射線治療科、放射線診断科
歯科部門	口腔成系診療科	予防歯科、小児歯科、矯正歯科
	口腔維持系診療科	口腔診断科、歯科顎口腔外科、歯科麻酔疼痛管理科
	口腔修復系診療科	歯内療法科、保存修復科、咬合修復科
	口腔回復系診療科	咬合回復科、歯周病科、口腔機能回復科

組織

患者数

(2019年度 1年間)

部門／入院	延患者数	1日平均患者数
医科部門	349,079	954
歯科部門	11,051	30
部門／外来	延患者数	1日平均患者数
医科部門	569,374	2,353
歯科部門	159,934	661

先進医療

(2020年5月1日現在)

パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法

LDL アフェレシス療法

ウイルスに起因する難治性の眼感染症疾患に対する迅速診断（PCR法）

細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染症疾患に対する迅速診断（PCR法）

リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法

テモゾロミド用量強化療法

腹腔鏡下スリーブ状胃切除術及び十二指腸空腸バイパス術

内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術

切除支援のためのマイクロコイル併用気管支鏡下肺マッピング法

S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法



学生数

(2020年5月1日現在)

学生総数

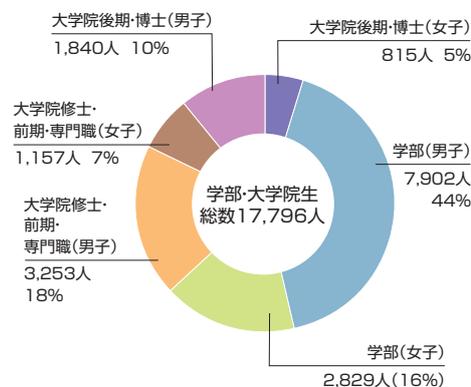
区分	学生定員	在籍者		内 留学生数			研究生 特別聴講学生 特別研究学生 科目等履修生 学部入学前教育受講生 日本語研修コース
				国費	私費	計	
学部学生	10,021	10,731	(2,829)	59	144	203	202
大学院学生(修士・前期・専門職)	3,848	4,410	(1,157)	102	746	848	145
大学院学生(後期・博士)	2,499	2,655	(815)	212	560	772	
計	16,368	17,796	(4,801)	373	1,450	1,823	347
附属学校	20	13	(6)				
研究所	—	—	—	—	—	—	27
その他	—	—	—	—	—	—	5
合計	16,388	17,809	(4,807)	373	1,450	1,823	379

()の数は女子で内数。私費留学生については、政府派遣留学生を含む

学部

学部名	総定員	在 籍 者		
文 学 部	840	955	(497)	[17]
教 育 学 部	280	304	(156)	[2]
法 学 部	640	715	(240)	[5]
経 済 学 部	1,080	1,158	(204)	[10]
理 学 部	1,296	1,364	(214)	[40]
医 学 部	1,367	1,405	(605)	[5]
歯 学 部	318	318	(151)	[9]
薬 学 部	360	392	(129)	[1]
工 学 部	3,240	3,464	(382)	[90]
農 学 部	600	656	(251)	[24]
計	10,021	10,731	(2,829)	[203]

()の数は女子で内数、[]の数は留学生で内数



大学院

研究科等名	修士・前期・専門職				後期・博士			
	総定員	在 籍 者		総定員	在 籍 者			
文学研究科	178	212	(112)	[89]	121	193	(87)	[63]
教育学研究科	90	84	(47)	[27]	45	69	(30)	[7]
法学研究科	230	198	(56)	[20]	36	52	(14)	[19]
経済学研究科	190	214	(90)	[117]	54	49	(19)	[29]
理学研究科	524	576	(102)	[58]	390	264	(47)	[84]
医学系研究科	184	229	(122)	[41]	583	737	(241)	[81]
歯学研究科	14	19	(13)	[1]	168	182	(88)	[42]
薬学研究科	108	122	(33)	[8]	70	50	(8)	[9]
工学研究科	1,272	1,548	(196)	[233]	522	498	(87)	[207]
農学研究科	218	293	(131)	[49]	111	114	(46)	[38]
国際文化研究科	70	70	(49)	[57]	48	57	(35)	[31]
情報科学研究科	280	319	(36)	[68]	126	127	(30)	[46]
生命科学研究科	212	208	(92)	[26]	90	83	(27)	[26]
環境科学研究科	200	222	(57)	[47]	99	109	(39)	[70]
医工学研究科	78	96	(21)	[7]	36	56	(11)	[19]
教育情報学教育部	—	0	0	[0]	—	15	(6)	[1]
計	3,848	4,410	(1,157)	[848]	2,499	2,655	(815)	[772]

()の数は女子で内数、[]の数は留学生で内数

附属学校

学校名	定 員	入学者	在籍者
歯学部附属歯科技工士学校	20×1学年	0 (0)	13 (6)

()の数は女子で内数

※令和2年度より学生募集を停止

入学状況

(2020年度)

学部

学部名	入学定員	入学志願者	入学者
文学部	210	646 (337)	221 (111)
教育学部	70	212 (92)	75 (36)
法学部	160	501 (147)	167 (50)
経済学部 (文系)	230	893 (135)	238 (32)
(理系)	30	105 (11)	31 (3)
	20	29 (8)	2 (0)
理学部	324	1,687 (246)	326 (52)
医学部 医学科	116	517 (141)	118 (31)
保健学科	144	325 (247)	142 (107)
歯学部	53	187 (82)	53 (23)
薬学部	80	259 (93)	85 (21)
工学部	810	2,214 (333)	815 (95)
農学部	150	421 (181)	156 (55)
計	2,377	7,967 (2,045)	2,427 (616)
	20	29 (8)	2 (0)

()の数は女子で内数。下欄の数は3年次編入学に係る数字で外数、《 》の数は女子で内数

大学院

研究科等名	修士・前期・後期・博士・専門職別	入学定員	入学志願者	入学者
文学研究科	前期	89	173 (107)	90 (51)
	後期	38	57 (29)	45 (23)
教育学研究科	前期	45	115 (71)	41 (23)
	後期	15	21 (10)	15 (8)
法学研究科	前期	10	8 (6)	6 (4)
	後期	12	9 (0)	8 (0)
	専門職	80	188 (44)	82 (19)
経済学研究科	前期	60	138 (74)	32 (15)
	後期	14	5 (3)	5 (3)
	専門職	40	113 (21)	30 (9)
理学研究科	前期	262	330 (47)	257 (37)
	後期	130	66 (6)	63 (6)
医学系研究科	修士	40	56 (28)	42 (20)
	博士	130	136 (33)	132 (32)
	前期	52	59 (32)	53 (26)
	後期	21	17 (10)	15 (10)
歯学研究科	修士	8	10 (7)	9 (6)
	博士	42	35 (19)	31 (18)
薬学研究科	博士	4	3 (1)	3 (1)
	前期	54	59 (16)	55 (15)
	後期	18	16 (4)	16 (4)
工学研究科	前期	636	887 (110)	692 (78)
	後期	174	110 (16)	105 (16)
農学研究科	前期	109	174 (76)	134 (59)
	後期	37	22 (10)	21 (9)
国際文化研究科	前期	35	51 (33)	35 (23)
	後期	16	10 (7)	7 (5)
情報科学研究科	前期	140	187 (22)	144 (16)
	後期	42	30 (5)	27 (5)
生命科学研究科	前期	106	114 (47)	93 (43)
	後期	30	17 (3)	17 (3)
環境科学研究科	前期	100	111 (23)	97 (21)
	後期	33	19 (4)	15 (3)
医工学研究科	前期	39	58 (8)	41 (6)
	後期	12	12 (5)	12 (5)
計	修士	48	66 (35)	51 (26)
	博士	176	174 (53)	166 (51)
	前期	1,737	2,464 (672)	1,770 (417)
	後期	592	411 (112)	371 (100)
	専門職	120	301 (65)	112 (28)

()の数は女子で内数



平成31年度入学式 2019年4月4日

入学状況

(2020年4月1日現在)

出身都道府県別 学部入学志願者・入学者

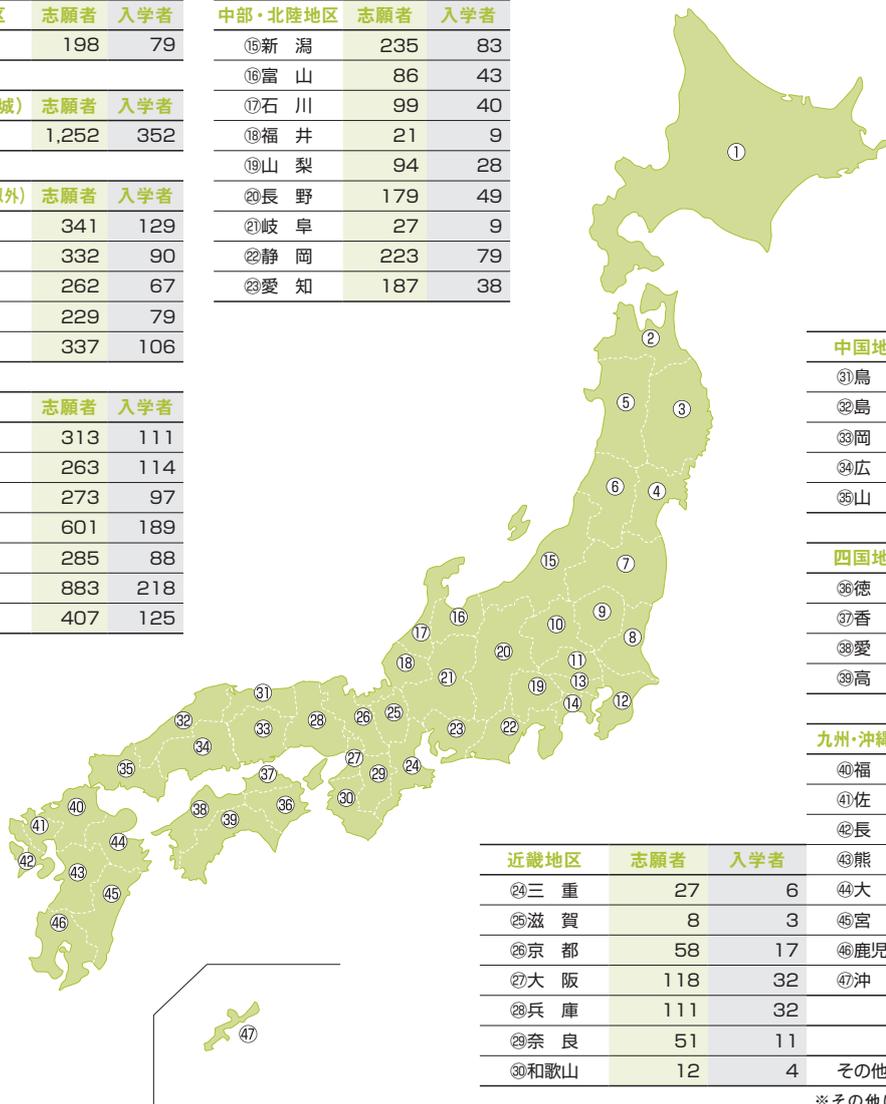
北海道地区	志願者	入学者
①北海道	198	79

東北地区(宮城)	志願者	入学者
④宮城	1,252	352

東北地区(宮城以外)	志願者	入学者
②青森	341	129
③岩手	332	90
⑤秋田	262	67
⑥山形	229	79
⑦福島	337	106

関東地区	志願者	入学者
⑧茨城	313	111
⑨栃木	263	114
⑩群馬	273	97
⑪埼玉	601	189
⑫千葉	285	88
⑬東京	883	218
⑭神奈川	407	125

中部・北陸地区	志願者	入学者
⑮新潟	235	83
⑯富山	86	43
⑰石川	99	40
⑱福井	21	9
⑲山梨	94	28
⑳長野	179	49
㉑岐阜	27	9
㉒静岡	223	79
㉓愛知	187	38



中国地区	志願者	入学者
㉔鳥取	7	0
㉕島根	5	2
㉖岡山	26	6
㉗広島	44	11
㉘山口	14	5

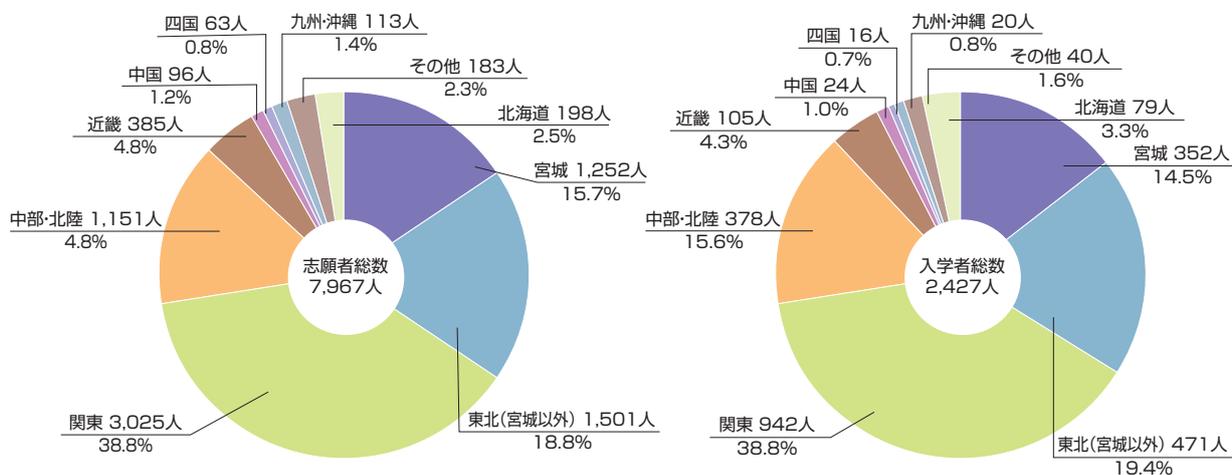
四国地区	志願者	入学者
㉙徳島	9	1
㉚香川	20	5
㉛愛媛	30	9
㉜高知	4	1

九州・沖縄地区	志願者	入学者
㉝福岡	46	4
㉞佐賀	3	2
㉟長崎	13	1
㊱熊本	5	1
㊲大分	3	1
㊳宮崎	17	5
㊴鹿児島	12	3
㊵沖縄	14	3

近畿地区	志願者	入学者
㊶三重	27	6
㊷滋賀	8	3
㊸京都	58	17
㊹大阪	118	32
㊺兵庫	111	32
㊻奈良	51	11
㊼和歌山	12	4

※その他は、帰国生徒、高等等の高校以外、高等学校卒業程度認定試験、私費外国人留学生及び国費外国人留学生等の数である。

令和2年度 学部入学志願者・入学者の出身地区別内訳



学部卒業生数・学位授与者数

学部卒業生数

(2020年3月31日現在)

区分	旧制 (昭和24年4月 以前入学者)	新制 (昭和24年5月以降入学者)	
		令和元年度	累計
文学部	1,277	212	11,872
教育学部	—	71	7,099
法学部	3,844	167	13,177
経済学部	1,446	284	15,290
理学部	2,747	307	17,824
医学部	3,290	273	8,893
歯学部	—	51	2,750
薬学部	—	78	4,216
工学部	3,953	862	50,879
農学部	679	154	9,647
計	17,236	2,459	141,647

※農学部の旧制には、林学士59名を含む

学位授与者数(修士)

(2020年3月31日現在)

区分	令和元年度	累計
文学研究科	85	3,740
教育学研究科	45	1,355
法学研究科	15	622
経済学研究科	39	1,552
理学研究科	275	10,855
医学系研究科	89	1,294
歯学研究科	5	94
薬学研究科	53	2,569
工学研究科	725	26,766
農学研究科	125	4,547
国際文化研究科	30	946
情報科学研究科	162	3,531
生命科学研究科	93	1,734
環境科学研究科	114	1,561
医工学研究科	37	407
教育情報学教育部	1	191
計	1,893	61,764

学位授与者数(専門職)

(2020年3月31日現在)

区分	令和元年度	累計
公共法政策修士(専門職)	20	337
法務博士(専門職)	22	880
会計修士(専門職)	33	501
計	75	1,718

学位授与者数(博士)

(2020年3月31日現在)

区分	旧制 (昭和28年3月 以前入学者)	新制(課程) (昭和28年4月以降入学者)		新制(論博)	
		令和元年度	累計	令和元年度	累計
文学研究科	96	17	582	2	318
教育学研究科	—	11	214	4	135
法学研究科	38	3	139	1	55
経済学研究科	50	9	325	0	118
理学研究科	944	61	3,281	0	1,270
医学系研究科	3,715	161	4,340	5	3,527
歯学研究科	—	32	896	1	212
薬学研究科	—	18	654	4	599
工学研究科	554	140	5,806	0	2,242
農学研究科	152	29	1,253	0	795
国際文化研究科	—	6	214	1	11
情報科学研究科	—	35	768	0	67
生命科学研究科	—	18	402	2	32
環境科学研究科	—	22	377	1	22
医工学研究科	—	6	86	0	4
教育情報学教育部	—	3	50	0	3
計	5,549	571	19,387	21	9,410



平成31年3月学位授与式 2019年3月27日



卒業後の状況 進路状況調(令和元年度卒業・修了)

(2020年5月1日現在)

学部

区分	卒業者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数等	就職先		その他	
					うち県内就職等	うち県外就職等		
文学部	212 (109)	23 (12)	— —	167 (88)	40 (20)	127 (68)	22 (9)	
教育学部	71 (36)	12 (4)	— —	53 (31)	13 (9)	40 (22)	6 (1)	
法学部	167 (57)	27 (6)	— —	126 (49)	17 (10)	109 (39)	14 (2)	
経済学部	284 (57)	17 (4)	— —	254 (51)	34 (9)	220 (42)	13 (2)	
理学部	307 (51)	263 (42)	— —	35 (8)	9 (2)	26 (6)	9 (1)	
医学部	6年	131 (24)	0 (0)	127 (24)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	
	4年	142 (110)	46 (29)	— —	88 (77)	39 (33)	49 (44)	8 (4)
歯学部	51 (19)	0 (0)	45 (15)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (4)	
薬学部	6年	21 (9)	1 (0)	— —	20 (9)	1 (0)	19 (9)	0 (0)
	4年	57 (16)	55 (15)	— —	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)
工学部	862 (108)	745 (79)	— —	82 (25)	7 (3)	75 (22)	35 (4)	
農学部	154 (61)	123 (48)	— —	26 (13)	1 (0)	25 (13)	5 (0)	
計	2,459 (657)	1,312 (239)	172 (39)	852 (351)	161 (86)	691 (265)	123 (28)	

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、帰国、未就職者等
 ※就職者等には、短時間勤務の有期雇用労働者等3名を含む。

研究科：前期2年の課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数等	就職先		その他
					うち県内就職等	うち県外就職等	
文学研究科	85 (52)	24 (9)	— —	36 (27)	7 (3)	29 (24)	25 (16)
教育学研究科	45 (31)	9 (5)	— —	26 (19)	8 (6)	18 (13)	10 (7)
法学研究科	15 (10)	4 (3)	— —	6 (4)	2 (1)	4 (3)	5 (3)
経済学研究科	39 (24)	11 (4)	— —	20 (14)	2 (1)	18 (13)	8 (6)
理学研究科	275 (38)	73 (11)	— —	191 (25)	8 (1)	183 (24)	11 (2)
医学系研究科	51 (30)	11 (5)	— —	37 (22)	12 (9)	25 (13)	3 (3)
薬学研究科	53 (12)	12 (3)	— —	37 (7)	0 (0)	37 (7)	4 (2)
工学研究科	725 (96)	79 (15)	— —	609 (79)	15 (1)	594 (78)	37 (2)
農学研究科	126 (51)	14 (4)	— —	101 (39)	6 (3)	95 (36)	11 (8)
国際文化研究科	30 (20)	11 (5)	— —	8 (7)	2 (2)	6 (5)	11 (8)
情報科学研究科	162 (32)	29 (8)	— —	115 (16)	6 (0)	109 (16)	18 (8)
生命科学研究科	93 (32)	18 (5)	— —	71 (25)	1 (0)	70 (25)	4 (2)
環境科学研究科	114 (22)	15 (6)	— —	97 (15)	0 (0)	97 (15)	2 (1)
医工学研究科	37 (7)	5 (4)	— —	32 (3)	0 (0)	32 (3)	0 (0)
教育情報学教育部	1 (0)	0 (0)	— —	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
計	1,851 (457)	315 (87)	0 (0)	1,387 (302)	69 (27)	1,318 (275)	149 (68)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、帰国、未就職者等
 ※就職者等には、短時間勤務の有期雇用労働者等4名を含む。

研究科：後期3年の課程

区分	修了者数		進学者数		臨床研修医等		就職者数等		うち県内就職等		うち県外就職等		その他	修了者のうち ポストドクター となった者		
文学研究科	17	(6)	0	(0)	—	—	12	(4)	2	(0)	10	(4)	5	(2)	6	(2)
教育学研究科	11	(5)	0	(0)	—	—	11	(5)	5	(2)	6	(3)	0	(0)	3	(1)
法学研究科	3	(1)	0	(0)	—	—	2	(1)	1	(1)	1	(0)	1	(0)	0	(0)
経済学研究科	9	(6)	0	(0)	—	—	8	(5)	3	(2)	5	(3)	1	(1)	1	(1)
理学研究科	61	(11)	0	(0)	—	—	50	(10)	19	(5)	31	(5)	11	(1)	18	(3)
医学系研究科	17	(9)	0	(0)	—	—	16	(8)	6	(3)	10	(5)	1	(1)	0	(0)
薬学研究科	16	(2)	0	(0)	—	—	14	(2)	2	(1)	12	(1)	2	(0)	0	(0)
工学研究科	140	(19)	0	(0)	—	—	124	(17)	34	(10)	90	(7)	16	(2)	24	(2)
農学研究科	29	(7)	1	(0)	—	—	25	(5)	9	(2)	16	(3)	3	(2)	9	(1)
国際文化研究科	6	(4)	0	(0)	—	—	2	(0)	2	(0)	0	(0)	4	(4)	4	(2)
情報科学研究科	35	(6)	0	(0)	—	—	23	(6)	5	(1)	18	(5)	12	(0)	7	(0)
生命科学研究科	18	(1)	0	(0)	—	—	13	(0)	3	(0)	10	(0)	5	(1)	3	(0)
環境科学研究科	22	(10)	0	(0)	—	—	20	(9)	6	(4)	14	(5)	2	(1)	14	(6)
医工学研究科	6	(1)	1	(1)	—	—	5	(0)	0	(0)	5	(0)	0	(0)	0	(0)
教育情報学教育部	3	(2)	0	(0)	—	—	3	(2)	0	(0)	3	(2)	0	(0)	0	(0)
計	393	(90)	2	(1)	0	(0)	328	(74)	97	(31)	231	(43)	63	(15)	89	(18)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、帰国、未就職者等
 ※就職者等には、短時間勤務の有期雇用労働者等36名を含む。

研究科：修士課程

区分	修了者数		進学者数		臨床研修医等		就職者数		うち県内就職		うち県外就職		その他	
医学系研究科	38	(20)	17	(5)	—	—	17	(12)	3	(2)	14	(10)	4	(3)
歯学研究科	5	(3)	1	(1)	—	—	4	(2)	2	(2)	2	(0)	0	(0)
計	43	(23)	18	(6)	0	(0)	21	(14)	5	(4)	16	(10)	4	(3)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

研究科：博士課程

区分	修了者数		進学者数		臨床研修医等		就職者数等		うち県内就職等		うち県外就職等		その他	修了者のうち ポストドクター となった者		
医学系研究科	144	(35)	4	(1)	—	—	134	(31)	77	(17)	57	(14)	6	(3)	6	(4)
歯学研究科	32	(11)	0	(0)	—	—	31	(10)	17	(6)	14	(4)	1	(1)	4	(3)
薬学研究科	2	(1)	0	(0)	—	—	2	(1)	1	(1)	1	(0)	0	(0)	0	(0)
計	178	(47)	4	(1)	0	(0)	167	(42)	95	(24)	72	(18)	7	(4)	10	(7)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、帰国、未就職者等
 ※就職者等には、短時間勤務の有期雇用労働者等14名を含む。

研究科：専門職学位課程

区分	修了者数		進学者数		臨床研修医等		就職者数		うち県内就職		うち県外就職		その他	
法学研究科	20	(3)	0	(0)	—	—	16	(1)	4	(1)	12	(0)	4	(2)
法学研究科(法科大学院)	22	(2)	0	(0)	—	—	0	(0)	0	(0)	0	(0)	22	(2)
経済学研究科	33	(15)	0	(0)	—	—	26	(12)	3	(0)	23	(12)	7	(3)
計	75	(20)	0	(0)	0	(0)	42	(13)	7	(1)	35	(12)	33	(7)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

産業別就職者数

(2020年5月1日現在)

学部

区分	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	農学部	計
農業、林業、漁業	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	4
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	0	1	2	6	0	0	0	0	12	0	21
製造業	18	5	9	45	5	1	0	8	17	5	113
電気・ガス・熱供給・水道業	5	0	5	16	0	0	0	0	4	1	31
情報通信業	30	7	13	30	11	2	0	0	23	6	122
運輸業、郵便業	3	3	3	6	0	0	0	0	2	0	17
卸売業、小売業	14	2	5	21	1	1	0	4	6	3	57
金融業、保険業	11	4	17	44	2	0	0	0	1	1	80
不動産業、物品賃貸業	3	2	1	8	2	0	0	0	2	1	19
学術研究、専門・技術サービス業	3	0	4	16	0	2	0	0	5	2	32
宿泊業、飲食サービス業	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
生活関連サービス業、娯楽業	2	1	1	3	1	0	0	0	0	0	8
教育、学習支援業	17	6	1	0	6	0	0	0	0	1	31
医療、福祉	5	0	0	2	0	79	0	5	0	0	91
複合サービス事業	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	5
サービス業(他に分類されないもの)	7	1	6	14	1	0	0	0	0	0	29
公務(国家公務)	22	10	27	13	2	0	0	1	4	1	80
公務(地方公務)	26	9	26	28	3	1	0	3	4	3	103
その他	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3
計	167	53	126	254	35	86	0	21	81	26	849

大学院

区分	文学研究科	教育学研究科	法学研究科	経済学研究科	理学研究科	医学系研究科	歯学研究科	薬学研究科	工学研究科	農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	教育情報学教育部	計
農業、林業、漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	2	1	0	0	7	0	0	0	0	0	1	0	11
建設業	0	0	1	2	4	0	0	0	42	3	1	5	0	4	0	0	62
製造業	3	2	1	3	93	11	0	43	450	58	0	50	47	74	23	0	858
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0	1	0	3	0	0	0	39	0	0	3	0	10	0	0	57
情報通信業	11	7	2	14	50	4	1	0	47	9	3	48	13	5	4	1	219
運輸業、郵便業	1	1	0	0	3	0	0	0	22	0	1	1	0	1	2	0	32
卸売業、小売業	1	1	1	0	0	0	0	0	9	7	0	0	0	0	1	0	20
金融業、保険業	1	1	2	9	11	1	0	0	7	1	0	3	1	0	0	0	37
不動産業、物品賃貸業	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	5
学術研究、専門・技術サービス業	2	1	4	11	18	11	1	1	37	12	0	6	6	4	2	0	116
宿泊業、飲食サービス業	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
生活関連サービス業、娯楽業	1	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	6
教育、学習支援業	11	15	2	9	21	21	3	1	40	12	1	12	4	12	0	2	166
医療、福祉	1	5	0	0	0	131	26	6	0	0	0	0	5	0	0	0	174
複合サービス事業	0	1	1	0	0	0	0	1	1	7	1	1	0	0	0	0	13
サービス業(他に分類されないもの)	1	0	0	0	5	2	0	0	2	2	0	4	0	1	2	0	19
公務(国家公務)	1	2	3	1	9	4	0	0	5	3	1	1	1	0	0	1	32
公務(地方公務)	7	1	6	0	4	7	0	0	8	12	0	1	2	1	0	0	49
その他	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	1	4	2	0	11
計	43	37	24	54	223	194	31	52	723	126	8	137	82	116	37	4	1,891

学友会

大学の学問以外に、文化、体育などに関する自発的な活動のための全学的な組織が学友会です。

学友会は、本学の教職員・学生の全員で組織され、会員の会費により、その運営（大学祭、新入生歓迎会、海上運動会、サークル活動等の援助）が行われています。

中央各部

部名	部長名	部局	職名
総務部	小田中直樹	経済学研究科	教授
文化部	早川 美德	データ駆動科学・AI教育研究センター	教授
体育部	永富 良一	医工学研究科	教授
報道部	尾崎 彰宏	文学研究科	教授

文化部

部名	部長名	部局	職名
1 男声合唱部	小原 隆博	理学研究科	教授
2 混声合唱部	八畷 友広	教育学研究科	教授
3 交響楽部	福島 洋	災害科学国際研究所	准教授
4 文芸部			
5 美術部	杉本 欣久	文学研究科	准教授
6 映画部	関口 仁子	理学研究科	准教授
7 演劇部	荻原 理	文学研究科	教授
8 写真部	長岡 龍作	文学研究科	教授
9 茶道部	成田 史生	環境科学研究科	教授
10 能楽部	片岡 龍	文学研究科	教授
11 邦楽部	長谷川 晃	工学研究科	教授
12 放送研究部	桐島 陽	多元物質科学研究所	教授
13 アマチュア無線部	菅沼 拓夫	サイバーサイエンスセンター	教授
14 落語研究部	山崎 武	理学研究科	准教授
15 E. S. S. 部	木村 敏明	文学研究科	教授
16 囲碁部	大林 武	情報科学研究科	准教授
17 奇術部	金子 俊郎	工学研究科	教授
18 軽音楽部	亀田 卓	電気通信研究所	准教授
19 マンドリン楽部	井本 佳宏	教育学研究科	准教授
20 化学部	西澤 精一	理学研究科	教授
21 オーディオ研究部	浜田 宏	文学研究科	教授
22 吹奏楽部	木村 邦博	文学研究科	教授
23 将棋部	高瀬 圭	医学系研究科	教授
24 書道部	猪股 宏	工学研究科	教授
25 生活部	井上 千弘	環境科学研究科	教授
26 アカペラコーラス部	末松 和子	高度教養教育・学生支援機構	教授



男声合唱部

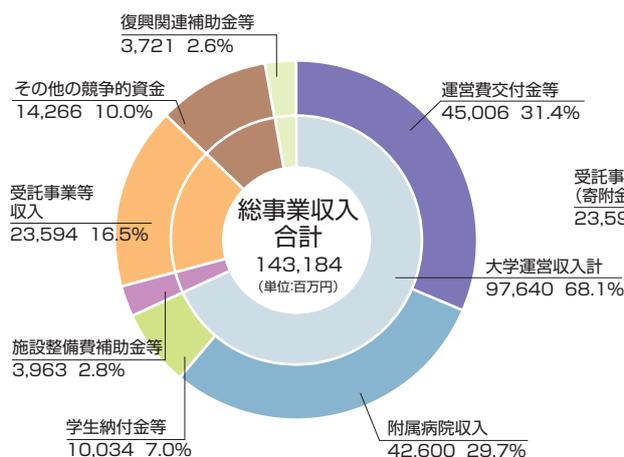
体育部

部名	部長名	部局	職名
1 陸上競技部	佐藤 源之	東北アジア研究センター	教授
2 硬式野球部	長谷川史彦	未来科学技術共同研究センター	教授
3 準硬式野球部	西村 太志	理学研究科	教授
4 硬式庭球部	小川 智久	農学研究科	教授
5 軟式庭球部	須藤 祐司	工学研究科	教授
6 ラグビー部	埜上 洋	多元物質科学研究所	教授
7 男子バレーボール部	山口 健	工学研究科	准教授
女子バレーボール部			
8 蹴球部	亀井 尚	医学系研究科	教授
9 男子バスケットボール部	中村 教博	高度教養教育・学生支援機構	教授
女子バスケットボール部			
10 卓球部	篠田 弘造	多元物質科学研究所	准教授
11 山岳部	押谷 仁	医学系研究科	教授
12 水泳部	山家 智之	加齢医学研究所	教授
13 漕艇部	石井 誠一	医学系研究科	准教授
14 ヨット部	田中 真美	医工学研究科	教授
15 スケート部	永富 良一	医工学研究科	教授
16 乗馬部	水田健太郎	歯学研究科	教授
17 バドミントン部	玉川 明朗	医学系研究科	准教授
18 柔道部	酒井 寿郎	医学系研究科	教授
19 スキー部	風間 聡	工学研究科	教授
20 ハンドボール部	風間 基樹	工学研究科	教授
21 航空部	伊藤 高敏	流体科学研究所	教授
22 剣道部	福土 審	医学系研究科	教授
23 弓道部	笹野 泰之	歯学研究科	教授
24 空手道部	古谷 豊	経済学研究科	准教授
25 自動車部	田中 秀治	工学研究科	教授
26 ワンダーフォーゲル部	土屋 範芳	環境科学研究科	教授
27 ゴルフ部	西澤 松彦	工学研究科	教授
28 合気道部	珠玖 仁	工学研究科	教授
29 フェンシング部	朱 鴻民	工学研究科	教授
30 応援団	八重樫伸生	医学系研究科	教授
31 サイクリング部	高橋 信	工学研究科	教授
32 ボディビル部	鈴木 教郎	医学系研究科	准教授
33 少林寺拳法部	米山 裕	農学研究科	教授
34 体操部	綿村 哲	理学研究科	准教授
35 アメリカンフットボール部	池尾 恭一	教育学研究科	准教授
36 オリエンテーリング部	窪 俊一	情報科学研究科	准教授
37 競技舞蹈部	福山 博之	多元物質科学研究所	教授
38 アーチェリー部	中山 亨	工学研究科	教授
39 トライアスロン部	宗政 昭弘	情報科学研究科	教授
40 男子ラクロス部	吉岡 敏明	環境科学研究科	教授
女子ラクロス部			
41 レーシングカート部	中村 智樹	理学研究科	教授
42 相撲部	阿部 宏	文学研究科	教授
43 ソフトボール部	浅井 圭介	工学研究科	教授
44 中国武術部	川合 安	文学研究科	教授
45 防具空手道部	大田 昌樹	環境科学研究科	准教授
46 人力飛行部	中村 寿	流体科学研究所	准教授
47 フットサル部	伊藤 明宏	医学系研究科	教授

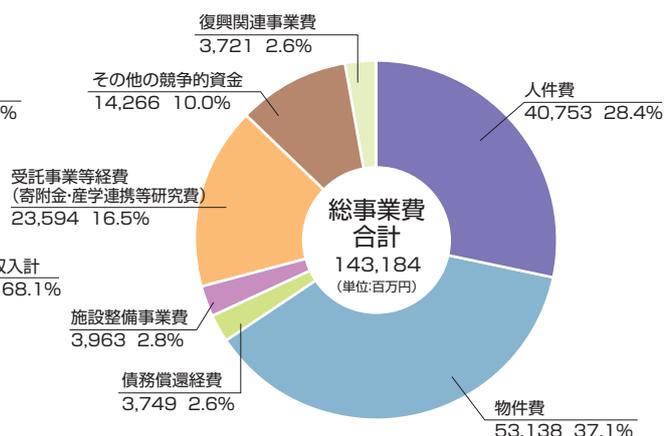
他 準加盟・登録 110団体

2020年度収入・支出予算

収入予算総額



支出予算総額



研究費等受入状況

(2019年度)

科学研究費助成事業交付実績

研究種目	採択件数 (件)	交付額 (千円)		
		直接経費	間接経費	計
特別推進研究	1	56,500	16,950	73,450
新学術領域研究	126	1,107,850	332,355	1,440,205
基盤研究 (S・A・B・C) ※	1,395	4,838,620	1,451,586	6,290,206
挑戦的研究 (開拓)	14	83,300	24,990	108,290
挑戦的研究 (萌芽)	219	447,800	134,340	582,140
若手研究 / 若手研究 (A・B) ※	562	721,850	216,555	938,405
研究活動スタート支援	95	96,700	29,010	125,710
奨励研究	13	6,890	0	6,890
研究成果公開促進費 (学術図書・データベース・ひらめき☆ときめきサイエンス)	10	17,390	0	17,390
特別研究員奨励費	289	264,800	13,650	278,450
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (A・B))	39	204,900	61,470	266,370
計	2,763	7,846,600	2,280,906	10,127,506

※基金、一部基金分を含む

寄附金・受託研究等契約実績

区分	件数 (件)	受入金額 (千円)		
寄附金	2,917	3,399,702		
民間等との共同研究	1,443	5,072,003		
一般	351	6,396,582		
受託研究等経費	受託研究	競争的資金	384	6,006,700
小計	735	12,403,282		
小計	2,178	17,475,285		
学術指導	354	229,631		
計	5,449	21,104,618		

研究費等受入状況

その他補助金交付実績

経 費	採択件数 (件)	交付額 (千円)		
		直接経費	間接経費	計
科学技術人材育成費補助金	13	154,365	0	154,365
厚生労働科学研究費補助金	11	151,691	44,559	196,250
研究拠点形成費等補助金	25	1,032,691	203,319	1,236,010
戦略的国際研究交流推進事業費補助金	1	500	50	550
大学改革推進等補助金	4	41,000	0	41,000
海洋生態系研究開発拠点機能形成事業費補助金	1	177,742	0	177,742
国際化拠点整備事業費補助金	1	153,054	17,006	170,060
情報知能システム研究センター支援補助金	1	24,343	0	24,343
原子力人材育成等推進事業費補助金	5	55,434	0	55,434
中小企業経営支援等対策費補助金	19	85,213	14,540	99,753
高性能汎用計算機高度利用事業費補助金	1	32,798	9,840	42,638
がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	3	99,937	0	99,937
保健衛生施設等施設・設備整備費補助金	2	14,982	0	14,982
医療施設運営費等補助金	6	26,088	0	26,088
水産関係民間団体事業補助金	1	4,084	0	4,084
実践的な手術手技向上研修事業	2	14,141	0	14,141
研究大学強化促進費補助金	1	310,078	0	310,078
地域医療介護総合確保基金	30	190,095	0	190,095
医療研究開発推進事業費補助金	25	3,676,830	57,855	3,734,685
我が国周辺水産資源調査・評価推進事業	1	1,006	0	1,006
移植対策(造血幹細胞)事業費補助金	2	26,237	0	26,237
大学教育再生戦略推進費	4	24,494	3,673	28,167
地域復興実用化開発等促進事業費補助金	5	44,595	837	45,432
医療提供体制推進事業費補助金	8	45,887	0	45,887
肝炎情報センター戦略的強化事業委託費	2	11,705	0	11,705
埼玉県産学連携研究開発プロジェクト補助金	1	25,000	0	25,000
企業主導型保育事業	2	54,882	0	54,882
受入困難事案受入医療機関支援事業	1	762	0	762
日本中央競馬会畜産振興事業	3	53,363	4,808	58,171
宮城県原子力災害拠点病院体制強化事業	2	2,222	0	2,222
宮城県原子力災害医療施設整備事業	2	43,503	0	43,503
福島県再生可能エネルギー関連技術実証研究支援事業補助金	2	320	0	320
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム	2	125,000	0	125,000
労災疾病臨床研究事業費補助金	2	4,260	0	4,260
みんなで広げる「木育」活動推進事業補助金	2	173	0	173
次世代医療機器連携拠点整備等事業	1	9,091	909	10,000
天然記念物再生事業費国庫補助	2	2,963	0	2,963
湯沢市ゆざわジオパーク学術研究等奨励補助金	1	300	0	300
医薬品副作用等被害救済事務費等補助金	2	15,108	0	15,108
臨床研修費等補助金	1	12,343	0	12,343
仙台市新型コロナウイルス感染症対策補助金	1	286	0	286
地域産学官連携科学技術振興事業費補助金	2	215,315	0	215,315
計	203	6,963,881	357,396	7,321,277

(2020年7月1日現在)

(単位：㎡)

地区名／面積		土地			建物				
		所有	借入	計	所有	借入	計		
宮城県	仙台市	片平地区	229,582	31	229,613	199,457	—	199,457	
		米ヶ袋地区	3,231	—	3,231	512	—	512	
		川内・青葉山地区	2,561,166	15,840	2,577,006	539,649	—	539,649	
		星陵地区	179,155	59	179,214	334,449	—	334,449	
		三条地区	52,911	—	52,911	26,384	—	26,384	
		富沢地区	113,877	—	113,877	9,022	—	9,022	
		評定河原地区	18,668	—	18,668	781	—	781	
		東仙台地区	3,650	—	3,650	2,026	—	2,026	
		郷六地区	—	399	399	26	—	26	
		南吉成地区	—	3,287	3,287	2,509	—	2,509	
		秋保地区	—	4	4	—	20	20	
		芋沢地区	—	30	30	—	—	0	
		柏木地区	4,402	—	4,402	—	—	0	
		八幡地区	1,327	—	1,327	926	—	926	
		仙台市内各所 (地震観測点)	—	—	0	—	5	5	
		学生寄宿舎	28,308	—	28,308	43,385	—	43,385	
		職員宿舎	80,439	—	80,439	42,708	—	42,708	
		小計	3,276,716	19,650	3,296,366	1,201,834	25	1,201,859	
		仙台市外	蔵王地区	—	30,429	30,429	399	9	408
			七ヶ浜地区	—	528	528	383	3	386
	女川・牡鹿地区		25,312	43,334	68,646	2,879	—	2,879	
	鹿島台地区		10,077	—	10,077	270	1	271	
	鳴子・川渡地区		18,541,862	3,531	18,545,393	20,227	6	20,233	
	岩沼地区		1,594	812	2,406	—	533	533	
	釜房地区		—	3,577	3,577	691	753	1,444	
	気仙沼地区		—	112	112	—	338	338	
	米山地区		—	2,000	2,000	101	—	101	
	若柳地区		—	100	100	12	—	12	
	その他の地区		—	956	956	—	4,384	4,384	
	職員宿舎		3,562	—	3,562	59	—	59	
小計	18,582,407	85,379	18,667,786	25,021	6,027	31,048			
計	21,859,123	105,029	21,964,152	1,226,855	6,052	1,232,907			

(2020年7月1日現在)

(単位：㎡)

地区名／面積	土地			建物		
	所有	借入	計	所有	借入	計
宮城県外						
青森県	28,506	77,035	105,541	2,687	491	3,178
秋田県	1,049	4,975	6,024	627	—	627
山形県	—	1,346	1,346	298	16	314
岩手県	10,014	16,060	26,074	873	16	889
福島県	990	26,019	27,009	154	77	231
新潟県	—	302	302	6	4	10
東京都	—	—	0	—	5,404	5,404
埼玉県	660	1	661	739	—	739
茨城県	4,541	12,161	16,702	5,797	7	5,804
栃木県	—	695	695	70	—	70
岐阜県	—	716	716	424	—	424
大阪府	—	—	0	—	30	30
兵庫県	—	—	0	—	195	195
岡山県	—	—	0	—	10	10
鹿児島県	—	4	4	—	—	0
計	45,760	139,314	185,074	11,675	6,250	17,925
合計	21,904,883	244,343	22,149,226	1,238,530	12,302	1,250,832



片平キャンパス 上空から

革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)

事業実施期間：平成25年度～令和3年度

研究開発テーマ	拠点名称	拠点概要
センター・オブ・イノベーション (COI)プログラム	さりげないセンシングと日常人間ドックで表現する自助と共助の社会創生拠点	いつでも、どこにいても、自分や家族の生活や健康の状態がわかり、家族を超えて多世代間で応援支援が得られるさりげないセンシングによる「日常人間ドック」の開発を行います。「日常人間ドック」は、「はかる」、「わかる」、「おくる」という3つの要素からなり、各種のセンシング技術でさりげなく健康とその要因の情報を収集し、体質の情報とともにクラウド上にビッグPDS(パーソナルデータサービス/ストア)として一元管理し、その理解・共有を図ることで、自助・共助の観点から様々な活用するものです。

○実現の鍵となる研究開発テーマ

- 環境要因、生活因子のさりげないセンシングを実現する革新的なセンシングデバイス群
- 遺伝的要因による体質、疾患リスク、薬剤応答性を迅速かつ安価に評価できるゲノムアレイ
- 生活要因、環境要因、遺伝的要因の情報が一元管理される革新的PDSプラットフォーム
- ヘルスケアビッグデータ解析に基づく将来の健康情報の提供サービス
- 各種センサーデータを統合し、AI解析とオープンAPIによるサービス連携で多種多様なビジネスを創出

研究大学強化促進事業

事業実施期間：平成25年度～令和4年度

プログラム名	プログラム概要
研究大学強化促進事業	近年、我が国の論文数等の国際的シェアは相対的に低下傾向にあり大学等における研究体制・研究環境の全学的・継続的な改善や、研究マネジメント改革などによる国際競争力の向上が課題となっています。このような状況を踏まえ、世界水準の優れた研究活動を行う大学群を増強し、我が国全体の研究力の強化を図るために文部科学省が行う、大学等による研究マネジメント人材群の確保や集中的な研究環境改革等の研究力強化の取組を支援する平成25年度から令和4年度までの事業です。

○実現の鍵となる研究開発テーマ

- 研究推進・支援機構に設置されているリサーチ・アドミニストレーションセンターを充実し、世界の研究・社会動向と本学の研究力を解析することで、研究戦略を“見える化”によって立案支援するとともに、ベンチマーク大学や研究機関・研究者を選定し、それらの大学等からの訪問・滞在研究者を増加させる。
- 人類社会の共通課題解決に貢献し、東北大学発の先駆的研究領域を開発するため、訪問滞在型研究センター「東北大学知のフォーラム」を設置する。

名称	フォーラム概要
東北大学知のフォーラム	知のフォーラムは国際的に開かれた訪問滞在型研究プログラムとして平成25年より開始。人類共通の課題や世界動向を踏まえた多様な分野の中から戦略研究テーマを設定し、そのテーマを牽引するノーベル賞級の研究者を招いて1～3カ月間じっくり研究を進め、新たな知見や融合領域の研究を創出するものです。また、滞在研究者と学生を含む若手研究者との交流の機会を広く設けることにより、研究の進展を図り、国際的人材育成にも貢献します。

- 「海外リサーチ・ステーション」を置き、将来のグローバル・リーダーとなる若手研究者を中長期海外の研究機関に滞在させ、そこで生まれたアイデアを熟成するための国際共同研究・国際共同プロジェクトを格段に増加させる。
- 訪問滞在研究者が円滑に定着するための支援を行う「リサーチ・レセプションセンター」や「国際対応事務部門」などの受入れ体制を整備し、リサーチ・レセプションセンター機能を有する高等研究機構等事務部国際推進係等を核に東北大学の事務国際化を加速する。

■ スーパーグローバル大学創成支援

東北大学は、グローバル30や経済社会の発展をけん引するグローバル人材育成支援をはじめとする教育の国際化と、知のフォーラムやAIMRをはじめとする研究の国際化に関する先進的な取組を推進してきた実績をさらに加速するため、平成26年度に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(トップ型)」に申請し採択されました。この事業は、我が国の高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により“徹底した国際化”を進める大学に対し重点支援が行われ、トップ型には本学を含む13大学が採択されています。

本学が掲げる「東北大学グローバルイニシアティブ構想」は、グローバル時代を牽引する卓越した教育・研究を行う大学へと飛躍し、世界がその実力や実績を認め、敬意を持って評される大学となることを目指すためのものです。本構想実現のために、総長のリーダーシップによる機動的体制整備の一環として「機構化」による運営を取り入れ、機能結集型ガバナンスの実行を伴いながら主に以下の取組を行います。

グローバルイニシアティブ構想の 主な取組	事業概要
国際共同大学院プログラム	東北大学の強みや潜在性の分析をもとに、本学が力を発揮し世界を牽引できる分野、今後の発展が期待できる分野、人類が直面している課題・地球規模の問題に挑戦する分野において海外有力大学との強い連携のもと共同教育を実施する9つの「国際共同大学院プログラム」群を創出するものです。令和元年度には、材料科学国際共同大学院 (Materials Science:GP-MS)、日本学国際共同大学院 (Japanese Studies: GP-JS)、災害科学・安全学国際共同大学院 (Resilience and Safety Studies: GP-RSS) が開始され、国立清華大学(台湾)、ハイデルベルク大学等と連携し、教育力の向上と研究力強化の更なる向上を目指すとともに世界的な視野でアカデミアならびに産業界を牽引する人材を育成します。
グローバルリーダー育成の教育基盤整備 (FGL プログラム、TGL プログラム、国際共同教育)	<p>「国際化拠点整備事業(グローバル30)」より推進してきた“Future Global Leadership (FGL) Program”をさらに発展させ、全ての研究科が英語で学位取得できる国際コースへ参画することを目指します。</p> <p>「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援(全学推進型)」により進めてきた「東北大学グローバルリーダー育成プログラム(TGLプログラム)」を継続・発展させ、グローバルリーダーとしての素養を身に付けた学部学生の育成を推進します。</p> <p>海外の大学との組織的・継続的な教育連携を構築するため、国際共同大学院プログラム以外にも、複数の研究科で行っているダブルディグリープログラム等を積極的に推進します。</p>

<東北大学グローバルイニシアティブ構想>

世界から尊敬される「世界三十傑大学」の一員へ



特色ある研究・
教育・社会貢献活動

教育

文部科学省が行っている「国公立大学を通じた大学教育再生の戦略的推進」の各プログラム等に、本学での以下の取組が採択されています。

卓越大学院プログラム

各大学が自身の強みを核に、これまでの大学院改革の成果を生かし、国内外の大学・研究機関・民間企業等と組織的な連携を行いつつ、世界最高水準の教育力・研究力を結集した5年一貫の博士課程学位プログラムを構築することで、あらゆるセクターを牽引する卓越した博士人材を育成するとともに、人材育成・交流及び新たな共同研究の創出が持続的に展開される卓越した拠点を形成する取組を推進する事業です。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成30年度～令和6年度	医学系研究科、歯学研究科等 13部局	未来型医療創造卓越大学院プログラム	東北大学が提唱する未来型医療 "Future Medicine supported by Data Science, Technology and Society (DTS)" (データ科学・技術・社会インフラにより健康・予防・治療を実現する医療) を牽引し、高齢者が自立して健康で幸福に生きることができる効率的で優しい社会づくりに貢献する人材を育成します。
平成30年度～令和6年度	工学研究科、情報科学研究科等 10部局	人工知能エレクトロニクス卓越大学院プログラム	第4次産業革命、超スマート社会の実現に向けて、人工知能エレクトロニクスの卓越した研究環境の下で、産学連携・社会連携を意識して「社会課題の解決」と「新たな価値の創出」を実現する「実践力」と、フィジカル空間とサイバー空間およびそれらを繋ぐあらゆる空間を見通せる「俯瞰力」を習得することで、異分野技術を巻き込み「継続的イノベーション」を起こすことができる卓越した博士人材を育成します。
令和元年度～令和7年度	理学研究科、工学研究科等 11部局	変動地球共生学卓越大学院プログラム	安全・安心で持続可能な社会を構築していくために、環境要因のみならず情報・社会・経済的要因などの多様なリスクに対応することができる地球から人間までを縦ぎ目なく理解する先端知と、それに基づく実践力を身につけた人材を育成します。

博士課程教育リーディングプログラム

優秀な学生を広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、専門分野の枠を超えて世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成24年度～平成30年度	工学研究科、理学研究科、文学研究科、災害科学国際研究所等 12部局	グローバル安全学トップリーダー育成プログラム	東日本大震災に代表されるグローバルデザスターから人命・社会・産業を守ることに貢献できるグローバル安全学リーダーをアカデミアのみならず、世界的企業や国際機関などの多様な分野に輩出することを目指します。
平成25年度～令和元年度	工学研究科、理学研究科等 11部局	マルチディメンション物質理工学リーダー養成プログラム	多角的な視点や手法で物質・材料を理解し、新しい物質デザイン思想を現実化するだけの広く確かな基礎知識と幅の広い研究経験を有する物質リーダーとして、主に産業界で即戦力として活躍できる人材育成を目指します。

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

がん医療の新たなニーズに対応できる優れた「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」を養成することで、我が国におけるがん医療の一層の推進を目的としています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成29年度～令和3年度	医学系研究科	東北次世代がんプロ養成プラン	わが国のがん医療の課題解決のため、最新のがん医療に必要な学識・技能や国際レベルの臨床研究を推進する能力を育み、大学、行政、職能団体、がん拠点病院や診療所、患者会や学会が連携しがんゲノム医療・個別化医療、希少がん・難治がん、小児から高齢者のライフステージ毎の多様ながんの医療ニーズに応えるがん専門医療人を養成します。

課題解決型高度医療人材養成プログラム

我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療を提供できる優れた医療人材を養成することを目的としています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成30年度～令和4年度	病院	コンダクター型災害保健医療人材の養成	自然災害、CBRNE 災害、それらを合わせた複合災害に対応でき、様々な職種とチームとして協働でき、他組織と連携し、急性期から慢性期にかけて現場でも後方でも機能する「コンダクター型災害保健医療マネジメント人材」を養成します。

持続的な産学共同人材育成システム構築事業

個別の企業や業界を超えたオープンイノベーションを促進するため、社会人の学び直しも含めアカデミアと社会を自由に行き来できる学びと社会生活の好循環を醸成し、中長期的かつ持続的に社会の要請に応えることができる産学共同による人材育成システムを構築することを目的としています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
令和元年度～令和5年度	高度教養教育・学生支援機構	創造と変革を先導する産学循環型人材育成システム(運営拠点・中核拠点)	産学連携による実践的かつ広く深い学びを追求し、学生も社会人も学び続けチャレンジし続ける社会の実現、未来を拓く人材の各界への輩出のため、大学において学びと社会を繋ぐ上で中心的役割を担う実務家教員を育成します。

成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPIT)

情報技術を高度に活用して社会の具体的な課題を解決できる人材の育成機能を強化するため、産学協働の実践教育ネットワークを形成し、課題解決型学習(PBL)等の実践的な教育を推進し広く全国に普及させることを目的としています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成28年度～令和2年度	情報科学研究科	情報セキュリティ分野の実践的人材育成コースの開発・実施	成長分野であり国家的に喫緊の課題であるサイバーセキュリティ分野の人材として、先進技術の知識に加え、理解・応用できる実践的能力の育成を指向して、教育コースを開発し実施します。

本学でも独自に以下の取り組みを行っています。

特色ある教育への取り組み

若手研究者の養成を推進するため、優れた学生を「修士研究教育院生」「博士研究教育院生」として選抜し、各種支援を行っています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成19年度～	学位プログラム推進機構 学際高等研究教育院	修士・博士研究教育院生制度	各研究科等との連携を通じて、異分野の融合領域における新たな研究分野の研究成果を基盤とした教育に関する研究開発、企画及び支援を行うことにより、新たな総合的知を創造し、かつ、国際的に通用する若手研究者の育成を目指します。

寄附講座・寄附研究部門

寄附講座・寄附研究部門は、企業などからの寄附金によって、大学における教育・研究の豊富化、活性化を図ることを目的として、「寄附講座」(大学院研究科・専攻に置く場合)又は「寄附研究部門」(附置研究所などに置く場合)を設置し、運営する制度です。

(2020年5月1日現在)

寄附講座

設置年度	名称	設置期間
令和2年度(継続)	スポーツ・運動機能再建医学	令和2年4月1日～令和5年3月31日
令和2年度	家畜健康科学	令和2年4月1日～令和5年3月31日
令和2年度(継続)	環境物質政策学(DOWAホールディングス)	令和2年4月1日～令和5年3月31日
令和2年度	反応解析機器開発学(フロンティア・ラボ)	令和2年4月1日～令和5年3月31日
令和元年度(継続)	実践宗教学	平成31年4月1日～令和4年3月31日
令和元年度(継続)	大動脈疾患治療開発学	平成31年4月1日～令和4年3月31日
令和元年度(継続)	眼科画像情報解析学	平成31年4月1日～令和4年3月31日
令和元年度	社会薬学マネジメント(医療経営研究所)	平成31年4月1日～令和4年3月31日
平成30年度	感染制御インテリジェンスネットワーク	平成30年10月1日～令和3年9月30日
平成30年度	発酵微生物学	平成30年10月1日～令和6年3月31日
平成30年度(継続)	難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携	平成30年6月1日～令和3年5月31日
平成30年度(継続)	視覚先端医療学	平成30年4月1日～令和3年3月31日
平成30年度(継続)	網膜疾患制御学	平成30年4月1日～令和3年3月31日
平成29年度	地域総合診療医育成	平成29年10月1日～令和2年9月30日
平成29年度(継続)	循環器先端医療開発学	平成29年10月1日～令和4年9月30日
平成29年度(継続)	循環器EBM開発学	平成29年10月1日～令和4年9月30日
平成28年度	微生物進化機能開発	平成28年10月1日～令和4年3月31日

寄附研究部門

設置年度	名称	設置期間
令和2年度(継続)	認知機能発達(公文教育研究会)	令和2年4月1日～令和5年3月31日
令和2年度	未来医療人材育成	令和2年4月1日～令和7年3月31日
令和元年度	都市直下地震(応用地質)	令和元年11月1日～令和4年10月31日
令和元年度(継続)	災害交通医療情報学	平成31年4月1日～令和4年3月31日
平成30年度(継続)	地震津波リスク評価(東京海上日動)	平成30年4月1日～令和3年3月31日
平成29年度(継続)	上廣歴史資料学	平成29年4月1日～令和4年3月31日

共同研究講座・共同研究部門

共同研究講座・共同研究部門は、企業などから資金の他に研究者などを受け入れて、大学教員と目的を共有し、研究成果の実用化などを見据えた共同研究を促進することを目的として、「共同研究講座」(大学院研究科・専攻に置く場合)又は「共同研究部門」(附置研究所などに置く場合)を設置し、運営する制度です。

(2020年5月1日現在)

共同研究講座

設置年度	部局名	名称	設置期間
令和2年度(継続)	歯学研究科	次世代歯科材料工学	令和2年4月1日～令和4年3月31日
令和2年度(継続)	歯学研究科	先端フリーラジカル制御学	令和2年4月1日～令和5年3月31日
令和元年度	医学系研究科	漢方・統合医療学	平成31年4月1日～令和6年3月31日
令和元年度	医学系研究科	電磁気神経生理学(リコー)	平成31年4月1日～令和4年3月31日
令和元年度	工学研究科	インターコネクト・アドバンス・テクノロジー(ICAT)	平成31年4月1日～令和6年3月31日
令和元年度	工学研究科	先端自動車トライボロジー材料研究(トヨタ自動車東日本)	平成31年4月1日～令和4年3月31日
令和元年度	農学研究科	J-オイルミルズ油脂イノベーション	平成31年4月1日～令和4年3月31日
平成30年度	医学系研究科	先進MRI	平成30年10月1日～令和5年9月30日
平成30年度(継続)	工学研究科	先端電力工学	平成30年4月1日～令和3年3月31日
平成29年度	医学系研究科	眼科創薬	平成29年10月1日～令和2年9月30日
平成29年度	医学系研究科	抗体創薬	平成29年4月1日～令和4年3月31日

共同研究部門

設置年度	部局名	名称	設置期間
令和2年度	多元物質科学研究所	製鉄プロセス高度解析技術(JFEスチール)	令和2年5月1日～令和5年4月30日
令和2年度(継続)	病院	造血器病理学(Hematopathology)	令和2年4月1日～令和5年3月31日
令和2年度	工学研究科	マルチスケールマテリアル工学(日本製鉄)	令和2年4月1日～令和4年3月31日
令和2年度	原子炉廃止措置基盤研究センター	福島第一原子力発電所廃炉支援基盤	令和2年4月1日～令和7年3月31日
令和元年度(継続)	病院	慢性腎臓病透析治療	令和2年2月1日～令和4年9月30日
令和元年度	多元物質科学研究所	放射光次世代計測科学連携	令和元年11月1日～令和6年10月31日
令和元年度	スマート・エッジ学際重点研究センター	栄養認知健康脳(東洋ライス)	令和元年6月1日～令和4年5月31日
令和元年度	工学研究科	次世代材料製造技術の創生(JSW)	令和元年6月1日～令和4年3月31日
令和元年度	工学研究科	三菱ふそう実践的工学教育プログラム	令和元年5月1日～令和3年4月30日
令和元年度(継続)	電子光物理学研究センター	凝縮系核反応	平成31年4月1日～令和5年3月31日
平成30年度	金属材料研究所	最先端金属積層造形技術(JAMPT)	平成30年10月1日～令和3年9月30日
平成30年度	金属材料研究所	東京エレクトロン3Dプリンティング材料加工プロセス工学	平成30年10月1日～令和3年9月30日
平成30年度	病院	腫瘍分子システム治療	平成30年7月1日～令和4年6月30日
平成30年度(継続)	サイバーサイエンスセンター	高性能計算技術開発	平成30年7月1日～令和4年6月30日
平成30年度	多元物質科学研究所	非鉄金属製錬環境科学	平成30年4月1日～令和5年3月31日
平成30年度(継続)	流体科学研究所	先端車輪基盤技術研究(ケーヒン)Ⅱ	平成30年4月1日～令和3年3月31日
平成30年度(継続)	工学研究科	電力エネルギー未来技術	平成30年4月1日～令和3年3月31日

産学連携

産学官連携ポリシー

東北大学は、建学以来、「研究第一主義」「門戸開放」「実学尊重」の理念を掲げ、世界トップレベルの研究・教育を創造してきました。また、研究成果は社会の直面する諸課題の解決に応えるとともに、社会の指導的人材を育成することで、人類社会の平和と繁栄に貢献してきました。東北大学は100年の歴史の中で継承してきた知の蓄積と、次の100年に向けて、絶えざる研究・教育の創造を通じ、人類社会に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」を目指しています。

また、東北大学は「世界と地域に開かれた大学」の方針の下、大学の人的・知的資源及び総合力と地域や国際社会との連携により、人類社会全体の発展に貢献します。その一つであります産学官連携は、教育・研究に次ぐ大学の第3の使命である社会貢献の中核を成し、知の成果の社会還元を果たす要素として重要であり、大学として、以下の産学官連携ポリシーに基づき、積極的に取り組みます。

1. 建学以来の「実学尊重」の伝統と実践を礎に、学術成果を広く社会に還元すべく、産業界への技術移転を推進し、本学における教育と研究の社会的付加価値を高めます。
2. 国際的な産学官連携においては、技術移転や共同研究等に止まらず、世界をリードする技術革新を導く研究を推進します。
3. 地域が抱える諸課題の解決に向けた持続的な産学官連携を進め、地域イノベーションの原動力となることを目指し、我が国の経済・社会の発展に貢献します。
4. 大学に産学官連携を推進するための組織をおき、学内リソースの結集と国内外関係機関との連携により、国際的な視点に立つて産学官連携活動を進めます。
5. 産学官連携を推進するにあたり、透明性を確保し、国内外の法令や国際間の条約等を遵守するなどの社会的説明責任を果たすことを基本とします。

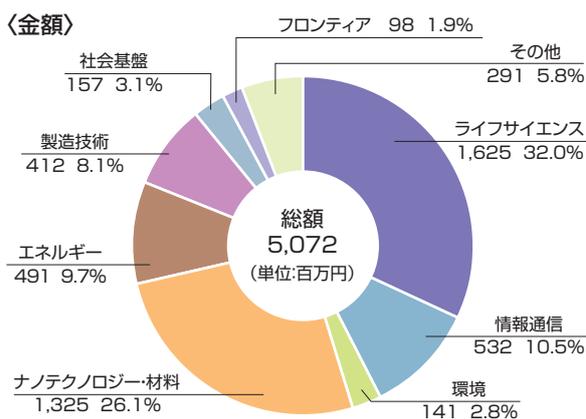
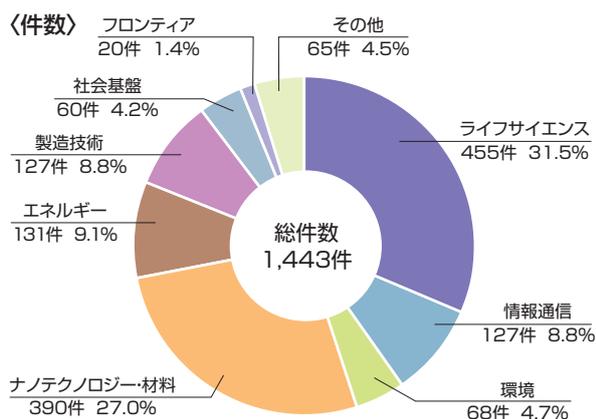
民間等との共同研究実施状況の推移

年度	受入件数(件)	受入金額(単位:百万円)
令和元年度	1,443	5,072
平成30年度	1,348	4,821
平成29年度	1,195	4,211
平成28年度	1,106	3,878
平成27年度	1,012	4,040
平成26年度	974	3,549
平成25年度	897	4,127
平成24年度	831	3,084
平成23年度	862	2,840
平成22年度	854	2,956
平成21年度	837	2,692
平成20年度	786	2,459
平成19年度	698	2,086
平成18年度	519	2,028
平成17年度	479	1,827
平成16年度	392	1,675
平成15年度	284	1,129

受託研究の受入状況の推移

年度	受入件数(件)	受入金額(単位:百万円)
令和元年度	735	12,403
平成30年度	789	14,024
平成29年度	740	14,869
平成28年度	758	13,638
平成27年度	731	12,963
平成26年度	692	11,140
平成25年度	661	9,216
平成24年度	666	9,587
平成23年度	742	11,397
平成22年度	589	10,008
平成21年度	611	9,563
平成20年度	596	9,131
平成19年度	554	9,101
平成18年度	591	7,927
平成17年度	483	7,358
平成16年度	456	6,149
平成15年度	373	3,450

令和元年度 民間等との共同研究実施状況



官民イノベーションプログラム(国立大学に対する出資事業)

平成24年度に予算計上された本プログラムについては、大学の研究開発成果の事業化・実用化を推進するため、本学に対して政府出資金125億円、特別運営費交付金25億円が予算措置されています。

これを受けて、本学では「出資事業推進委員会」、「産学共同・事業化推進委員会」及び事業担当部署である「事業イノベーションセンター」を整備した上で、事業化の候補案件を「事業化推進事業型共同研究事業」として推進しています。

また、大学発ベンチャーに対して、資金供給等を行う事業(特定研究成果活用支援事業)を実施するベンチャーキャピタルとして、本学100%出資により東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社を平成27年2月に設立しました。

平成27年8月には、同社を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合(ファンド)が組成され、本学発研究成果の事業化を目指すベンチャー企業への投資活動が開始されています。

組織的連携

本学では、研究開発、人材育成、地域社会への責任、など相互の協力が可能な全ての分野において、大学全体として民間企業等と組織的連携を行い、具体的な協力を有機的に推進しています。

(2020年7月1日現在)

協定締結日	民間企業等名称	目的
平成18年 1月19日	(株)日立製作所	電気、情報、材料、機械分野における共同研究や相互交流を目指す。
平成18年 1月31日	産業技術総合研究所 (AIST)	環境、材料、情報通信、エレクトロニクス分野等における共同研究および、「産総研・東北大 数理先端材料モデリングオープンイノベーションラボラトリー (MathAM-OIL)」の推進を目指す。
平成18年 7月27日	セイコーエプソン (株)	共同研究の推進、研究者の相互交流、教育及び人材の育成、留学生への奨学金支援業務及び国際交流助成を目指す。
平成18年12月26日	(株)河北新報社	共同研究・調査、イベント共催・協力、人材育成などの面での協力を軸に、教育・研究機能と、報道・情報発信機能を連携させることを目指す。
平成19年 1月31日	(株)七十七銀行	東北大学発ベンチャー企業に関する情報交換・支援、東北大学シーズと地域企業とのマッチングコーディネート、技術相談、相互人材交流を目指す。
平成19年 3月 6日	DOWA ホールディングス (株)	共同研究の推進、研究者の相互交流、若手研究者の育成、研究施設、研究設備の相互利用を目指す。
平成20年 7月25日	実験動物中央研究所	ライフサイエンス分野、生命科学、材料科学並びに心理学、社会科学など相互協力が可能な全ての分野での共同研究、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 2月19日	高エネルギー加速器研究機構 (KEK)	素粒子原子核物理、物質生命科学、加速器科学の研究領域における共同研究のさらなる深化、共同研究体制の強化、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 3月 9日	自然科学研究機構核融合科学研究所	核融合炉に関する研究の更なる推進、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 4月14日	理化学研究所	理論と実験、計算科学と計算機科学の融合など、広範な学術領域の開拓を図り、計算科学によるイノベーションの創出、国際的に活躍できる人材の育成、人材交流を目指す。
平成22年 2月12日	NTT、NTT 東日本	情報通信分野における連携協力の更なる拡大、教育・研究活動の拡充、活性化、異分野融合型の研究開発の推進を目指す。
平成22年 6月 4日	住友金属鉱山 (株)	非鉄金属素材に関する研究推進を図るため、さらなる共同研究、相互交流、人材育成の推進を目指す。
平成23年 7月26日	東京海上日動火災保険 (株)	地震・津波のリスク評価に関連して、研究開発、人材育成等相互協力が可能な事項について、連携・協力を推進する。
平成23年11月10日	仙台市、筑波大学	生活排水を吸収して石油成分を生産する藻類バイオマスの研究・開発を推進する。燃料生産モデルと新しい循環型システムの実現を目指す。
平成24年 1月19日	情報通信研究機構 (NICT)	災害により強い社会の構築に向けて、情報通信ネットワーク及びその利活用の耐災害性強化のための情報通信技術の研究を効果的かつ効率的に推進する。
平成24年10月16日	海洋研究開発機構 (JAMSTEC)	共同研究・プロジェクトの推進、人材交流、人材育成、学術資料・リサーチレポート等学術情報の交換、施設・設備等の利用等について、連携・協力を推進する。
平成25年 8月 1日	(株)東芝	「ヘルスケアビッグデータに関する研究開発」に関連する研究領域において、研究開発、人材育成等の相互協力が可能な事項について、連携・協力を実施する。
平成25年11月12日	物質・材料研究機構 (NIMS)	物質・材料分野において、両機関で連携・協力して研究開発や研究設備の相互利用・共同運営、人材交流等を行い、我が国の学術及び科学技術の振興と、社会の発展に寄与することを目指す。
平成25年12月18日	国土交通省東北地方整備局	双方が長年にわたり培ってきた信頼関係を基盤に、防災機能の向上及び地域社会の持続的発展に寄与することを目的に連携・協力の推進・強化を図る。
平成26年 3月28日	日本原子力研究開発機構 (JAEA)	研究施設・設備、研究成果、人材等を活用し、連携協力することにより、相互の研究開発及び人材育成の充実を図る。
平成26年 8月 1日	日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的医薬品の創出を目指して、新規創薬シーズ発掘のための連携・協力を推進する。
平成28年 4月 1日	人間文化研究機構	北東アジア地域研究を総合的に推進し、北東アジア地域研究の発展に寄与することを目的とする。
平成28年10月31日	医薬品医療機器総合機構 (PMDA)	双方が築き上げてきた資産、能力、人材等を相互に活用し合い、互恵の精神に基づき連携・協力することで我が国のレギュラトリーサイエンスの振興に資する。
平成28年11月 9日	量子科学技術研究開発機構 (QST)	PET (陽電子断層撮像法) を利用した分子イメージング研究の高度専門人材育成を目指す。
平成29年 2月14日	中小企業基盤整備機構	大学発ベンチャーの創出、地域イノベーションの推進等を行うことを目的とした産学連携強化を目指す。
平成29年 3月 1日	東北活性化研究センター	東北地域における産業の活性化と人材育成に貢献するため、あらゆる分野での連携・協力により地域の活力向上と人材育成を行うことで、持続的な発展に寄与する。
平成29年 3月28日	アルプスアルパイン (株)	先端技術新事業の創出を目指し、地域産業の持続的成長促進に向けたイノベーションを担う創業人材の育成を図り、電子部品産業の振興と社会全体への発展に寄与する。
平成29年 4月20日	JFE スチール (株)	鉄鋼産業の振興と社会全体の発展に寄与する。
平成29年 6月29日	日本貿易振興機構 (JETRO)	グローバル人材育成、農林水産業・食品産業海外展開支援、大学シーズのグローバル社会実装化支援等の連携プログラムにおいて連携協力を行う。
平成29年10月 3日	日本製鉄 (株)	鉄鋼産業の振興と社会全体の発展に寄与する。
平成29年11月 8日	(株)七十七銀行、(株)東京証券取引所	ベンチャー企業及び地域企業の成長支援並びに起業家人材育成の推進に関して、地域の経済活性化・発展に寄与する。
平成29年12月14日	石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC)	双方の研究技術開発能力・人材・設備を補助的に活用することにより、資源・エネルギーに関する我が国の学術及び技術開発の発展に資する。
平成30年 1月26日	神戸大学、人間文化研究機構	日本の地域社会における歴史文化資料の調査研究と資料保全を目的とする全国広域ネットワーク事業として構想した本事業を、連携3機関が中核として推進、もって、日本の地域社会における歴史文化の継承と創成に向けた大学の教育・研究機能強化に資することを目的とする。
平成30年 6月26日	(株)フィリップス・ジャパン	デジタル技術 (ICT) を用いて「人々の行動変容」にフォーカスし、健康・予防・医療への新たな価値を生むヘルステックソリューションを創出する。
平成30年 7月18日	東京工業大学	量子コンピューティングを中心とした情報科学の基礎と応用の研究において、両大学の強みを活かして組織的な連携を図ることにより、我が国における拠点を形成するとともに、世界的リーダーシップを発揮することを目的とする。
平成30年 9月 5日	JX 金属 (株)	非鉄金属産業における研究開発や人材育成など相互協力が可能な全ての事項において、持続的かつ組織的な連携協力を推進し、社会全体の発展に寄与する。
平成30年 9月19日	東京海上日動火災保険 (株)	災害科学領域、ヘルスケア領域をはじめとする最先端研究成果を社会実装することにより、社会課題の解決に取り組む。
平成30年10月 9日	経済産業研究所	学術研究の振興並びに研究成果による政策形成及び社会への貢献に資することを目的とする。
平成31年 3月20日	理化学研究所	相互に協力可能な全ての分野において、それぞれの研究、教育・人材育成などの具体的な連携・協力を、互恵の精神に基づき効果的に実施することにより、我が国の学術及び科学技術の振興に資することを目的とする。
平成31年 4月 2日	楽天 (株)	ヘルスケア・医療、ロボティクス、人材育成をはじめとする様々な分野で互いの知見やアセットを活かしてイノベーションを創出し、スピード感を持って成果の社会実装を行う。
令和 元年 8月27日	第一生命保険 (株)、(株) NTT データ	イノベーション創出と地方創生を通じた社会課題の解決を目的に、研究開発、人材育成、事業化支援・ベンチャー投資、事業基盤強化などの活動に連携協力して取り組んでいく。
令和 2年 3月 6日	理化学研究所放射光科学センター	双方が有する研究設備等の活用により、研究開発の迅速化及び放射光科学分野における人材の育成に貢献し、我が国の科学技術の一層の活性化に寄与するため、放射光科学分野におけるリサーチ・リンクセンターを形成することを目的とする。

社会との連携協力

サイエンスカフェ

科学者が、科学に関心のある方々と飲み物を片手に気軽に話し合い、サイエンスの楽しさを知ってもらう場です。

講師	所属	テーマ	開催日(令和元年度)
清和 研二 教授	大学院農学研究科	多種共存の森～その仕組みと恵み～	4月19日(金)
西 羽美 准教授	大学院情報科学研究科	生命の部品、タンパク質～その形と働きをコンピュータで理解する～	5月15日(水)
栗林 貴弘 准教授	大学院理学研究科	地球の中はどんな世界? & 鉱物のフシギ	6月28日(金)
斎藤 芳郎 教授	大学院薬学研究科	毒なのに体に必要なモノって何?～体のことを知って薬を作る～	7月12日(金)
渡邊 賢 教授	大学院工学研究科	超臨界で天然物がお宝に?～新しい食品加工と廃棄物処理技術～	8月30日(金)
張替 秀郎 教授	大学院医学系研究科	がんを免疫で治す	9月18日(水)
宮下 光合 教授	大学院医学系研究科	人生会議してみませんか?～もしもの時のため、あなたが望む医療やケアについて考えてみませんか?～	10月25日(金)
大西 直文 教授	大学院工学研究科	プラズマで飛行機の燃費が向上する!?～イオン風による気流制御技術～	11月29日(金)
當真 賢二 准教授	学際科学フロンティア研究所 / 大学院理学研究科	東北大学サイエンスカフェ・スペシャルぶらりぐ in メディアテーク「ブラックホールとは何か?」	2月21日(金) ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
岡田 彩 准教授	大学院情報科学研究科	思わず応援したくなる NPO とは?!～社会貢献アクションを促す情報の見せ方～	3月18日(水) ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

リベラルアーツサロン

文系の幅広い分野から、身近なテーマ・知識欲をかき立てるテーマを取り上げ、気軽に会話に興じるサロンの雰囲気でお話し合う場です。

講師	所属	テーマ	開催日(令和元年度)
勝山 稔 教授	大学院国際文化研究科	謎の漢文を解読せよ——なぜ『西遊記』は漢文の教科書に載らないのか?——	5月31日(金)
齋藤 智寛 准教授	大学院文学研究科	人間の本性は善か悪か	8月9日(金)
千葉 聡 教授	東北アジア研究センター	取扱い注意な生物多様性	9月20日(金)
鹿生子 浩輝 教授	大学院法学研究科	イタリア・ルネサンスのリベラルアーツ——芸術・自由・人文主義	11月1日(金)
佐藤 勢紀子 教授	高度教養教育・学生支援機構	『源氏物語』はどう読まれてきたか—「古典」とは何かを考える—	12月6日(金)
熊谷 龍一 准教授	大学院教育学研究科	あまり知られていない「テスト」のはなし	2月28日(金) ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

東北大学地域連携イノベーション展2020

開催日	内容	開催地
令和2年1月17日	地域の産学連携関連機関のご協力の元、同展示会を主催、本学と地域企業との共同研究等の取組みや研究成果・シーズ等を地域の企業や関係機関の皆様幅広く紹介した。13部局・研究室のブース展示の他、全ブースからのプレゼンテーションも実施し、新たなイノベーションにつながる技術シーズとの出会いや共同研究等のきっかけづくりができた。	仙台国際センター

東北大学 MOOC

MOOCは、大規模公開オンライン講座(massive open online course)の略称で、どなたでも無料のオンライン講義をオンデマンドで視聴でき、修了要件を満たした方には修了証が発行されます。

シリーズ名	講座名	講師	所属(開講時)	オンライン講座開講期間(令和元年度)	対面授業開講日(令和元年度)
東北大学で学ぶ高度教養シリーズ	男と女の文化史	高橋 章則 教授 他	文学研究科	1～3月	—
	家族と民法	水野 紀子 教授	法学研究科	10～12月	—
	memento mori—死を想え—	鈴木 岩弓 総長特命教授	教養教育院	8～10月	10月5日(仙台)
東北大学サイエンスシリーズ	進化発生学入門—恐竜が鳥に進化した仕組み—	田村 宏治 教授	生命科学研究科	1～3月	—
	銀河考古学入門—銀河の形成と進化を辿る—	千葉 証司 教授	理学研究科	7～9月、1～3月	—
	東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学へのアプローチ—災害科学の役割	今村 文彦 教授 他	災害科学国際研究所	9～11月	—
	解明:オーロラの謎	小原 隆博 教授	理学研究科	6～8月	7月20日(仙台)

公開講座

部局主催

講座の名称	実施部局
第54回東北大学教育指導者講座	教育学研究科
先進材料システム加工プロセスと評価	工学研究科
先端スピン工学	工学研究科
エネルギーデバイス工学	工学研究科
技術適応計画特論	工学研究科
水環境学(低炭素・循環型社会の推進に向けて)	工学研究科
電気エネルギーシステム工学	工学研究科
応用物理学特論	工学研究科
近代技術史学	工学研究科
福島事故以降の安全学に向けて	工学研究科
的場記念川渡セミナー	工学研究科
軽水炉安全セミナー(原子炉廃止措置編)	工学研究科
第26回公開講座「近代フランスの外交と異文化理解—幕末日本と脱植民地化期のアフリカ—」	国際文化研究科
ものづくり基礎講座	金属材料研究所
金属材料研究所第89回8月夏期講習会	金属材料研究所
東北大学東北アジア研究センター「みちのく歴史講座」	東北アジア研究センター
東北大学東北アジア研究センター春季古文書講座	東北アジア研究センター
東北大学東北アジア研究センター秋季古文書歴史講座	東北アジア研究センター
東北大学東北アジア研究センター公開講演会「生態系・生物多様性を利用した持続可能な社会」	東北アジア研究センター
ぶらりがく「切っても切っても!?—再生する力が強い生き物について学ぼう—」	理学研究科
ぶらりがく「声を可視化して分析しよう」	理学研究科
ぶらりがく「ホタルの光を化学する!?!」	理学研究科
ぶらりがく「クイズで二ホニウム」	理学研究科
仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科 公開サイエンス講座 2019年度 第1回 オーロラの謎に迫る	理学研究科
仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科 公開サイエンス講座 2019年度 第2回 地球 vs 宇宙 ~海と火山~	理学研究科
仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科 公開サイエンス講座 2019年度 第3回 ついに「見えた」重力波天体	理学研究科
仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科 公開サイエンス講座 2019年度 第4回 宇宙のはじまりと終わり 加速する宇宙ってなに? *開催中止	理学研究科

みやぎ県民大学大学開放講座

講座の名称	実施部局
学口のすすめ~口福な生活のために~	歯学研究科
材料の機能で環境を守る	環境科学研究所
地球にやさしいエネルギーと環境・材料技術~太陽電池・水素・超伝導・植物の品種改良~	金属材料研究所
ながれの科学	流体科学研究所
English Speech Craft Workshop	電気通信研究所
グリーンテクノロジーのための材料とデバイス	多元物質科学研究所

「学都仙台コンソーシアム」サテライトキャンパス公開講座

講座の名称	実施部局
マルチ人間大槻文彦の諸相 1. 仙台藩士 / 2. 洋学者大槻文彦	文学研究科
マルチ人間大槻文彦の諸相—教育学者・大槻文彦	文学研究科
マルチ人間大槻文彦の諸相—大槻文彦と吉野作造	文学研究科
口の健康は長寿社会の要の話	歯学研究科
ラテンアメリカ先住民と文学	国際文化研究科
内科学を科学で考える	加齢医学研究所
次世代放射光施設~高輝度3GeV 級放射光源	多元物質科学研究所
次世代放射光と仙台の未来	多元物質科学研究所
片平キャンパスを通して学ぶ東北大学の歴史	災害科学国際研究所

高校生のための公開講座

講座の名称	実施部局 [講師派遣先高校]
異文化を理解して、自分を知らう~文化人類学の世界~	文学部
環境の変化に応じて生物はどのように変化するのか?	理学部
明日のエネルギーを支える“電池”の技術	工学部
高校生の規範意識の潜在構造: 道徳性発達か世代効果か?	文学部
先端教育実践	教育学部
近代国家と民放: もう一つの日欧近代史	法学部
歴史のなかの意思決定: イギリス産業革命の事例から考える	経済学部

講座の名称	実施部局 [講師派遣先高校]
物理学の世界: 原子を1個1個集めていくと	理学部
化学の世界	理学部
人間と文化の探求—文学部の学びとは?—	文学部
経済学ってなんだろう?	経済学部
経済学/経済学ってなんだろう: ハンバーガーの値段から考える	経済学部
放射線治療という選択 ~がん治療の更なる最適化を目指して~	医学部保健学科
脳と機械をつなぐ技術—ブレイン・マシン・インターフェイス—	工学部
受精卵とES細胞を評価するセンシング技術	工学部
東北大学農学部の紹介および私の研究紹介	農学部
情報はどこまで自由に使えるか?—生活の中の著作権法—	法学部
鉄の不思議(ナノ・マイクロ組織の世界)	工学部
「貧困」とは何か—SDGsが目指すもの—	農学部
インターネットは民主主義をダメにする?—インターネットと世論形成	文学部
テクノロジーが切り拓く生命・疾患の新理解と医工学	工学部
生き物が動く「しくみ」を理解するためのロボティクス	工学部
情報化がもたらす人々への影響・社会への影響	情報科学研究科
聖王舜の兄弟愛をめぐる思想的考察	文学部
情報はどこまで自由に使えるか?	法学部
時間・空間・計画: 地域経済と地域計画	経済学部
光を操る・光で操る—超高速分子の世界—	理学部
マグマの構造と物性	理学部
「脳科学から見た学びのメカニズム」	医学部医学科
薬学部の紹介—私大薬学と国立薬学の違い—	薬学部
医学と工学の融合がひらく新しい世界	工学部
東北大学工学部の紹介と最近の研究紹介 磁石は地球を救う!—将来の私たちの生活と磁石—	工学部
3次元音空間の収音・操作・創成 ~ヒトが音を聴く仕組みを知り、システム作りへ~	工学部
農学を学ぼう!—食糧生産科学の新たな挑戦—	農学部
「経済学・経済学×データ科学でAI時代の勇者を目指そう」	経済学部
植物の環境適応性を増強する分子標的剤をつくる	工学部
文学研究への招待—テキスト分析入門講義—	文学部
犯罪と刑罰について考える	法学部
英国のEU離脱問題	法学部
経済・経営における意思決定: イギリス革命を事例として	経済学部
材料化学の世界	理学部
ガロアの方程式論入門	理学部
「脳神経領域の新規治療開発」	医学部医学科
くすりをはかる	薬学部
持続可能な未来へつなぐ化学のちから	工学部
「社会環境工学のミッション」	工学部
5G向け磁気デバイスの創製に向けた高周波磁性材料の開発	工学部
ものをつなぐマテリアル接着技術—工業から医療まで—	工学部
原子・分子からはじめる機械設計	工学部
「育種(品種改良)に役立つ遺伝現象のはなし」	農学部
声と文字の出会いとしての世界の神話	文学部
「酵素はどこにあるのか?—暮らしの中の酵素とその起源—」	農学部
「食物アレルギーのはなし」	農学部
北上川フィールドワーク講演会	農学部

高校生のための公開授業

講座の名称	実施部局
電気情報理工学特別講座	工学部
グローバル・コミュニケーション「研究者と学ぶ科学英語実践講座」	全学教育
日本社会・文化A「言語としての手話入門」	全学教育
ぶらりがく for ハイスクール	理学研究科

特色ある研究・教育・社会貢献活動

学術交流協定締結等

大学間協定

35ヶ国・地域 249機関

<アジア>

中国

- * 東北大学 (1983.8.5)
- * 中国科学技術大学 (1998.6.15)
- * 清華大学 (1998.8.31)
- * 南京大学 (1999.9.1)
- * 北京大学 (1999.11.10)
- * 吉林大学 (2001.3.1)
- * 浙江大学 (2001.4.9)
- * 復旦大学 (2001.4.19)
- * 武漢理工大學 (2001.4.30)
- * 重慶大学 (2001.7.4)
- * 同濟大学 (2002.8.13)
- * 中国海洋大学 (2002.10.21)
- * 北京科技大学 (2002.10.25)
- * 南京航空航天大学 (2003.3.10)
- * 厦門大学 (2005.6.29)
- * 華中科技大学 (2005.10.12)
- * 西安交通大学 (2006.8.31)
- * 華東師範大学 (2006.9.20)
- * 北京航空航天大学 (2006.12.16)
- * 蘭州大学 (2007.4.17)
- * 天津大学 (2007.6.8)
- * 大連理工大学 (2007.6.16)
- * 揚州大学 (2008.6.20)
- 中国社会科学院 (2008.10.15)
- * 東南大学 (2009.6.29)
- * 上海交通大学 (2009.10.15)
- * 北京工業大学 (2010.10.16)
- * 北京郵電大学 (2010.10.17)
- * 香港科技大学 (2011.2.1)
- * 上海海洋大学 (2011.12.5)
- * 中国地質大学 (武漢) (2012.2.6)
- * 香港城市大学 (2012.3.17)
- * 東北財経大学 (2013.3.19)
- * 上海大学 (2014.5.7)
- * 西南大学 (2018.1.3)
- * 四川大学 (2018.6.26)
- 香港大学 (2019.3.16)
- * 南開大学 (2019.8.30)

インド

- * インド工科大学ボンベイ校 (2000.8.21)
- * インド科学大学 (2008.12.18)

インドネシア

- * インドネシア大学 (2004.3.19)
- * ガジャマダ大学 (2006.12.16)
- * バンドン工科大学 (2008.6.4)
- * ボゴール農科大学 (2010.3.23)
- * プラウイジャヤ大学 (2014.9.24)
- パジャジャラン大学 (2016.1.21)
- * セブル・ノーベンバー工科大学 (2018.12.21)

マレーシア

- * マラヤ大学 (2016.1.21)

モンゴル

- モンゴル科学アカデミー (2000.8.21)
- * モンゴル科学技術大学 (2001.11.16)

シンガポール

- * シンガポール国立大学 (2000.9.16)
- * ナンヤン工科大学 (2019.8.23)

韓国

- * 全北大学校 (1991.11.12)
- * ソウル大学校 (1998.7.8)
- * 光州科学技術院 (2000.8.21)
- * 釜慶大学校 (2000.8.21)
- * 浦項工科大学校 (2000.9.22)
- * 韓国科学技術院 (2001.4.24)
- * 忠南大学校 (2001.7.9)
- * 慶北大学校 (2002.9.2)
- * 嶺南大学校 (2003.12.3)
- * 朝鮮大学校 (2004.3.18)
- * 高麗大学校 (2004.3.31)
- * 国立昌原大学校 (2005.10.2)
- * 西江大学校 (2007.2.2)
- * 延世大学校 (2007.5.29)
- * 国立公州大学校 (2007.7.29)
- * 中央大学校 (2008.3.27)
- * 慶熙大学校 (2010.3.5)
- * 成均館大学校 (2012.3.15)

- * 国民大学校 (2012.4.10)
- * 韓国科学技術研究院 (2016.8.23)

スリランカ

- * モラトゥワ大学 (2015.9.16)

台湾

- * 国立台湾大学 (2000.11.18)
- * 国立中正大学 (2003.11.14)
- * 国立成功大学 (2005.8.9)
- * 国立交通大学 (2005.12.15)
- * 国立中興大学 (2009.3.30)
- * 国立清華大学 (2009.12.2)
- * 国立政治大学 (2011.4.22)
- * 東吳大学 (2014.8.8)
- * 国立中央大学 (2015.2.24)
- * 国立台北科技大学 (2019.11.25)
- 国立放射光研究センター (2020.3.13)

タイ

- * アジア工科大学院 (1998.11.9)
- * スラナリー工科大学 (2001.3.1)
- * キングモンクット工科大学ラカパン校 (2004.4.15)
- * チュロンコーン大学 (2011.2.3)
- * タマサート大学 (2012.4.5)
- * チェンマイ大学 (2012.4.10)
- * キングモンクット工科大学トンブリ校 (2012.11.26)
- * 泰日工業大学 (2014.8.19)

ベトナム

- * ベトナム国立大学ハノイ校 (2009.7.6)
- * 貿易大学 (2013.8.15)
- * ホーチミン市工科大学 (2014.10.14)
- * チュイロイ大学 (2019.2.23)

<中東>

イラン

- * テヘラン大学 (1999.8.25)

トルコ

- * イスタンブール工科大学 (2011.10.3)
- * エーゲ大学 (2017.7.13)

<アフリカ>

モロッコ

- * ムハンマド5世大学 - ラバト (2001.4.30)

南アフリカ

- * クワズルー・ナタール大学 (2010.12.20)
- * ヨハネスブルグ大学 (2016.8.19)
- アフリカ数理科学研究所 (2019.8.27)

<オセアニア>

オーストラリア

- * シドニー大学 (1993.1.8)
- * ニューサウスウェールズ大学 (2001.4.7)
- * オーストラリア国立大学 (2002.7.16)
- * メルボルン大学 (2014.11.7)
- * マッコリー大学 (2017.7.13)
- オーストラリア原子力科学技術機構 (ANSTO) (2020.4.8)

ニュージーランド

- オークランド大学 (2002.11.15)
- ヴィクトリア大学ウェリントン (2019.9.25)

<北米>

カナダ

- * ウォーターloo大学 (2006.10.30)
- * オタワ大学 (2009.6.26)
- * クイーンズ大学 (2016.8.24)
- * プリティッシュ・コロンビア大学 (2018.8.17)

アメリカ

- * ペンシルベニア州立大学 (1988.11.29)
- * カリフォルニア大学 (1990.3.15)
- パークレー校
- デービス校
- アーヴィン校
- ロサンゼルス校
- マーセド校
- リバーサイド校

2020年5月1日現在

- サンディエゴ校
サンフランシスコ校
サンタバーバラ校
サンタクルス校
- * ワシントン大学 (シアトル) (1996.7.3)
 - * バーデュー大学 (1997.9.23)
 - * アラスカ大学 (1999.1.12)
 - * コロラド鉱山大学 (2004.1.7)
 - * シラキウス大学 (2008.11.19)
 - * 国際教育協会 (2009.1.27)
 - * テンプル大学 (2010.6.7)
 - ハーバード大学 (2010.7.22)
 - * テキサス A&M 大学 (2011.9.13)
 - * ハワイ大学マノア校 (2012.3.11)
 - 保健社会福祉省国立衛生研究所 (2013.5.9)
 - * ニューヨーク州立大学オールバニー校 (2014.5.1)
 - * ノースカロライナ大学シャーロット校 (2014.12.25)
 - * ケースウェスタンリザーブ大学 (2015.7.29)
 - * ミシガン州立大学 (2015.9.25)
 - * メリーランド大学カレッジパーク校 (2016.2.22)
 - * モンタナ大学 (2016.9.22)
 - ライス大学 (2017.7.21)
 - * デンバー大学 (2017.10.17)
 - * ベイラー大学 (2018.2.26)
 - * ジョージア工科大学 (2018.3.16)
 - * ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校 (2019.2.8)
 - * オレゴン大学 (2019.4.16)
 - アルゴンヌ国立研究所 APS (2020.2.28)
 - ローレンス・バークレー国立研究所 Advanced Light Source (2020.4.20)

<中南米>

ベネズエラ

- * シモン・ボリバル大学 (2008.1.8)

<ヨーロッパ>

オーストリア

- * Ge4 - Global Education: Exchanges for Engineers and Entrepreneurs (2002.11.14)
- * ウィーン大学 (2010.2.24)

ベルギー

- ベルギー原子力エネルギー研究センター (2005.6.16)

チェコ

- * チェコ工科大学プラハ校 (2016.5.9)

フィンランド

- * アアルト大学 (2001.11.5)
- * オウル大学 (2004.8.9)
- * タンペレ大学 (2006.1.31)
- * トゥルク大学 (2016.11.29)

フランス

- * ソルボンヌ大学 (1999.8.19)
- * レンヌ第2大学 (1999.12.3)
- * グルノーブル・アルプ大学連合 (2000.3.31)
- * ストラスブール大学 (2000.3.31)
- * レンヌ第1大学 (2000.12.20)
- * 国立応用科学院リヨン校 (2004.7.13)
- * ボルドー大学 (2005.7.28)
- * 国立中央理工科学校 (2006.2.13)
- リール校
- リヨン校
- マルセイユ校
- ナント校
- セントラルスピレック
- * アルピ鉱山大学 (2006.9.12)
- * リヨン政治学院 (2008.6.6)
- * リヨン高等師範学校 (2008.8.11)
- * リヨン第2大学 (2009.10.20)
- * コンピエンヌ工科大学 (2010.3.15)
- * サンティエヌ国立高等鉱山学校 (2012.4.5)
- * ボルドー工科大学 (2013.7.5)
- リヨン大学 (2013.9.9)
- * 国立東洋言語文化研究大学 (INALCO) (2017.1.31)
- * バリ第7大学 (2017.9.21)
- * ローレンヌ大学 (2018.2.26)
- 放射光施設ソレイユ (2018.6.27)
- 欧州シンクロトロン放射光研究所 (2019.8.22)

ドイツ

- * アーヘン工科大学 (1998.5.19)
- * ドルトムント工科大学 (1999.3.2)
- * ザールラント大学 (1999.10.5)
- * ダルムシュタット工科大学 (2003.4.30)

- * ゲッティンゲン大学 (2003.10.23)
- * ドレスデン工科大学 (2006.6.26)
- * ベルリン工科大学 (2009.8.26)
- * ミュンヘン工科大学 (2010.8.3)
- * カールスルーエ工科大学 (2011.1.18)
- * カイザーラウテルン工科大学 (2012.2.1)
- * ハイデルベルク大学 (2012.2.2)
- * ヨハネスグーテンベルク大学マインツ (2012.2.6)
- ドイツ航空宇宙センター (2013.3.1)
- * パタゴニア大学 (2013.8.21)
- * ケムニッツ工科大学 (2013.10.31)
- * レーゲンスブルク大学 (2017.3.16)
- * オルデンブルク大学 (2017.7.13)
- * ウルム大学 (2019.10.11)

イタリア

- ローマ大学「ラ・サピエンツァ」 (1990.9.27)
- * フィレンツェ大学 (2009.8.21)
- * トリノ工科大学 (2010.11.24)
- * ナポリ大学 (2012.3.28)
- * ミラノ工科大学 (2013.5.14)
- * ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学 (2018.3.14)
- * サクロ・クオーレ・カトリック大学 (2019.5.6)
- トリエステシンクロトロン放射光施設 Elettra (2019.8.1)

オランダ

- * グローニンゲン大学 (2011.11.17)
- * トゥエンテ大学 (2015.8.21)
- * デルフト工科大学 (2016.1.11)
- * ラドバウド大学 (2019.5.6)

ポルトガル

- * リスボン新大学 (2017.9.18)

ロシア

- * ロシア科学アカデミー・シベリア支部 (1992.8.10)
- * モスクワ国立大学 (1998.2.19)
- * ノボシビルスク国立大学 (2003.7.4)
- ロシア科学アカデミー・極東支部 (2012.1.23)
- * 極東連邦大学 (2012.3.19)
- * ロシア国立高等経済学院 (HSE) (2014.9.30)
- * サンクトペテルブルク国立総合大学 (2014.10.1)
- * サンクトペテルブルク電気工科大学 (2019.11.22)

スペイン

- * グラナダ大学 (2012.9.27)
- * バリャドリッド大学 (2014.6.11)
- マドリッド・コンプルテンセ大学 (2017.12.28)
- * サラマンカ大学 (2018.5.20)
- * セビリア大学 (2019.8.5)

スウェーデン

- * ウーメオ大学 (1997.8.18)
- * 王立工科大学 (2000.9.20)
- * ウプサラ大学 (2002.3.20)
- * ストックホルム大学 (2003.1.14)
- * チャルマース工科大学 (2006.4.19)
- ルンド大学 MAXIV 研究所 (2019.8.15)

スイス

- * スイス連邦工科大学ローザンヌ校 (2000.11.20)
- スイス連邦工科大学チューリッヒ校 (2010.7.21)
- * ジュネーブ大学 (2015.10.20)
- * チューリッヒ大学 (2019.8.15)

ウクライナ

- * ウクライナ国立工業大学 (キエフ工科大学) (2004.6.2)

イギリス

- ロンドン大学 "The School of Oriental and African Studies" (1989.4.10)
- ノッティンガム大学 (2001.5.15)
- * ヨーク大学 (2004.6.7)
- * シェフィールド大学 (2009.8.21)
- ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (2013.11.21)
- * イーストアングリア大学 (2018.12.14)

<国際機関>

国際機関

- ITER 国際核融合エネルギー機構 (2013.12.24)
- 国連大学環境・人間の安全保障研究所 (2017.10.17)
- 国連大学サステイナビリティ高等研究所 (2018.3.8)

注1) *印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。
注2) 協定機関名の後の括弧は協定締結年月日。

学術交流協定締結等

部局間協定

64ヶ国・地域 478機関

注1) *印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。
注2) 相手機関の部局等が示されていない場合は、相手機関全体と本学部局との間に締結された協定を示す。

エリア	国・地域	機関	部局	締結年月日	
アジア	バングラディシュ (2)	ダッカ大学	会計・情報システム学部 生物科学部	* 経済学研究科 農学研究科	2015/04/24 2014/04/27
	中国 (81)	北京医院		医学系研究科	1994/11/16
		北京理工大学	情報・電子学部	* 工学研究科	2019/08/08
		北京師範大学	教育学部	* 教育学研究科	2013/05/08
		首都師範大学	歴史学院	* 文学研究科	2019/05/29
		中国医科大学		医学系研究科	1982/09/29
		中国鉱業大学	メカトロニクス工学部	* 工学研究科	2019/10/09
		中国石油(東中国)大学	機械及び電子工学部	* 工学研究科	2019/02/27
		中国政法大学	商学院	* 経済学研究科	2015/06/10
			政治学・公共管理学院	* 経済学研究科	2015/05/15
			長春光学精密機械物理研究所	多元物質科学研究所	2000/12/26
		中国科学院	化学研究所	* 工学研究科	2006/11/06
			物理研究所	流体科学研究所	2001/05/21
			半導体研究所	電気通信研究所	2007/04/12
		中国社会科学院	法学研究所	法学研究科	2003/07/03
		重慶理工大学	車両工学部	* 流体科学研究所	2012/07/09
		大連市口腔医院		歯学研究科	2013/04/01
		大連理工大学	研究生院	* 工学研究科	2000/06/12
		東北財経大学	会計学院	* 経済学研究科	2005/05/01
			教育学部	* 教育学研究科	2013/11/29
		華東師範大学	心理と認知科学学院	* 教育学研究科	2013/11/29
		華東理工大学	機械・動力工学部	* 工学研究科	2010/07/25
		復旦大学	歴史学系	* 文学研究科	2019/08/01
		福建医科大学	口腔医学院	* 歯学研究科	2013/04/01
		広東省民族宗教研究院		東北アジア研究センター	2001/06/25
		貴州大学	管理学院	* 経済学研究科	2015/06/30
		杭州師範大学	教育科学学院	* 教育学研究科	2013/03/29
				* 工学研究科	1996/08/03
		ハルビン工業大学	計算機科学・技術学院	情報科学研究科	2010/07/05
		ハルビン医科大学		* 医学系研究科	2000/06/21
		河北師範大学	商学院	* 経済学研究科	2016/01/11
		華僑大学	材料科学工程学院	多元物質科学研究所	2001/06/05
		湖南大学	金融学院	* 経済学研究科	2009/04/26
		内蒙古師範大学	蒙古学学院	東北アジア研究センター	2008/04/01
		旅游学院	東北アジア研究センター	2011/09/28	
	内蒙古大学	蒙古学学院	東北アジア研究センター	2008/09/22	
	江南大学 Junyuan 学院		* 工学研究科	2016/03/10	
	遼寧省腫瘤病院・遼寧省腫瘤研究所		加齢医学研究所	1998/12/07	
	中央民族大学	蒙古語言文学系	東北アジア研究センター	2014/02/25	
	南京監査大学	監査会計学院	* 経済学研究科	2015/04/15	
	南京師範大学	教育科学学院	* 教育学研究科	2010/11/25	
		心理学院	* 教育学研究科	2013/11/27	
		経済社会発展研究院	* 国際文化研究科	2017/06/30	
	南開大学		* 文学研究科	2015/12/16	
		外国語学院	* 国際文化研究科	2015/12/16	
		日本研究院	* 文学研究科	2016/02/25	
	東北師範大学	教育学部	* 教育学研究科	2014/11/14	
		MBA 教育センター会計専門職大学院	* 経済学研究科	2015/09/29	
		商学院	* 経済学研究科	2015/03/17	
	東北大学		工学研究科	1981/11/23	
	北京大学	ナノ科学技術研究センター	多元物質科学研究所	1998/11/05	
		日本研究センター	教育学研究科	1999/05/18	
	青島科技大学	環境及び安全工学部	* 工学研究科	2017/02/24	
	中国人民大学	商学院	* 経済学研究科	2004/10/14	
	山東大学	外国語学院	* 文学研究科	2018/10/25	
	上海交通大学	口腔医学院	* 歯学研究科	2016/05/12	
		環境科学系と工程学院	* 環境科学研究科	2013/11/12	
商学院		* 経済学研究科	2015/08/14		
四川大学	经济学院	* 経済学研究科	2015/09/08		
	公共管理学院	* 経済学研究科	2015/09/06		
	華西薬学院	薬学研究科	2010/02/17		
	華西口腔医学院	歯学研究科	2006/09/28		
蘇州大学	薬学部	* 薬学研究科	2014/12/22		
華南理工大学	電子・情報学院 建築学院 機械・自動車工程学院	* 工学研究科	2016/07/07		
東南大学	経済管理学院	* 経済学研究科	2010/07/27		
西南交通大学	公共管理学院	* 経済学研究科	2015/04/16		
西南大学	材料・エネルギー学部	多元物質科学研究所	2017/03/22		
西南政法大学		* 法学研究科	2016/06/07		
中山大学	光華口腔医学院	* 歯学研究科	2018/03/12		
	歯学部	* 歯学研究科	2015/11/16		
	工学部	* 工学研究科	2019/08/19		
	LI KA SHING 医学部	* 医学系研究科	2013/11/01		
天津医科大学	口腔医学院	* 歯学研究科	2010/07/08		
天津医科大学および TEDA 国際心血管病院		* 医学系研究科	2015/05/05		
電子科技大学		* 工学研究科	2009/06/22		
		* 文学研究科	2015/03/19		
武漢大学	哲学院	* 経済学研究科	2018/05/31		
	口腔医学院	* 歯学研究科	2018/12/21		
西安外国語大学	日本文化経済学院	* 文学研究科	2017/05/10		
西安建築科技大学	環境・市政工程学院	* 環境科学研究科	2013/12/19		
西安電子科技大学		* 工学研究科	1999/08/12		
鄭州大学	材料工程学院	多元物質科学研究所	2003/06/16		
カンボジア (1)	国立公衆衛生研究所	医学系研究科	2019/09/06		
インド (4)	インド科学教育研究大学ホール校	* 工学研究科	2019/04/05		
	インド工科大学マトラス校	* 工学研究科	2013/12/16		
	ブネ国立化学研究所	工学研究科	1999/04/28		
インドネシア (21)	ボックカリカラ・サンガ・デンタルカレッジ		* 歯学研究科	2014/07/01	
	アチェ津波博物館		災害科学国際研究所	2016/11/22	
	アイルランガ大学	歯学部	* 歯学研究科	2015/02/16	
	アルハイラト大学医学部およびアナスタブラ病院		* 医学系研究科	2017/07/05	
		農学部	環境科学研究科	2014/06/11	
	ガジャマダ大学	文化研究学部	* 文学研究科	2016/02/10	
		大学院	* 文学研究科	2016/06/30	
	国立ガネーシャ教育大学		経済学研究科	2019/03/26	

2020年5月1日現在

エリア	国・地域	機関	部局	締結年月日		
		ハサヌディン大学	農学部	* 農学研究科	2015/03/16	
		インドネシア科学院		* 工学研究科	2006/03/14	
				* 工学研究科	2000/03/24	
		パボン工科大学		環境科学研究科	2008/01/17	
		シャリフ・ヒターヤットウラ国立イスラム大学 (UIN)	ジャカルタ医療・健康科学学部	* 医学系研究科	2016/09/29	
		パジャジャラン大学	数学・自然科学部	* 工学研究科	2011/01/31	
		セブル・ノーベンバー工科大学		* 工学研究科	2006/12/21	
		シャクアラ大学	数理学部	災害科学国際研究所	2014/06/01	
			津波災害軽減研究センター	災害科学国際研究所	2016/11/22	
		ジェンベル大学	歯学部	* 歯学研究科	2017/06/15	
		国立インドネシア教育大学	教育学部・大学院研究科	* 教育学研究科	2017/03/10	
		北スマトラ大学	歯学部	* 歯学研究科	2018/10/22	
		プラウジャヤ大学	数学・自然科学部	* 理学研究科	2013/11/17	
		マタラム大学		* 工学研究科	2016/08/16	
		マレーシア (2)	モナシユ大学サンウエイ校		理工学研究科	2014/01/06
			マレーシア工科大学	土木工学研究科	環境科学研究科	2015/12/21
		モンゴル (4)	マンダフバートル大学		* 経済学研究科	2015/04/16
モンゴル医学アカデミー			* 医学系研究科	2010/03/24		
モンゴル国立医療科学大学	歯学部		* 歯学研究科	2015/01/05		
	モンゴル科学技術大学	ジオサイエンスセンター	東北アジア研究センター	2000/10/02		
ネパール (1)	トリバン大学	医学部	災害科学国際研究所	2016/11/01		
	アンハラス大学		災害科学国際研究所	2014/11/03		
フィリピン (4)	ミンダナオ州立大学イリガン工学校		* 工学研究科	1999/09/09		
	国立熱帯医学研究所		医学系研究科	2013/01/25		
	フィリピン大学マニラ校		災害科学国際研究所	2014/06/20		
シンガポール (5)	ナンヤン工科大学	工学部	* 工学研究科	2010/10/12		
		機械・航空宇宙工学部	流体科学研究科	2000/04/14		
	国立シンガポール歯学研究科		* 歯学研究科	2020/04/02		
	シンガポールスピントロニクスコンソーシアム		スピントロニクス学術連携研究教育センター	2017/03/27		
	デマセック・ポリテクニク		加齢医学研究所	2013/07/15		
韓国 (34)	全南大学校	工科大学	* 工学研究科	2007/11/12		
		歯医学専門大学院	歯学研究科	1991/08/30		
	忠北大学校	薬学大学	薬学研究科	1998/11/23		
	忠南大学校	工科大学	* 工学研究科	2000/07/20		
	韓国ロボット集中研究所	災害口ボテイクスセンター	タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター	2019/06/17		
	東国大学校	文科大学	* 文学研究科	2012/07/04		
	翰林大学校	日本学研究所	文学研究科	2018/12/15		
	韓南大学校	ハイブリッド材料研究所	多元物質科学研究所	2003/01/17		
	漢陽大学校工科大学及び大学院漢陽大学校	工学部および大学院	* 工学研究科	2007/01/09		
	漢陽大学校	理工学部	* 流体科学研究科	2012/04/03		
	済州大学校	農科大学	農学研究科	1984/08/07		
		大学院				
		工学部	* 工学研究科	2010/07/22		
		建築学部				
		情報通信学部				
		生命環境科学部				
	国民大学校	社会科学部	* 法学研究科	2004/07/22		
	韓国科学技術院	電子部品・材料設計人力教育センター	金属材料研究所	2000/05/11		
	韓国原子力研究所		金属材料研究所	2018/11/14		
	韓国科学技術研究院 (KIST)		金属材料研究所	1989/11/15		
	韓国国立海洋大学校	工科大学	金属材料研究所	2009/04/15		
	韓国樞地研究所		理学研究科	2017/12/11		
	高麗大学校日本研究センター		東北アジア研究センター	2008/04/25		
	高麗大学校		東北アジア研究センター	2008/04/25		
	韓国原子力医学院	中国学研究所	放射線医学研究所	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	2017/12/18	
	金鳥工科大学校		* 工学研究科	2015/04/27		
	慶熙大学校	歯科大学	* 歯学研究科	2019/12/12		
	明知大学校	社会教育大学院	教育学研究科	2000/03/17		
	釜慶大学校		* 工学研究科	1995/02/13		
	釜山大学校	素材技術研究所	金属材料研究所	1996/10/28		
	ソウル大学校	師範大学	* 教育学研究科	2014/03/28		
		機械・航空宇宙工学部	流体科学研究科	2013/06/20		
	順天大学校	農業生命科学大学	生命科学研究所	2002/08/07		
	成均館大学校	情報通信用新機能性素材及び工程研究センター	多元物質科学研究所	2003/06/09		
	又松大学校	保健福祉大学	* 教育学研究科	2010/04/23		
	延世大学校	歯科大学	* 歯学研究科	2016/09/08		
		工科大学	* 工学研究科	1999/08/24		
	スリランカ (1)	スリジャヤワルダナプラ大学	公共管理学部	* 経済学研究科	2017/02/16	
			中国文哲研究所	文学研究科	2004/09/24	
	台湾 (42)	中央研究院	地球科学研究所	理学研究科	2008/12/04	
			歴史語言研究所	文学研究科	2003/08/05	
			物理研究所	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	2008/02/27	
		社会学研究所	文学研究科	2013/04/15		
長庚大学		工学部	* 流体科学研究科	2011/07/20		
		健康加齢研究所	加齢医学研究所	2018/12/18		
天主教輔仁大学		外語学院	* 文学研究科	2008/12/24		
		情報通信研究所	電気通信研究機構	2013/11/22		
工業技術研究院		南分院	工学研究科	2010/01/25		
			多元物質科学研究所	2009/11/27		
開南大学		資訊学院	* 情報科学研究科	2009/05/05		
高雄医学大学		口腔医学院	* 歯学研究科	2018/03/29		
国立高雄大学		人文社会科学院	* 文学研究科	2012/04/01		
財団法人金属工業研究発展センター			金属材料研究所	2015/12/18		
国立応用研究所		ナノデバイス研究所	流体科学研究科	2004/07/21		
国立彰化師範大学		管理学院	* 経済学研究科	2018/03/05		
		教育学院	* 教育学研究科	2012/09/03		
国立政治大学		社会科学院	* 経済学研究科	2010/06/10		
国立成功大学		歯学部	* 歯学研究科	2020/02/10		
国立暨南国際大学			* 情報科学研究科	2015/02/26		
国立中正大学		高齢社会創造研究センター	加齢医学研究所	2019/07/08		
国立東華大学		管理学院	* 経済学研究科	2015/07/13		
国立中山大学		文学院中国文学系	* 文学研究科	1999/04/03		
		法律学院	* 法学研究科	2017/07/03		
国立台北大学		公共政策学院	* 情報科学研究科	2008/09/05		
		商学院	* 経済学研究科	2010/07/26		
			* 理学研究科	2015/05/02		
国立台北科技大学		工程学院	多元物質科学研究所	2018/04/23		
国立台東大学		師範学院	* 教育学研究科	2008/12/05		
国立台湾師範大学		教育学院	* 教育学研究科	2011/03/04		

学術交流協定締結等

部局間協定

注1) *印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。
 注2) 相手機関の部局等が示されていない場合は、相手機関全体と本学部局との間に締結された協定を示す。

エリア	国・地域	機関	部局	締結年月日	
台湾 (42)	台湾 (42)	国立台湾大学	人工知能・先端ロボットセンター 気象災害研究センター 社会科学院 歯学部	電気通信研究所 災害科学国際研究所 経済学研究所 歯学研究科	2018/07/31 2015/03/17 2015/03/23 2016/10/07
		国立陽明大学	歯学部	歯学研究科	2016/10/07
		東呉大学	商学院 医学科	経済学研究所 医学系研究科	2007/09/27 2013/05/27
		台北医学大学	口腔医学院 薬学部 栄養学部	歯学研究科 薬学研究科 農学研究科	2017/04/15 2013/11/15 2006/04/28
		台湾法官学院		法学研究科	2019/05/16
		淡江大学	工学部	工学研究科	2015/12/10
		UNESCO バンコク事務所		教育学研究科	2020/03/27
		チェンマイ大学	歯学部 理学部 理学部 プラスマビーム物理研究施設	歯学研究科 多元物質科学研究所 電子光理学研究センター	2019/01/11 2008/06/09 2016/12/06
		チュロンコン大学	医療学部 歯学部 心理学部	医学系研究科 歯学研究科 文学研究科	2018/01/23 2014/12/09 2019/06/21
		カセサート大学	工学部	工学研究科	2013/11/11
				環境科学研究所	2017/02/24
		コンケン大学	歯学部 管理科学学部 公衆衛生学部	歯学研究科 経済学研究所 工学研究科	2015/02/19 2010/08/02 2019/01/09
		マビドン大学	医学部 Ramathibodi 病院	医学系研究科	2013/11/01
		タイ国立開発行政大学院大学	言語及びコミュニケーション研究科	国際文化研究科	2019/03/04
		プリンス・オブ・ソクラー大学	歯学部 工学部	歯学研究科 工学研究科	2015/01/05 2001/01/16
サイアム大学	教養学部	文学研究科	2016/02/24		
泰日工業大学		経済学研究所 医学系研究科	2007/10/23 2018/04/03		
タマサート大学	医学部 シリントーン国際工学部	医学系研究科 工学研究科	2008/01/21 2015/12/22		
ベトナム (7)	ベトナム (7)	賢陽大学	国際経済学部	経済学研究所	2010/01/14
		ハノイ工科大学		工学研究科	2009/03/27
		チュイロイ大学		工学研究科	2007/01/30
		ベトナム国家大学ホーチミン市・理科大学		工学研究科	2009/07/20
		ベトナム科学技術アカデミー	大学院大学 材料科学研究所	工学研究科 工学研究科	2017/05/12 2008/02/14
		ベトナム原子力研究所		工学研究科	2017/11/16
中東	イラン (1) クウェート (1)	シラス大学	工学部	工学研究科	2002/03/01
		クウェート科学研究所		多元物質科学研究所	2013/02/18
アフリカ	アラブ首長国連邦 (1) エジプト (2)	アレクサンドリア大学	薬学・健康科学学部 スーハ救急救命病院	加齢医学研究所 流体科学研究所	2016/07/10 2017/11/30
		エジプト日本科学技術大学		工学研究科	2013/05/12
ケニア (1) ナイジェリア (1) 南アフリカ (2)	ケニア (1) ナイジェリア (1) 南アフリカ (2)	KCA 大学	経営・公共管理大学院	経済学研究所	2015/05/05
		ナイジェリア大学 (ヌスカ)	物理学部	理学研究科	2016/02/26
		ローズ大学	理学部	理学研究科	2013/09/16
		ウィットウォーターズランド大学		理学研究科	2017/04/19
ザンビア (1) オセアニア	ザンビア (1) オーストラリア (4)	ザンビア大学	医学部	医学系研究科	2019/10/16
		グリフィス大学	医学部	医学系研究科	2015/07/02
		マッコリー大学	オーストラリアン・スクール・オブ・アドバンスト・メディシン	工学研究科 加齢医学研究所	2015/06/17 2014/04/15
		シドニー大学		加齢医学研究所	2017/02/14
		ニュージーランド地質・核科学研究所		理学研究科 災害科学国際研究所	2008/03/19 2014/09/01
北米	カナダ (9)	マッセー大学		理学研究科	2020/03/10
		コンコルディア大学エドモントン		医学系研究科	2016/02/08
		マギル大学	金属プロセス研究センター モントリオール神経研究所	多元物質科学研究所 加齢医学研究所	1998/11/30 2010/06/08
		モントリオール理工科大学		工学研究科	2017/10/12
		プリティッシュ・コロンビア大学	歯学部	歯学研究科	2001/04/23
			金属・材料科学科	多元物質科学研究所	1998/12/01
		トロント大学	応用理工学部 航空宇宙研究所	工学研究科 流体科学研究所	2016/09/07 1994/06/20
			工学部	情報科学研究所	2009/12/21
		ビクトリア大学	工学部	理学研究科	2008/12/01
		カーネギー研究機構	地球物理学研究所	理学研究科	2010/12/13
		ニューヨーク市立大学シティカレッジ	工学部	工学研究科	2010/12/13
		コロンビア大学	化学科	多元物質科学研究所	1995/11/22
		理工学部地球・環境工学科		多元物質科学研究所	1998/10/15
		フォーサイス研究所		歯学研究科	2005/12/09
		ハーバード大学	ライシャワー日本研究所	災害科学国際研究所 工学研究科	2014/06/13 2015/01/09
		金属材料研究所 電気通信研究所	2015/01/09 2015/01/09		
		多元物質科学研究所	2015/01/09		
		工学部	流体科学研究所	2013/09/19	
		文学部 (学部) 文学部 (大学院)	文学部 文学研究科	2016/08/01 2017/08/01	
		ポートランド州立大学	経済学研究所	2014/12/09	
		ラトガース大学	ワイヤレスネットワーク研究所 (WINLAB)	電気通信研究所	2009/12/09
		ニューヨーク州立大学オールバニー校		経済学研究所	2012/08/06
		シラキュース大学	工学部	流体科学研究所	2001/06/15
		テキサス A&M 大学	科学部 農学・生命科学部	農学研究科	2018/02/06
		カリフォルニア大学デービス校	農環境科学部	農学研究科	2019/10/17
		カリフォルニア大学ロサンゼルス校	純粋応用数学研究所	材料科学高等研究所	2012/08/02
		カリフォルニア大学リバーサイド校	ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング	工学研究科	2017/03/22
		ハワイ大学マノア校	社会科学部	経済学研究所	2017/03/27
		イリノイ大学	工学部・バイオアクステイクス研究所	工学研究科 加齢医学研究所	1988/08/29 1988/08/29
		イリノイ大学シカゴ校		理学研究科	2000/05/01
		イリノイ大学アーバナ・シャンペン校	工学部電気・コンピューター工学科	医学研究科 医工学研究科	2013/07/29 2008/11/17
		ケンタッキー大学	工学部	流体科学研究所	2008/11/17
		ユタ大学金属	工学科	多元物質科学研究所	1998/11/15
		ワイオミング大学		工学研究科	2016/12/01
		ウェイン州立大学	工学部	工学研究科	2005/06/22
			医学部	医学系研究科	2019/11/07

2020年5月1日現在

エリア	国・地域	機関	部局	締結年月日	
中南米	アルゼンチン (1)	アルゼンチン国立乳酸菌研究所 (CERELA-CONICET)	* 農学研究科	2016/10/17	
	ブラジル (1)	リオ・グランジド・スル州立大学	法学部 法学修士課程	2002/09/02	
	チリ (2)	アタカマ大学	* 工学研究科	2006/03/22	
	コンセプシオン大学	* 工学研究科	2009/04/07		
ヨーロッパ	キューバ (1)	キューバ・ニューロサイエンス・センター	加齢医学研究所	2008/03/11	
	エルサルバドル (1)	エルサルバドル大学	工学・建築学部	2019/11/18	
	メキシコ (1)	メキシコ国立工科大学	工学研究科	2000/03/30	
	ペルー (1)	ペルー国立工科大学	日本・ペルー地震防災センター	2018/03/20	
	オーストリア (1)	インスブルック・マネジメントセンター	* 経済学研究科	2019/01/25	
	ベラルーシ (1)	ベラルーシ国立科学アカデミー	ルイコフ熟物質輸送研究所	2016/02/05	
	ベルギー (7)	ヘント大学	文哲学部	* 文学研究科	2014/12/16
	ルーヴェン・カンリク大学	医学部およびバイオメディカルサイエンスグループ	医学系研究科	2017/10/23	
	ルーヴェン・カンリク大学	工学科学学部	生命科学研究科	2017/10/23	
	ルーバンカトリック大学	理学研究科	* 工学研究科	2015/04/30	
	ルーバンカトリック大学	理学研究科	* 理学研究科	2007/08/29	
	ブリュッセル自由大学	工学部	* 工学研究科	2016/10/12	
	ブリュッセル自由大学	ラ・カンブル=オルタ建築学部	* 工学研究科	2010/09/02	
	クロアチア (1)	ブーラ大学	* 文学研究科	2016/04/01	
	チェコ (6)	チェコ科学アカデミー	プラズマ物理研究所 物理研究所	流体科学研究科 金属材料研究所	2000/01/25 2017/03/24
	マサリク大学	医学部	加齢医学研究所	2008/05/28	
	マサリク大学	理学部	生命科学研究科	2002/10/22	
	VSB - オストラバ工科大学	* 工学研究科	1997/11/10		
	デンマーク (4)	オールボー大学	通信基盤研究センター	* 工学研究科	2010/11/26
	デンマーク工科大学	* 工学研究科	2000/04/13		
コペンハーゲン大学	ヘルシーエイジング研究センター 経済学部	加齢医学研究所 経済学研究科	2012/09/26 2014/06/12		
エストニア (1)	タリン工科大学	経済経営学院	* 経済学研究科	2015/05/27	
フィンランド (6)	アアルト大学	美術・デザイン・建築学部	* 工学研究科	2018/03/05	
トウルク応用科学大学	ビジネス・ICT・化学工学部	* 医工学研究科	2017/12/06		
トウルク応用科学大学	工学・ビジネス学部	* 工学研究科	2010/02/22		
東フィンランド大学	健康科学部薬学校	* 薬学研究科	2016/07/13		
オウル大学	歯学部	歯学研究科	2007/04/13		
トウルク大学	社会科学部	* 文学研究科	2011/11/01		
フランス (22)	アルピニエ大学		多元物質科学研究所	1999/10/04	
オパール海岸大学オパール海岸工学校	* 工学研究科	2017/02/14			
国立高等レンヌ化学学校	* 理学研究科	2016/01/04			
国立高等電子応用大学院	* 工学研究科	2016/09/19			
国立高等産業・企業情報科学大学	* 工学研究科	2013/05/29			
国立応用科学院トゥールーズ校	* 工学研究科	2006/06/13			
トゥールーズ国立理工科大学	* 工学研究科	2015/12/09			
航空宇宙高等学院	* 工学研究科	2013/12/18			
国立モンペリエ高等建築大学	* 工学研究科	2007/07/12			
国立科学研究所	マルセイユ・ナノサイエンス学際センター	電気通信研究所	2005/10/24		
オレンジ	電気通信研究機構	2013/01/09			
放射光施設ソレイユ	多元物質科学研究所	2013/06/27			
国立パリ高等情報通信大学	電気通信研究所	2017/10/25			
リヨン第一大学	* 理学研究科	2011/09/09			
リヨン第一大学	* 工学研究科	2016/04/25			
材料物理化学研究所	金属材料研究所	1999/11/25			
モンペリエ大学	* 工学研究科	2017/09/26			
ナント大学	材料研究所	多元物質科学研究所	2014/12/08		
ルーアン・ノルマンディー大学	理工学部	* 薬学研究科	2016/09/19		
トロイ工科大学	* 工学研究科	2008/06/13			
パリ第1大学 (バンテオン・ソルボンヌ)	* 法学研究科	2018/05/03			
ベルサイユ大学	* 工学研究科	2011/03/09			
ドイツ (30)	ドイツ航空宇宙センター	リモートセンシングデータセンター 航空工学科	災害科学国際研究所 工学研究科	2012/05/23 2016/10/17	
アーヘン応用科学大学	ナノ・バイオテクノロジー研究所	* 医工学研究科	2019/04/14		
フラウンホーファー研究機構	エレクトロ・ナノシステム研究所	材料科学高等研究所	2011/11/08		
ベルリン自由大学	非破壊検査研究所	流体科学研究科	2012/09/26		
イエナ・フリードリッヒ・シラー大学	物理学科	多元物質科学研究所	1997/11/03		
ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ	固体物理研究所	多元物質科学研究所	1999/07/27		
ヘルムホルツセンター・ベルリン研究所		生命科学研究科	2019/10/30		
アイエイチビー (IHP-Innovations for High Performance Microelectronics)		金属材料研究所	2018/07/02		
結晶成長研究所		電気通信研究所	2001/01/22		
ヨハネスグーテンベルク大学マインツ	物理・数学・計算機科学部	多元物質科学研究所	2006/10/17		
カールスルーエ工科大学	* 理学研究科	2012/05/03			
マックスプランク固体化学物理研究所	* 情報科学研究科	2009/10/26			
マックスプランク微細構造物理学研究所		金属材料研究所	2017/03/10		
マックスプランク核物理研究所		多元物質科学研究所	2009/12/24		
ロイトリンゲン大学	* 経済学研究科	2017/01/10			
ハンブルグ・ハールブルグ工科大学	* 工学研究科	1997/05/15			
ブランシュバイク工科大学	* 工学研究科	2018/01/08			
バイロイト大学	* 理学研究科	2016/02/05			
ボン大学	人文学部	経済学研究科	2013/06/26		
エルランゲン大学	工学部	* 工学研究科	2004/10/05		
フライブルグ大学	マイクロシステム技術研究所	* 工学研究科	1999/06/08		
ゲッティンゲン大学	法学部	法学研究科	2000/11/27		
グライスバール大学	数学自然科学学部薬学研究科	* 薬学研究科	2017/03/16		
ハイデルベルク大学	法学部	法学研究科	2003/09/16		
ヒルデスハイム大学	文化感性コミュニケーション学部	* 文学研究科	2018/03/13		
パダボーン大学	経済学部	* 経済学研究科	2011/01/20		
レーゲンスブルク大学	物理学部	* 工学研究科	2009/09/22		
シュトゥットガルト大学	エネルギー技術・プロセス工学・生物工学部	* 工学研究科	2011/04/26		
ヴッパータール大学	数学自然科学部	* 理学研究科	2012/01/23		
ハンガリー (3)	ゼンメルワイス大学	医学部	* 流体科学研究科	2014/09/04	
ハンガリー科学アカデミー	物理材料技術研究所	流体科学研究科	1999/04/26		
ミュンヘン大学	材料科学工学研究科	多元物質科学研究所	2014/06/19		
アイスランド (1)	レイキャビク大学	計算機科学部	* 情報科学研究科	2010/06/26	
イタリア (19)	ボローニャ大学	教育学部	文学研究科	2015/04/20	
トリエステ放射光研究所		多元物質科学研究所	2007/08/29		
ピサ高等師範学校	エニオ・デジョルジ数学研究センター	* 理学研究科	2013/06/25		
ヴェネツィア大学「カ・フォスカリ」	アジア・アフリカ地中海学部	* 文学研究科	2014/06/05		
フェラーラ大学		* 理学研究科	2012/06/27		
ラケウラ大学	生活衛生環境科学部	* 農学研究科	2004/02/09		

学術交流協定締結等

部局間協定

注1) *印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。
注2) 相手機関の部局等が示されていない場合は、相手機関全体と本学部局との間に締結された協定を示す。

エリア	国・地域	機関	部局	締結年月日		
イタリア (19)	イタリア (19)	ミラノ大学	法学部	法学研究科	2003/06/12	
			薬学部	* 薬学研究科	2003/07/16	
		ナポリ東洋大学		* 文学研究科	2014/07/18	
		パドヴァ大学	文・哲学部	* 文学研究科	2015/08/01	
			建築学部	* 工学研究科	2012/04/05	
			情報工学・情報科学および統計学部	* 工学研究科	2010/07/26	
				* 情報科学研究科	2010/07/28	
		ローマ大学「ラ・サピエンツァ」	文学・哲学学部	* 文学研究科	2010/03/15	
			数学・物理学・自然科学部	* 理学研究科	2017/03/24	
			東洋学部	* 文学研究科	2008/02/28	
		トレント大学	産業工学部	* 工学研究科	2017/10/06	
			情報工学・コンピューターサイエンス学部			
		トリエステ大学	建築工学部	流体科学研究所	2002/06/28	
		トリノ大学	心理学部	加齢医学研究所	2011/07/21	
カザフスタン (1)	燃焼問題研究所	流体科学研究科	2016/04/15			
キルギス (1)	キルギスタン国際大学	国際文化研究科	1998/02/20			
ルクセンブルク (1)	ルクセンブルク大学	科学技術通信学部	* 工学研究科	2017/11/29		
オランダ (10)	アイントホーヘン工科大学		* 情報科学研究科	2016/03/30		
	エラスムス大学	エラスムスメディカルセンター疫学部門	東北メディカル・メガバンク機構	2014/08/11		
		メディカルセンター	* 医学研究科	2010/03/23		
	ライデン大学	人文学部	* 文学研究科	2011/02/15		
	マーストリヒト大学	健康医学生命科学部	* 医学系研究科	2014/05/30		
	ユトレヒト大学カレッジ		* 文学研究科	2018/09/26		
	アムステルダム大学	理学部	* 理学研究科	2013/07/11		
	ユトレヒト大学	Future Food Utrecht	* 農学研究科	2017/01/19		
		動物科学研究科	* 農学研究科	2016/01/28		
	ワーゲニンゲン大学	実験植物科学研究科	* 農学研究科	2016/10/26		
ノルウェー (4)	ノルウェー (4)		* 医学系研究科	2017/04/27		
			* 生命科学研究所	2017/04/28		
	ノルウェー科学技術大学	医学健康科学部				
		自然科学部				
		工学部	* 工学研究科	2017/10/16		
ポーランド (8)	ポーランド (8)	ベルゲン大学	医学部	加齢医学研究所	2017/05/10	
		AGH 科学技術大学		* 工学研究科	2017/06/07	
		ポーランド真空工学研究所		金属材料研究所	2000/06/09	
		ヤゲウォ大学	国際政治学部	* 文学研究科	2015/09/30	
		マリア・キュリー・スクロッドスカ大学	法学部	法学研究科	2003/09/19	
		ポーランド科学アカデミー	物理研究所	金属材料研究所	2000/12/08	
				電気通信研究所	1976/08/03	
	ヴロツワフ工科大学		* 工学研究科	2013/02/27		
			* 流体科学研究科	2014/06/10		
ポルトガル (1)	リスボン大学テクニコ校		* 工学研究科	2017/05/12		
ルーマニア (1)	レーザー・ブラズマ放射物理国立研究所		多元物質科学研究所	2006/08/04		
ロシア (20)	ロシア (20)	ハウマン・モスクワ国立工科大学	フォトニクス・赤外工学研究教育センター無線電子工学・レーザー工学研究所	電気通信研究所	2014/06/26	
		イマニュエル・カント連邦大学	物理工学研究所	* 学際科学フロンティア研究所	2015/01/30	
				流体科学研究所	2018/06/08	
				電気通信研究所	2018/06/08	
		モスクワ国立大学	物理学部	多元物質科学研究所	2018/06/08	
			心理学部	* 文学研究科	2013/10/09	
				* 農学研究科	2015/04/21	
			ロシア科学アカデミー	総合物理学研究所	金属材料研究所	1993/01/27
				固体物理学研究所	多元物質科学研究所	1993/10/01
				レベデフ物理研究所	多元物質科学研究所	2000/07/21
					流体科学研究所	2017/10/15
			ロシア科学アカデミーモスクワ国立大学	地球化学・分析化学研究所	多元物質科学研究所	2013/09/02
				化学部		
			ロシア科学アカデミー極東支部	経済研究所	東北アジア研究センター	2005/09/01
				自動制御プロセス研究所	多元物質科学研究所	2005/12/01
				人文学・北方民族問題研究所	東北アジア研究センター	2009/09/30
			ロシア科学アカデミーシベリア支部	V.N. スカチョフ森林研究所	東北アジア研究センター	2002/10/01
		ソボレフ地質学鉱物学研究所	理学研究科	2008/11/07		
	スモレンスクステートメディカルアカデミー		加齢医学研究所	2003/07/18		
	サンクトペテルブルク電気工科大学		* 電気通信研究所	2016/11/22		
	トムスク工科大学	原子核物理研究所	多元物質科学研究所	1997/12/01		
スロバキア (1)	シリナ大学	電気工学部	* 工学研究科	2017/06/13		
スロベニア (2)	ジョセフ・ステファン研究所		金属材料研究所	2000/10/05		
	リュブリャナ大学	工学系4学部	* 工学研究科	1998/06/03		
スペイン (8)	スペイン (8)	バルセロナ生物医学研究所 (IRB バルセロナ)		* 薬学研究科	2016/08/01	
		マドリッド・アウトノマ大学	化学部	多元物質科学研究所	2013/06/26	
		アリカンテ大学	材料研究所	多元物質科学研究所	2014/02/21	
			バルセロナ産業工学部	* 工学研究科	2016/04/11	
		カタルーニャ工科大学	テラッ産業、航空宇宙、オーディオビジュアル学部	* 工学研究科	2017/07/18	
		カスティージャ・ラ・マンチャ大学		加齢医学研究所	2017/12/19	
			ヒゴ大学	理学部	電気通信研究所	2011/02/25
			農学研究科	1996/11/26		
スウェーデン (5)	スウェーデン (5)	王立工科大学		* 工学研究科	1990/05/22	
		リンショーピン大学	分析社会学研究所	文学研究科	2015/05/07	
			工学部	* 工学研究科	1998/04/02	
		メーラルダーレン大学	イノベーション・デザイン・工学部	* 工学研究科	2016/03/10	
	イエテボリ大学	歯学部	* 歯学研究科	2018/05/25		
スイス (1)	スイス (1)	スイス連邦工科大学ローザンヌ校		工学研究科	1994/07/29	
		ウクライナ (1)	材料科学基礎国立研究所	多元物質科学研究所	2006/09/20	
		イギリス (13)	キングスカレッジロンドンデンタルインスティテュート		歯学研究科	2006/08/01
			科学技術設備会議タースベリ研究所		多元物質科学研究所	1996/10/01
				化学部	材料科学高等研究所	2011/01/18
			ケンブリッジ大学	工学部	* 工学研究科	2016/11/11
				材料科学・金属学部	材料科学高等研究所	2010/01/26
				保健学部	* 医学系研究科	2018/09/24
			イーストアングリア大学	薬学部	* 薬学研究科	2017/11/29
				政治・哲学・言語・コミュニケーション学部	* 法学研究科	2018/06/29
			レスター大学	社会科学部	経済学研究科	2001/02/12
			ロンドン大学	インスティテュート・オブ・エデュケーション	教育学研究科	1999/04/26
			マンチェスター大学	物理工学部機械・航空・土木工学科	* 工学研究科	2007/03/26
	レディング大学	心理学・臨床言語科学学部	加齢医学研究所	2016/09/14		
	ヨーク大学	教育学部	教育学研究科	2005/02/04		
ウズベキスタン (1)	ウズベキスタン (1)	タンケント国立経済大学		国際文化研究科	1998/03/04	
		国際機関 (2)	国連開発計画	災害科学国際研究所	2015/08/04	
		国連大学グローバルヘルス研究所 (UNU-IIGH)		医学系研究科	2019/08/19	

外国人留学生数

外国人留学生数(国・地域別、費用、学籍別)

地域	国・地域	費用別人数						計	学籍別人数													
		国費		私費					学部学生	大学院生				研究生			その他					
		男	女	政府派遣		その他				年	修士・前期2	専門職学位	後期3年	博士(医歯薬)	学部	大学院	研究所等	コース研修生	日本語研修	特別聴講学生	特別研究学生	科目等履修生
				男	女	男	女															
アジア(18カ国・地域) 1,812人 87.1%	インド	14	5			13	6	38	10	11		12	2		1						2	
	インドネシア	44	29	4	3	30	22	132	27	30		60	7	2		3			2	1		
	韓国	15	1	14	3	43	16	92	52	10		27	2							1		
	カンボジア	1				1		2	1	1												
	シンガポール		1			3	1	5	3			2										
	スリランカ	2	2			3		7		2		4	1									
	タイ	14	8			16	11	49	9	11		14	7	1	1				5	1		
	台湾			1		45	24	70	5	21		21	2	2	2	1			9	7		
	中国	30	29	25	18	612	568	1,282	62	621	22	368	69	78	15	12			13	22		
	ネパール	1				1	2	4	2		1	1										
	パキスタン	6	4			2	2	14		4		8	2									
	バングラデシュ	15	6			3	7	31	1	8		20	2									
	フィリピン	4	6	1		2	2	15	1	5		5	3	1								
	ベトナム	10	5			9	11	35	6	16		10		1	1				1			
	マレーシア	3		2	1	6	5	17	6	5		5	1									
	ミャンマー		3				2	5		2		1					1			1		
	モンゴル	3	5			1	4	13	4	2		5	2									
	ラオス	1						1							1							
	中近東(7ヶ国・地域) 28人 1.3%	アラブ首長国連邦			1				1		1											
イラン		1	2			2	4	9	1	1		5			1				1			
クウェート		1						1				1										
サウジアラビア						1		1				1										
シリア		5	1					6	2	2		1	1									
トルコ		1	3			3	1	8		3		4							1			
ヨルダン		1	1					2		1			1									
アフリカ(18カ国・地域) 52人 2.5%	アルジェリア	1	2					3				3										
	エジプト	4				3	1	8	2			4	2									
	エチオピア	1						1				1										
	カメルーン	2					1	3				1	2									
	ガーナ	1				1	1	3		1		2										
	ケニア	1	1					2		1		1										
	コンゴ民主共和国	1						1				1										
	ザンビア	2						2		1		1										
	ジンバブエ		1					1		1												
	スーダン		3			1		4		1		2		1								
	タンザニア	1					1	2				2										
	チュニジア		1					1		1												
	ナイジェリア	4	1			2	3	10		7		3										
	ブルキナファソ	1						1				1										
	ボツワナ		2				1	3		1		2										
	南アフリカ	2						2		1		1										
	モザンビーク	2						2		1		1										
モロッコ	2				1		3	1	1		1											
オセアニア(2カ国・地域) 4人 0.2%	オーストラリア	2						2		1						1						
	フィジー		1			1		2				2										

外国人留学生数

(2020年5月1日現在)

地域	国・地域	費用別人数						計	学籍別人数												
		国費		私費					学部学生	大学院生					研究生			その他			
		男	女	政府派遣		その他				年	修士・前期2	専門職学位	後期3年	博士(医歯薬)	学部	大学院	研究所等	日本語研修 コース研修生	特別聴講学生	特別研究学生	科目等履修生
				男	女	男	女														
北米(2カ国・地域) 21人 1.0%	アメリカ合衆国	4	1			9	4	18	3	2		8						4	1		
	カナダ	2	1					3				2	1								
中南米(17ヶ国・地域) 47人 2.3%	アルゼンチン	2	2					4			2	1					1				
	エクアドル	1						1				1									
	エルサルバドル	1				2		3	1	1		1									
	キューバ		1					1				1									
	グアテマラ		1					1				1									
	コスタリカ					1		1				1									
	コロンビア	2	2					4			3							1			
	チリ	1					1	2				2									
	ハイチ	1						1					1								
	パナマ		1					1			1										
	パラグアイ	3						3			2	1									
	バルバドス	1						1								1					
	ブラジル	10	1			1	1	13	1	6		5	1								
	ベネズエラ	1						1				1									
ペルー	3	1			1		5			1	3	1									
ボリビア		1					1			1											
メキシコ	2	1				1	4				4										
ヨーロッパ(24カ国・地域) 117人 5.6%	アイルランド	1						1			1										
	イギリス	2	1			1		4				2	1		1						
	イタリア	1	1			3	4	9	1			2			1		3	2			
	エストニア	2						2			1	1									
	オーストリア					1	2	3									3				
	オランダ	1				2	3	6			2		1				3				
	ギリシャ					1		1										1			
	クロアチア						2	2									2				
	スイス					1		1									1				
	スウェーデン					3	2	5									1	4			
	スペイン	1				1	3	5				1					4				
	スロバキア					1		1					1								
	スロベニア	1						1			1										
	デンマーク	1				2		3			1	1							1		
	ドイツ	1				9	4	14			2	3						3	6		
	ノルウエー					1		1											1		
	ハンガリー					1	1	2			1							1			
	フィンランド					1		1											1		
	フランス	2	2			25	13	42	1	20		10						5	6		
	ベルギー						1	1												1	
ポーランド	2				1		3	1			1						1				
リトアニア					1		1											1			
ルーマニア	1						1				1										
ロシア		5					2	7			2						1				
合計 (88カ国・地域)	245	149	48	25	870	744	2,081	203	825	23	661	111	89	21	18	5	66	59			

外国人留学生数

外国人留学生数(国・地域別、部局別)

地域	国・地域	在籍者数	部局別在籍者数																										
			文学部・文学研究科	教育学部・教育学研究科	法学部・法学研究科	公共政策大学院	経済学部・経済学研究科	会計大学院	理学部・理学研究科	医学部・医学系研究科	歯学部・歯学研究科	薬学部・薬学研究科	工学部・工学研究科	農学部・農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医学研究科	教育情報学教育部	金属材料研究所	加齢医学研究所	流体力学研究所	電気通信研究所	多元物質科学研究所	東北アジア研究センター	日本語研修コース研修生	サイクロトロン・RIセンター	学務審議会(一)※
アジア (18カ国・地域)	インド	38						9	1	1		17		1	5		2	2											
	インドネシア	132	4					29	2	6		26	18		6	6	27	4			2	1							1
	韓国	92	12	1	3		3	7	2	1		48	10		2	1		2											
	カンボジア	2										2																	
	シンガポール	5			1			1				2	1																
	スリランカ	7						1		1		2				1	1	1											
	タイ	49	4					5	5	5	1	15	2	3	6		1												2
	台湾	70	9	1	4		6	7	3	3		16	3	4	4	2	3	2			1								2
	中国	1282	190	41	39	2	117	20	79	97	30	19	325	66	68	74	32	59	10	1	3		2		7				1
	ネパール	4						1	2				1																
	パキスタン	14					1			3		5				3					2								
	バングラデシュ	31						11	2			5	2		3	2	3	3											
	フィリピン	15								2	1		8	1	1														
	ベトナム	35			6		7	5	1			7	2		2	1	3												1
	マレーシア	17	1				2	1	1			10										2							
	ミャンマー	5										2		2														1	
	モンゴル	13						3	1	2		3			1		3												
ラオス	1										1																		
中近東 (7カ国・地域)	アラブ首長国連邦	1						1																					
	イラン	9						2	1		3		1	1								1							
	クウェート	1																											
	サウジアラビア	1									1																		
	シリア	6							2		3	1																	
	トルコ	8	1				1				3			1	2														
	ヨルダン	2									1	1																	
アフリカ (18カ国・地域)	アルジェリア	3									1	1			1														
	エジプト	8						1	1	1	3				1	1													
	エチオピア	1										1																	
	カメルーン	3								2											1								
	ガーナ	3			1							1	1																
	ケニア	2										2																	
	コンゴ民主共和国	1							1																				
	ザンビア	2														1						1							
	ジンバブエ	1																										1	
	スーダン	4							1		1	1		1														1	
	タンザニア	2							1								1												
	チュニジア	1										1																	
	ナイジェリア	10					1		4	1			1		2	1													
	ブルキナファソ	1													1														
	ボツワナ	3										2										1							
	南アフリカ	2					1		1																				
	モザンビーク	2													1		1												
モロッコ	3					1		1			1																		
オセアニア (2カ国・地域)	オーストラリア	2													1												1		
	フィジー	2									1	1																	

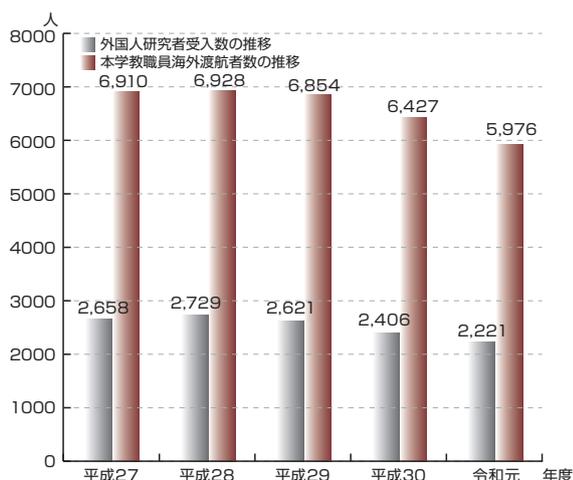
外国人留学生数

(2020年5月1日現在)

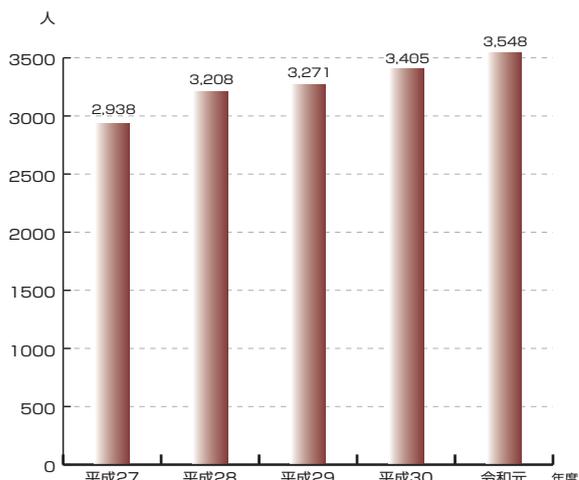
地域	国・地域	在籍者数	部局別在籍者数																										
			文学部・文学研究科	教育学部・教育学研究科	法学部・法学研究科	公共政策大学院	経済学部・経済学研究科	会計大学院	理学部・理学研究科	医学部・医学系研究科	歯学部・歯学研究科	薬学部・薬学研究科	工学部・工学研究科	農学部・農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	教育情報学教育部	金属材料研究所	加齢医学研究所	流体科学研究所	電気通信研究所	多元物質科学研究所	東北アジア研究センター	日本語研修コース研修生	サイクロトン・RIセンター	学務審議会(1)※
北米 (2カ国・地域)	アメリカ合衆国	18						2			9	2	1	2	1														1
	カナダ	3						1			1																		
中南米 (17カ国・地域)	アルゼンチン	4						2			1															1			
	エクアドル	1																1											
	エルサルバドル	3						1									2												
	キューバ	1															1												
	グアテマラ	1															1												
	コスタリカ	1										1																	
	コロンビア	4	1			1		1							1														
	チリ	2										1						1											
	ハイチ	1									1																		
	パナマ	1				1																							
	パラグアイ	3		1		1											1												
	パルバドス	1																								1			
	ブラジル	13	1					2			4	1	4	1															
	ベネズエラ	1		1																									
	ペルー	5							1		4																		
	ポリビア	1															1												
	メキシコ	4		1				1			1				1														
ヨーロッパ (25カ国・地域)	アイルランド	1						1																					
	イギリス	4									3															1			
	イタリア	9	7					1																	1				
	エストニア	2	1								1																		
	オーストリア	3	1																									2	
	オランダ	6	3						2		1																		
	ギリシャ	1									1																		
	クロアチア	2	2																										
	スイス	1	1																										
	スウェーデン	5						1			2				1													1	
	スペイン	5	3									1																1	
	スロバキア	1							1																				
	スロベニア	1			1																								
	デンマーク	3						1									2												
	ドイツ	14	1	1	2	3	1				5				1														
	ノルウェー	1									1																		
	ハンガリー	2	2																										
フィンランド	1														1														
フランス	42	3					5			23	1		7		1												2		
ベルギー	1						1																						
ポーランド	3	1								2																			
リトアニア	1	1																											
ルーマニア	1						1																						
ロシア	7	2						1			1	1				2													
計(88カ国・地域)		2,081	251	43	58	2,146	21	196	134	54	20,579	117	93	129	54	119	27	1	3	2	5		8		5		2	12	

※学務審議会(1)は「学都仙台単位互換ネットワークに関する協定」に伴う全学教育科目の特別聴講学生数、学務審議会(2)は「人文・社会科学短期留学生受入プログラム」による特別聴講学生数

研究者等交流状況の推移

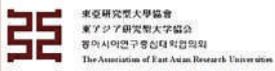


外国人留学生等受入数の推移



国際的な大学連合への加盟

(2020年7月1日現在)

	設立年月	設立の経緯	加盟国・地域 (加盟大学)	本学の 加盟年
東アジア研究型大学協会 AEARU (The Association of East Asian Research Universities) 	1996.1	東アジアにおける有力な研究指向型の大学学長間の交流の場を持つこと、および教員・学生の交流など加盟大学間の密接な交流を行うことを目的として設立された。 日本からは、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、京都大学、大阪大学が加盟。	4 (19)	1998年
環太平洋大学協会 APRU (Association of Pacific Rim Universities) 	1997.6	環太平洋圏の主要大学間の相互交流を深めることにより、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題に対し、教育・研究の分野から協力・貢献することを目的として設立された。 日本からは、東北大学、名古屋大学、大阪大学、慶應義塾大学、早稲田大学が加盟。	18 (55)	2008年
日独6大学アライアンス HeKKSaGOn (The German-Japanese University Alliance: Heidelberg, Kyoto, Karlsruhe, Tohoku (in Sendai), Göttingen, Osaka-network) 	2010.7	日本とドイツの主要大学の研究者、教職員及び学生の交流、共同研究の推進、サマースクール等の開催など、日独大学間の交流を推進することを目的として設立された。日本からは、東北大学、京都大学、大阪大学が加盟。	2 (6)	2010年
MIRAI 2.0 プロジェクト 	2017	日本とスウェーデンの大学間における学術交流・連携の更なる強化を目指して形成されたプロジェクト。本学は2020-2022年の三年間実施される第二期 (MIRAI 2.0) から加盟した。日本からは広島大学、北海道大学、九州大学、名古屋大学、上智大学、東北大学、東京大学、早稲田大学が加盟。	2 (19)	2020年
日英大学連携プログラム RENKEI (Japan-UK Research and Education Network for Knowledge Economy Initiatives) 	2012	日本と英国の主要大学の連携を基盤とし、共同研究、知識移転、人材育成の分野において、産業界との連携を強化することを目的として設立された。日本からは、東北大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、立命館大学が加盟。	2 (12)	2012年

海外拠点

(2020年5月1日現在)

海外代表事務所

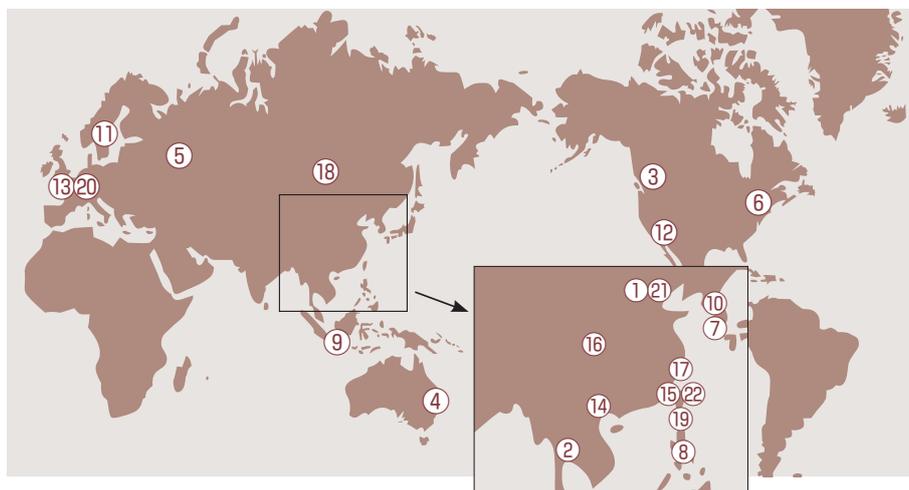
	拠点名 (設置場所)	設立
①	中国代表事務所 (北京) Tohoku University China Office	2007年4月20日
②	タイ代表事務所 (バンコク) Tohoku University Thailand Office	2016年3月14日
③	ワシントン大学-東北大学 アカデミックオープンスペース (シアトル) University of Washington-Tohoku University: Academic Open Space (UW-TU: AOS)	2017年4月14日

リエゾンオフィス

締結機関 (設置場所)	国・地域 (締結日)	拠点名	世話部局
④ ニューサウスウェールズ大学 (国際交流センター)	オーストラリア (2002年5月17日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 法学研究科
⑤ モスクワ国立大学 (物理学部)	ロシア (2002年6月21日) ※2001年9月19日流体科学研究所との締結を発展したもの	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科
⑥ シラキュース大学 (計算機科学・工学部)	アメリカ (2003年11月19日)	流体科学研究所リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑦ 韓国科学技術院 (機械工学部)	韓国 (2003年12月18日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑧ 熱帯医学研究所	フィリピン (2007年5月1日)	東北大学-RITM 新興・再興感染症 共同研究センター (フィリピン拠点)	医学系研究科
⑨ バンドン工科大学	インドネシア (2011年8月2日)	環境科学研究科 国際環境リーダーリエゾンオフィス (2015年3月23日: オフィス名変更に伴い再締結)	環境科学研究科
⑩ ソウル大学校 (工科大学)	韓国 (2011年12月1日)	日本国4大学 (北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学) 工学部等と大韓民国ソウル大学校工科大学の間における連絡オフィス	工学研究科
⑪ スウェーデン王立工科大学 (基礎工学研究科)	スウェーデン (2012年6月28日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科
⑫ カリフォルニア大学リバーサイド校	アメリカ (2013年2月1日)	東北大学センター	高度教養教育・学生支援機構
⑬ リヨン大学 (国立応用科学院リヨン校金属材料物理研究所)	フランス (2015年6月2日) ※2004年7月13日国立応用科学院リヨン校との締結を発展したもの	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科 加齢医学研究所 医学系研究科
⑭ 貿易大学	ベトナム (2015年12月19日)	東北大学-貿易大学共同事務所	高度教養教育・学生支援機構
⑮ 国立交通大学 (電気・コンピューター工学部)	台湾 (2017年5月4日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 未来科学技術共同研究センター 工学研究科 理学研究科 材料科学高等研究所
⑯ 四川大学 (華西口腔医学院)	中国 (2018年3月1日)	東北大学大学院歯学研究科リエゾンオフィス	歯学研究科
⑰ 国立陽明大学 (歯学部)	台湾 (2019年5月28日)	東北大学大学院歯学研究科リエゾンオフィス	歯学研究科
⑱ モンゴル国立医療科学大学	モンゴル (2019年6月6日)	東北大学大学院歯学研究科リエゾンオフィス	歯学研究科
⑲ 高雄医科大学 (歯学部)	台湾 (2019年12月13日)	東北大学大学院歯学研究科リエゾンオフィス	歯学研究科

国際ジョイントラボセンター

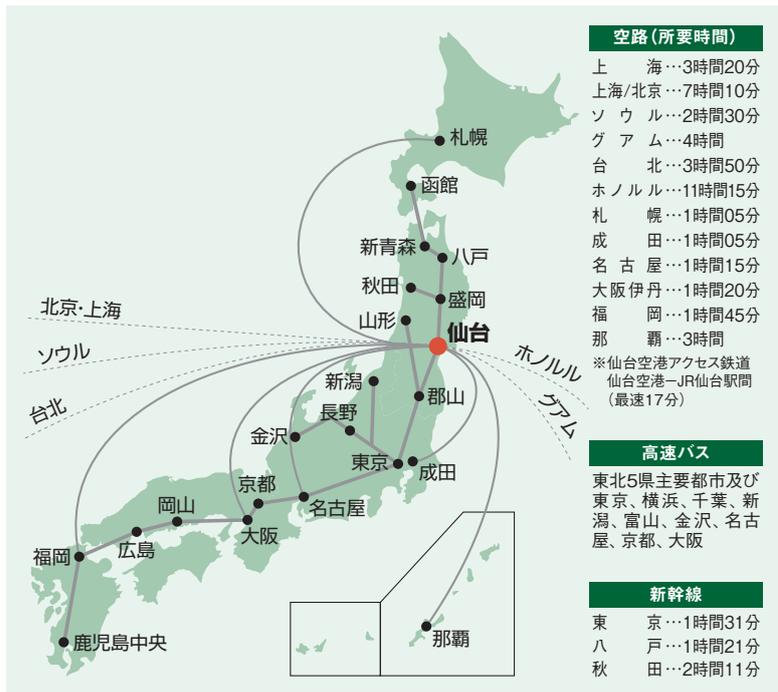
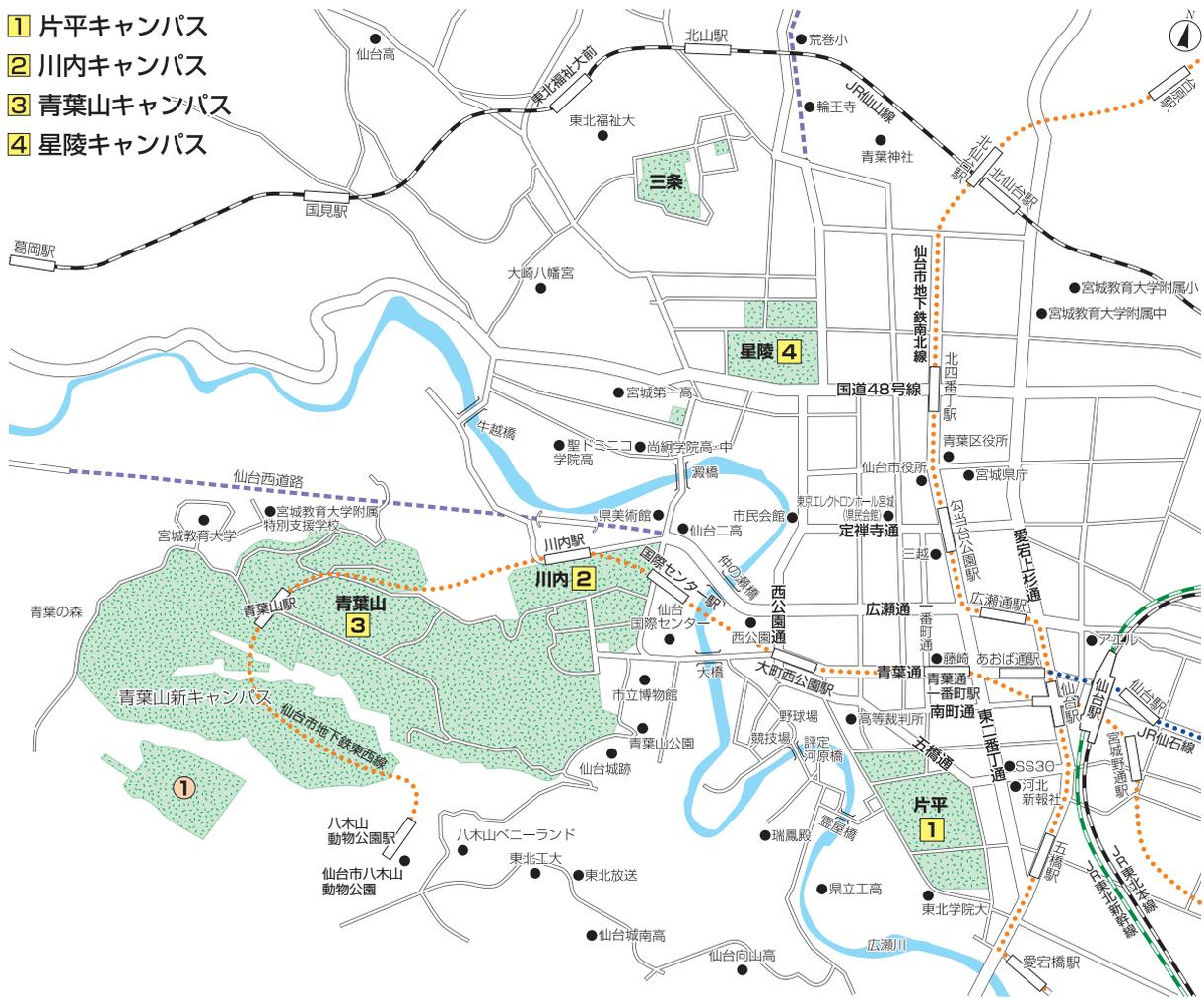
締結機関 (設置場所)	国・地域 (締結日)	拠点名	世話部局
⑳ フランス国立科学研究センター、リヨン大学 (国立応用科学院リヨン校、国立中央理工学校リヨン校)	フランス (2015年10月27日)	日仏ジョイントラボラトリー (ELyTMaX)	高等研究機構
㉑ 北京科技大学	中国 (2015年11月5日)	東北大学・北京科技大学ジョイントラボラトリー	未来科学技術共同研究センター
㉒ 国立交通大学	台湾 (2018年8月20日)	東北大学・台湾国立交通大学ジョイントラボラトリー	流体科学研究所



施設所在地一覧

主要地区

- 1 片平キャンパス
- 2 川内キャンパス
- 3 青葉山キャンパス
- 4 星陵キャンパス



その他の地区

施設名	住所・郵便番号(県名のないものは宮城県)	代表電話番号
① 西澤潤一記念研究センター(マイクロシステム融合研究開発センター)	〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉519-1176	022(229)4113
② 電子光学研究センター	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-2-1	022(743)3400
③ 東北大学けんこうプラザ	〒989-3204 仙台市青葉区南吉成6-6-5	022(341)2453
④ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏女川観測所	〒986-2204 牡鹿郡女川町桐ヶ崎字桐ヶ崎15-3-1	0225(53)3374
⑤ 農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	〒986-2248 牡鹿郡女川町小乗2丁目10-1	0225(53)2436
⑥ 農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター(教育関係共同利用拠点)	〒989-6711 大崎町鳴子温泉字蓬田232-3	0229(84)7312
⑦ 川渡共同セミナーセンター	〒989-6711 大崎町鳴子温泉字原75	0229(84)7309
⑧ 生命科学研究所潜水生態系野外実験施設	〒989-4104 大崎町鹿島台町広長字内ノ浦134-2	0229(56)2020
⑨ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏蔵王観測所	〒989-0916 刈田郡蔵王町遠刈田温泉七日原	0224(34)2743
⑩ 生命科学研究所附属浅中海洋生物学教育研究センター	〒039-3501 青森県青森市大字浅虫字坂本9	017(752)3388
⑪ 学術資源研究公開センター(植物園八甲田山分園)	〒030-0111 青森県青森市大字荒川十和田八幡平国立公園霞ヶ湯温泉施設	017(738)0621
⑫ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター(秋田県地震観測所)	〒011-0936 秋田県秋田市将軍野南1-14-46	018(845)8716
⑬ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター(本荘地震観測所)	〒015-0091 秋田県由利本荘市大築字西の角4	0184(29)2124
⑭ 理学研究科(三陸研究施設)	〒022-0101 岩手県大船渡市三陸町越喜来字小泊114	0192(44)2107
⑮ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター(遠野地震観測所)	〒028-0545 岩手県遠野市松崎町駒木4-120-74	0198(62)2800
⑯ 金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター	〒311-1313 茨城県東茨城郡大洗町成田町2145-2	029(267)3181
⑰ 金属材料研究所附属産学官広域連携センター(大阪オフィス)	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-2 大阪府立大学内 地域連携研究機構8階	072(254)6372
⑱ 金属材料研究所附属産学官広域連携センター(兵庫オフィス)	〒671-2280 兵庫県姫路市書写2167 兵庫県立大学内 インキュベーションセンター2階	079(260)7209
⑲ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏飯館観測所	〒960-1636 福島県相馬郡飯館村前田	0244(42)0530
⑳ ニュートリノ科学研究センター 液体シンチレータ反ニュートリノ観測施設	〒506-1205 岐阜県飛騨市神岡町東茂住上町408	0578(85)0030
㉑ 東北大学東京分室	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階	03(3218)9612
㉒ 東京サイト	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11	03(3273)3602
㉓ 経済学研究科会計専門職専攻国際会計政策コース拠点(IGSAP)	〒132-0035 東京都江戸川区平井6-1-17	03(6869)3195
㉔ 東北大学病院臨床研究推進センター(CRIETO)東京分室	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11	03(3273)3601
㉕ 東北大学東北メディカル・メガバンク機構日本橋分室	〒103-0023 東京都中央区日本橋室町3丁目2番1号	03(6225)2731
㉖ オープンイノベーション戦略機構(東京オフィス)	日本橋室町三井タワー7階	03(6667)0220

ユニバーシティ・ハウス、国際交流会館、学寮

施設名称	収容定員	所在地	電話番号
ユニバーシティ・ハウス青葉山(日本人学生及び留学生の男女)	752名	〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1	022-395-8002
ユニバーシティ・ハウス三条(日本人学生及び留学生の男女)	416名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-274-7305
ユニバーシティ・ハウス三条Ⅱ(日本人学生及び留学生の男女)	216名	〒981-0935 //	022-718-2021
ユニバーシティ・ハウス三条Ⅲ(日本人学生及び留学生の男女)	208名	〒981-0935 //	//
ユニバーシティ・ハウス上杉(日本人学生及び留学生の男子)	32名	〒980-0011 仙台市青葉区上杉6-3-2	(問合せ先) 学生支援課 生活支援係
ユニバーシティ・ハウス長町(日本人学生及び留学生の男女)	48名	〒982-0011 仙台市太白区長町8-6-10	022-795-3943
ユニバーシティ・ハウス片平(日本人学生及び留学生の男女、外国人研究者)	81名	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-14-15	022-797-9301
国際交流会館三条第一会館(留学生の男女、外国人研究者)	254名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-275-9901
国際交流会館三条第二会館(留学生の男女)	108名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町10-15	022-718-7850
国際交流会館東仙台会館(留学生の男女)	70名	〒983-0833 仙台市宮城野区東仙台6-14-15	022-293-5591
松風寮(日本人学生の男子)	150名	〒980-0011 仙台市青葉区上杉6-3-2	022-275-1221
明善寮(日本人学生の男子)	160名	〒980-0011 //	022-234-0134
以文寮(日本人学生の男子)	96名	〒982-0832 仙台市太白区八木山緑町16-3	022-229-5392
豊風寮(日本人学生の男子)	81名	〒982-0832 //	022-229-4954
日就寮(日本人学生の男子)	103名	〒982-0832 //	022-229-1858
如春寮(日本人学生の女子)	64名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-272-9857

課外活動施設

施設名称	住所
評定河原陸上競技場・合宿所	〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1
釜房ボート艇庫	〒989-1505 柴田郡川崎町大字小野字西田10-5
戸田ボート艇庫・合宿所	〒335-0024 埼玉県戸田市戸田公園5-50
七ヶ浜ヨット艇庫	〒985-0802 宮城県七ヶ浜町吉田浜字浜屋敷61-1
萩雪ヒュッテ	〒990-2301 山形県山形市蔵王温泉荒敷820-1
清溪小屋	〒989-0800 刈田郡蔵王町字倉石岳園有林305口林小班
片平第(2・5・6)ホール	〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1
富沢野球場	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-5
富沢自動車練習場	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-6
馬場	〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
川内サブアリーナ	〒980-8576 仙台市青葉区川内4-1
川内課外活動共用施設(川内ホール)	//
川内サークル部室棟、川内サークル部室棟Ⅱ	//
川内課外活動共用施設A	//
川内課外活動共用施設B	//
サークルE・F・G棟	//



ユニバーシティ・ハウス青葉山

建物配置図

1 片平キャンパス

●土地:229,613㎡ ●建物:199,457㎡(2020年7月1日現在)

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1 電話番号案内 022(717)7800

大学本部、研究所



エクステンション教育研究棟

本部事務機構

- 総長・プロボスト室経営企画スタッフ室 26
- 総務企画部総務課 26
- 総務企画部社会連携課 28
- 総務企画部法務・コンプライアンス課 27
- 総務企画部国際企画課 29
- 総務企画部広報室 28
- 人事企画部人事企画課 29
- 人事企画部人事給与課 29
- 人事企画部人事労務課 29
- 環境・安全推進センター 40
- 財務部 29
- 研究推進部研究推進課 29
- 施設部 34
- 情報部オンライン業務推進課 27
- 監査室 27

経済学研究科

- 地域イノベーション研究センター 41

生命科学研究所

- 事務室 36
- 生命科学研究所本館 37
- 生命科学プロジェクト総合研究棟 36
- 環境制御実験棟 38

法科大学院、公共政策大学院

- 事務室 41

会計大学院

- 事務室、研究室 35
- 講義室 41

金属材料研究所

- 本多記念館(事務室) 9
- 1号館、2号館、3号館、4号館 10 11 12 17
- 共同研究プロジェクト棟 4
- スーパーコンピュータ棟 5
- アルファ放射体実験室 6
- 技術棟I、技術棟II 7 8
- 共通フロア棟 15
- 国際教育研究棟 16
- 附属新素材共同研究開発センター 13
- 附属強磁場超伝導材料研究センター 14
- 附属強磁場超伝導材料研究センター別館 75
- 極低温科学センター 3

流体科学研究所

- 事務室 42
- 流体研1号館、2号館、3号館 42 44 45
- 高速流実験棟 46
- 衝撃波学際応用実験棟 47
- 低乱流洞実験棟 70
- 流動ダイナミクス棟 43
- ジョイントラボラトリー棟 48
- 附属未到エネルギー研究センター 44

電気通信研究所

- 事務室 76
- 通研本館 76
- 通研1号館、2号館 61 62 63
- ブレインウェア研究開発施設 64 65
- 評価分析センター 66
- 共同研究棟 67
- ナノスピニング実験施設 59
- 21世紀情報通信研究開発センター 71 72

多元物質科学研究所

- 事務部棟 51
- 多元研東1号館(反応化学研究棟1号館) 19
- 多元研東2号館(反応化学研究棟2号館) 22
- 多元研東3号館(反応化学研究棟旧館) 21
- 多元研西1号館(科学計測研究棟S棟) 24
- 多元研西2号館(科学計測研究棟N棟) 23
- 多元研西工場(工場棟) 25
- 多元研南1号館(素材工学研究棟1号館) 52
- 多元研南2号館(素材工学研究棟2号館) 53
- 多元研南3号館(素材工学研究棟3号館) 54
- 南総合研究棟I(材料・物性総合研究棟I) 58



- 南総合研究棟2(材料・物性総合研究棟I) 58
- 多元研共同研究棟 55
- 多元研図書室 31
- 材料科学高等研究所(AIMR)
- 事務室 30
- AIMR本館 30
- AIMRラボ棟 17
- AIMR別館 20
- 史料館 33
- 研究教育基盤技術センター片平分室 36
- 先端電子顕微鏡センター 32
- 産学連携機構 29
- 埋蔵文化財調査室 34 39
- キャンパスデザイン室 34
- 情報公開室 27
- 産学連携先端材料研究開発センター 73
- エクステンション教育研究棟 41

- 文化財収蔵庫 49
- 片平北門会館 50
- ユニバーシティハウス片平、エスパス、セリシール、北門ラウンジ
- 厚生施設(さくらショップ)
- 厚生施設(さくらキッチン・レストラン)
- 片平会館 2
- さくらホール 56
- 片平体育館 69
- 知の館 77
- 男女共同参画推進センター 41
- 耐災害ICT研究センター 74
- 旧金研10号館 1
- 教育研究基盤支援棟20(放送大学宮城学習センター) 79

2 川内キャンパス

人文社会科学学部、全学教育

●土地:817,777㎡ ●建物:140,373㎡(2020年7月1日現在)

川内北キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内41
 川内南キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
 電話番号案内 022(717)7800



本部事務機構

- 教育・学生支援部(教育・学生総合支援センター) 7
- 教育・学生支援部入試課 19
- 文学部・文学研究科
 - 事務室 22
 - 文学研究科・法学研究科合同研究棟 24
- 教育学部・教育学研究科
 - 事務室 25
- 法学部・法学研究科
 - 事務室 23
 - 文学研究科・法学研究科合同研究棟 24
- 経済学部・経済学研究科
 - 事務室 28
 - 演習室 28 29
- 国際文化研究科
 - 事務室 6
- 附属言語脳認知総合科学研究センター 6
- 附属図書館 本館 20
- 東北アジア研究センター
 - 事務室・研究室 3
 - 分室 19
- 高度教養教育・学生支援機構
 - 事務室 3
 - 健康管理センター 4
 - 学生相談・特別支援センター(学生相談所)、ハラスメント全学学生相談窓口 38
 - 入試センター 19

- 学生相談・特別支援センター(特別支援室) 33
- キャリア支援センター 7
- 大学教育支援センター 3
- 学習支援センター(SLAサポート) 11
- グローバルラーニングセンター 17
- 教養教育院 1

植物園

- 本館 30
- 津田記念館 31
- 教育情報基盤センター 11

学生実験棟

- 川北合同研究棟 3
- 講義棟A棟、B棟、C棟 8 9 10
- マルチメディア教育研究棟 11
- 文科系総合講義棟 36
- 中講義棟 26
- 文科系総合研究棟 25
- 文科系合同研究棟 27
- サークルE棟 5
- サークルF・G棟 12
- 厚生施設(川内北キャンパス厚生会館) 13
- 川内サブアリーナ 14
- 川内体育館(川内アリーナ) 15
- 川内課外活動共用施設B 16
- 川内課外活動共用施設A 17
- 教育研究基盤支援棟4 33
- 教育研究基盤支援棟5 34

- 川内サークル部室棟 18
- 川内サークル部室棟Ⅱ 37
- 川内課外活動共用施設(川内ホール) 35
- 百周年記念会館(川内萩ホール) 21
- 厚生施設(文系食堂) 32



川内キャンパス

建物配置図

青葉山キャンパス

理工学学部



<青葉山キャンパス>

本部事務機構

- 情報部情報基盤課 29
- 研究推進部産学連携課 35

理学部・理学研究科

- 事務棟 12
- 理学研究科合同A棟・B棟 24
- 理学研究科合同A棟別館 25
- 理学研究科大講義棟 5
- 理学研究科合同C棟 101
- 数学系研究棟 7
- 物理系研究棟 2
- 物理系講義棟 3
- 物理・化学合同棟 4
- 化学系研究棟 8
- 地球科学系研究棟 11
- 生物学系研究棟 10
- 超伝導核磁気共鳴装置棟 13
- 数理科学記念館 6
- 巨大分子解析センター棟 9
- 附属大気海洋変動観測研究センター 2
- 附属惑星プラズマ・大気研究センター 2
- 附属地震・噴火予知研究観測センターA棟 68
- 附属地震・噴火予知研究観測センターB-C棟 69
- 機器開発研修棟 77

薬学部・薬学研究科

- 事務室 15
- 薬学研究科A棟 15
- 薬学研究科B棟 16
- 薬学研究科C棟 17
- 薬学研究科D棟 18
- 附属薬用植物園管理棟 19

工学部・工学研究科

- 事務室(中央棟) 46
- 事務室(管理棟) 41
- 機械系講義棟(機械・知能系事務室) 57
- 電子情報システム・応物系1号館 39
- 電子情報システム・応物系2号館 100
- 電子情報システム・応物系3号館 31
- 教育研究基盤支援棟6 33
- 教育研究基盤支援棟7 51
- 教育研究基盤支援棟12 53
- 教育研究基盤支援棟11 54
- 教育研究基盤支援棟10 55
- 化学・バイオ系研究棟本館(事務室) 37
- 化学・バイオ系実験棟 108
- 総合実験棟 109
- 化学・バイオ系大講義棟 110
- 化学・バイオ系講義棟 111
- 化学・バイオ系研究棟分館 112
- 化学・バイオ系第二研究棟 113
- 超臨界溶媒工学研究棟 114
- マテリアル・開発系教育研究棟(事務室) 103
- マテリアル・開発系マテリアル共同研究棟 60
- マテリアル・開発系 革新材料研究棟 73
- マテリアル・開発系実験・工場棟 79
- マテリアル・開発系材料実験棟 115
- マテリアル・開発系大講義棟 118
- 人間・環境系教育研究棟 102
- 建築CLTモデル実証棟 121
- 教育研究基盤支援棟19[A1] 48
- 社会環境工学実験棟 49
- 工学系総合研究棟 40

創造工学センター 43

- 建築実験所 27
- 建築実験棟 38
- 附属先端材料強度科学研究センター 40
- 附属先端材料強度科学研究センター電力未来技術研究室 72
- 附属超臨界溶媒工学研究センター 40
- マイクロナノマシニング研究教育センターマイクロマシニング棟 64
- マイクロナノマシニング研究教育センターナノマシニング棟 122
- 技術社会システム専攻 40
- 機械系1号館 80
- 機械系実験棟I 81
- 機械系実験棟J 82
- 機械系実験研究棟 83
- 機械・知能系教育実験棟・高機能試作センター 84
- 機械系環境材料強度研究棟 85
- 機械系2号館 86
- 機械・知能系共同棟 87
- 量子エネルギー工学専攻本館 88

●土地: 1,577,169㎡ ●建物: 390,302㎡ (2020年7月1日現在)

工学研究科・工学部・医工学研究科・未来科学技術共同研究センター 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6
 農学研究科・農学部・環境科学研究所・災害科学国際研究所 〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
 理学研究科・理学部・薬学研究科・薬学部・情報科学研究科 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
 電話番号案内 022(717)7800



青葉山キャンパス



中央棟

量子エネルギー工学専攻講義棟 89
 放射線同位元素実験室 90
 生活環境早期復旧技術研究センター研究棟 91
 生活環境早期復旧技術研究センター実験棟 92
 先進核融合炉工学総合実験棟 93
 高速中性子実験棟 94
 臨界未満装置実験室(量子エネルギー科学館) 95

ナノ医工学実験棟 96
 ナノ医工学研究棟 97
 情報科学研究科
 研究棟・事務室 32
 研究室 31 32 39 51 80 86 87 100 102
 生命科学研究科
 研究室 8 10 24 25

環境科学研究科
 研究棟 56
 エコラボ 58
 医工学研究科
 事務室 41
 研究室 39 41 80 100
 附属図書館 北青葉山分館 21
 附属図書館 工学分館 44
 ニュートリノ科学研究センター 22
 総合学術博物館 23
 自然史標本館 23
 国際高等研究教育院 28
 学際科学フロンティア研究所 28
 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 26
 未来科学技術共同研究センター
 本館 35
 未来情報産業研究館 34
 未来産業技術共同研究館 78
 ハッチェリスクエア 42
 極低温科学センター 1
 サイバーサイエンスセンター 29
 サイバーサイエンスセンター2号館 104
 環境保全センター 67
 青葉山体育館 30
 厚生施設(けやきダイニング) 36
 厚生施設(北青葉山厚生会館) 20
 厚生施設(あおば食堂) 46
 青葉記念会館 45
 厚生施設(こもれびカフェ、コンビニエンスストア) 65
 自動車の過去・未来館 66
 厚生施設「BOOK」(ブックカフェ、売店) 47

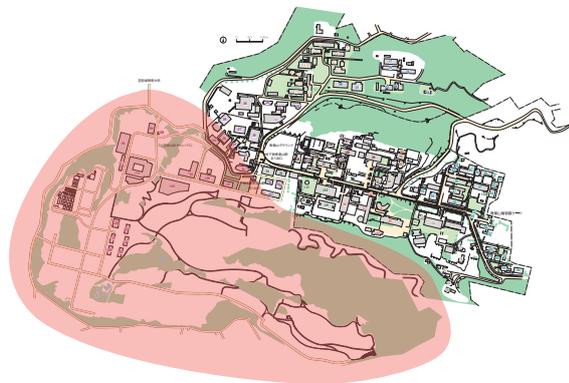
建物配置図

青葉山キャンパス

●土地: 1,577,169㎡ ●建物: 390,302㎡ (2020年7月1日現在)

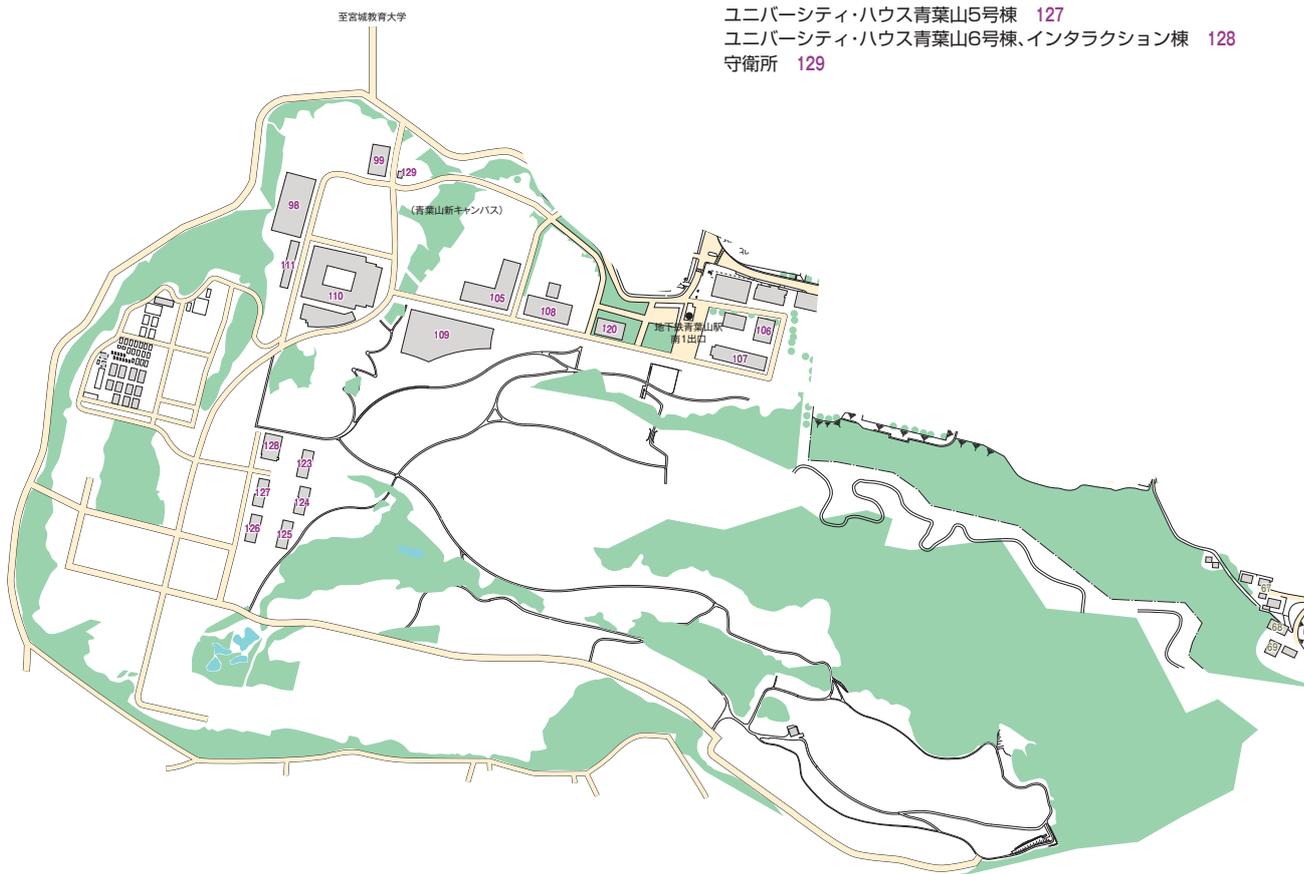
理工系学部

工学研究科・工学部・医工学研究科・未来科学技術共同研究センター 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6
 農学研究科・農学部・環境科学研究科・災害科学国際研究所 〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
 理学研究科・理学部・薬学研究科・薬学部・情報科学研究科 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
 電話番号案内 022(717)7800



<青葉山新キャンパス>

- 農学部・農学研究科
- 事務室 110
- 総合研究棟 110
- 附属動物研究棟 111
- 環境科学研究科
- 環境科学研究科本館 108
- 災害科学国際研究所
- 災害科学国際研究所棟 105
- 青葉山 commons 109
- 附属図書館農学分館
- 厚生施設(みどり食堂)
- 厚生施設(みどりショップ)
- 国際集積エレクトロニクス研究開発センター 98
- エネルギーセンター 99
- レジリエント社会構築イノベーションセンター 106
- レアメタル総合棟 107
- 青葉山みどり厚生会館 120
- ユニバーシティ・ハウス青葉山1号棟 123
- ユニバーシティ・ハウス青葉山2号棟 124
- ユニバーシティ・ハウス青葉山3号棟 125
- ユニバーシティ・ハウス青葉山4号棟 126
- ユニバーシティ・ハウス青葉山5号棟 127
- ユニバーシティ・ハウス青葉山6号棟、インタラクション棟 128
- 守衛所 129



4 星陵キャンパス

●土地: 179,214㎡ ●建物: 334,449㎡ (2020年7月1日現在)

医・歯学部、病院

病院 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
 医学部・医学系研究科 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1
 東北メディカル・メガバンク機構 〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1
 歯学部・歯学研究科/加齢医学研究所 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1
 電話番号案内 022(717)7000



医学部・医学系研究科

- 事務室 19
- 医学部0号館 16
- 医学部1号館 19
- 医学部2号館 33
- 医学部3号館 34
- 医学部4号館 17
- 医学部5号館 20
- 医学部6号館 44
- 保健学科D棟 42
- 教育研究基盤支援棟 41
- 保健学科A棟 13
- 保健学科B棟 12
- フロンティア研究棟 14
- プリオン研究実験棟 23
- 動物実験施設 24
- 実習講義棟 18
- 臨床講義棟 35
- 創生応用医学研究センター 20
- オートプシーイメージングセンター 12
- 環境遺伝医学総合研究センター 44
- 総合地域医療研修センター 38
- 東北大学クリニカル・スキルスラボ 38

歯学部・歯学研究科

- 事務室 10
- 基礎研究棟 8
- 実習講義棟 9
- 臨床研究棟 10
- 第2臨床研究棟 40
- 薬学研究科
- 研究室 44

医工学研究科

- 研究室 3 10 17 19 21 33 34 44
- 医工学実験棟 21

加齢医学研究所

- 事務室 4
- 加齢研実験研究棟 3
- プロジェクト総合研究棟 4
- スマートエイジング研究棟 39
- ブレインイメージング研究棟 6
- ブレインダイナミクス研究棟 7
- 腫瘍動物実験棟 5
- 先進フロンティア研究棟 11
- 先端医療実験棟 47
- 動物資源実験棟 48

附属図書館 医学分館 37

病院

- 事務室(管理棟) 31
- 外来診療棟 36
- 中央診療棟 32
- 西病棟 28
- 東病棟 29
- 臨床研究推進センター 27
- 先端医療技術トレーニングセンター 43
- 星陵レジデンス 46
- 先進医療棟 30

- 動物実験センター 26
- 遺伝子実験センター 3
- 東北メディカル・メガバンク棟 45
- RI星陵サブセンター 25
- 星陵学生サークル棟 1
- 星陵体育館 2
- 弓道場 49
- 看護師宿舎 50
- 星陵会館(厚生施設)医学部開設百周年記念ホール
- 星陵オーデトリウム 15
- 医学部長会館 38



星陵キャンパス

東北大学概要 2020

●
【編集・発行】
2020年9月

東北大学総務企画部広報室
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
Tel.022-217-4977

●
<http://www.tohoku.ac.jp/>

